

「土庄町障がい者計画・  
障がい福祉計画・障がい児福祉計画」  
策定のためのアンケート調査  
結果報告書

令和5年11月  
土庄町



# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査目的.....	1
2 調査設計.....	1
3 報告書の見方.....	1
<b>II 調査の結果</b> .....	<b>2</b>
回答者について.....	2
1 対象者の属性について.....	3
(1) 性別.....	3
(2) 年齢.....	4
(3) 居住地区.....	5
(4) 障がいの状況について.....	6
(5) 医療を受ける上で困っていること.....	12
(6) 介護保険の要介護認定及び介護保険サービスの利用の有無.....	14
(7) 現在の暮らしについて.....	16
2 困り事に対する相談について.....	23
(1) 現在の生活で困っていることや不安に思っていること.....	23
(2) 悩みや困ったことの相談先.....	25
(3) 障がい者福祉や生活に関する相談体制に関する要望.....	27
(4) 困った時の相談体制の充実度.....	29
3 毎日の暮らしについて.....	30
(1) 介助・援助を必要とすること.....	30
(2) 主な介助者(支援者).....	32
(3) 主に介助してくれる方が介助できない場合の対応.....	33
(4) 医療ケアの受診状況.....	35
4 福祉サービスについて.....	37
(1) 障害支援区分の認定状況.....	37
(2) 現在利用している福祉サービス.....	38
(3) 利用している福祉サービスの満足度.....	40
(4) 今後利用の量を変更したい又は新たに利用したい福祉サービスの有無.....	41
(5) 今後利用の量を変更したい又は新たに利用したい福祉サービスの種類.....	42
(6) 福祉サービスを受けるにあたり、困っていること.....	47
5 情報収集について.....	49
(1) 障がいや福祉サービスに関する情報の入手先.....	49
(2) 障がいや福祉サービスに関する情報の充足度.....	51
(3) 今後充実してほしい情報.....	52

6	保育・教育について	54
	(1) お子さんの日中の過ごし方	54
	(2) 小学校等の進路の希望	55
	(3) 通学状況	56
	(4) 通学先	57
	(5) 学校卒業後の進路	58
	(6) 通園・通学で困っていること	59
	(7) 通園・通学にあたり希望する支援	61
7	雇用・就労について	63
	(1) 現在の就労状況	63
	(2) 就労していない理由	65
	(3) 今後の就労意向	67
	(4) 就労のために必要な支援	68
8	外出・移動支援について	70
	(1) 外出の頻度	70
	(2) 外出の目的	72
	(3) 外出時の同伴者	74
	(4) 外出時の交通手段	76
	(5) 外出時に困ること	80
9	地域防災について	82
	(1) 災害時の避難について	82
	(2) 近隣援助者の有無	83
	(3) 災害時に不安に思うこと	84
	(4) 避難所に行った場合に困ること	86
10	あなたの権利について	89
	(1) 障がい者差別について	89
	(2) 現在利用している事業や制度と今後利用したい事業や制度	93
11	町への期待について	95
	(1) 今後、町が力をいれるべき障がい者福祉の取組み	95
<b>Ⅲ</b>	<b>自由意見</b>	<b>97</b>

# I 調査概要

## 1 調査目的

平成 29 年度に策定した「土庄町障害者計画（第 3 期）」および令和 2 年度に策定した「土庄町障害福祉計画（第 6 期）障害児福祉計画（第 2 期）」の計画見直しの基礎資料とするために実施しました。

## 2 調査設計

### (1) 調査対象

調査対象者	抽出方法
身体障害者手帳所持者、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者	無作為抽出

(2) 実施期間 令和 5 年 8 月 4 日～9 月 8 日

(3) 調査方法 郵送による配布・回収

### (4) 配布・回収状況

標本数	回収数	回収率
879	366	41.6%

## 3 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇) と表示し、各比率はすべてを 100% として百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が 100% にならないことがあります。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回る場合があります。
- (3) 図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) グラフ中の数値が 0.0% の場合は、数値、選択肢等を表示させていない場合があります。
- (5) 身体・知的・精神の障がい別クロス集計では、手帳の複数所持者も含まれています。  
また、手帳不明者のデータは省略しており、各障がい別の合計値は全体の合計値と合いません。

## Ⅱ 調査の結果



### 回答者について

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(○は1つ)

#### 【全体の傾向】

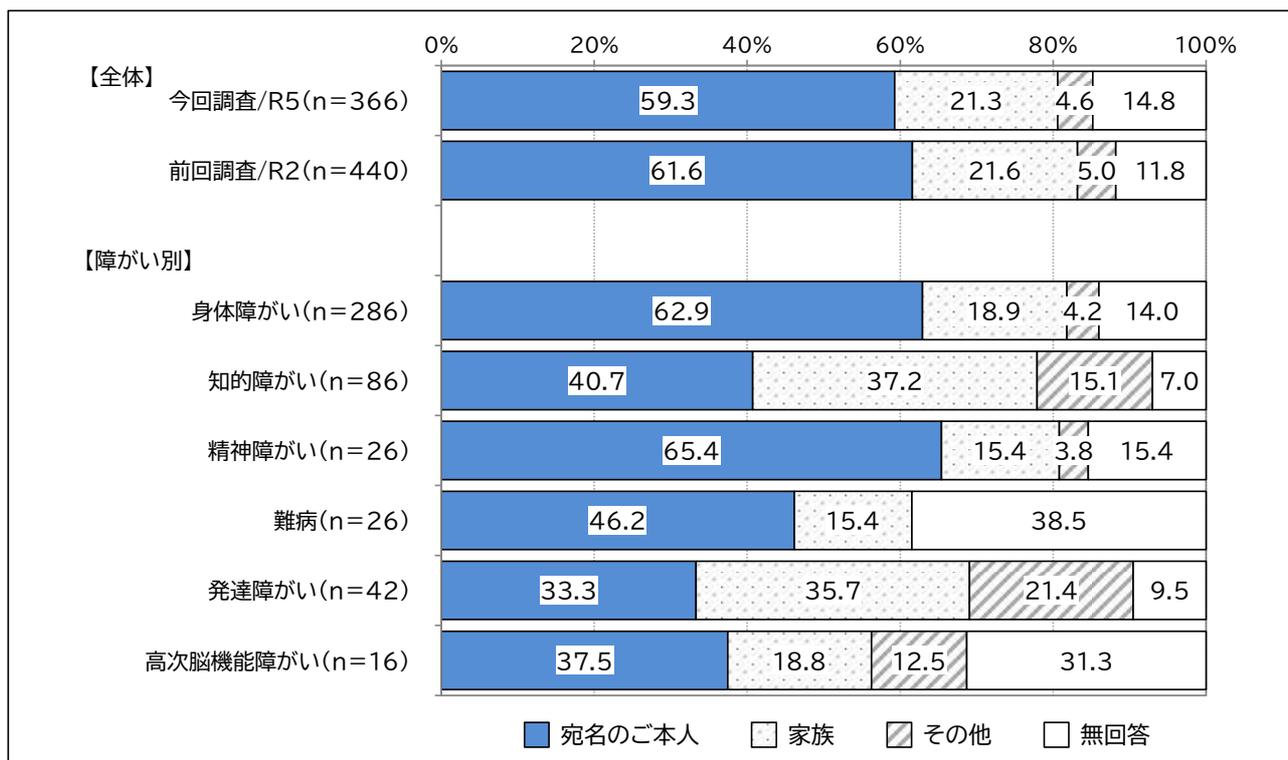
回答者についてたずねたところ、「宛名のご本人（代筆を含む）」(59.3%) が最も高く、次いで「家族」(21.3%)、「その他」(4.6%) となっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、発達障がいを除くすべての障がいで「宛名のご本人（代筆を含む）」が最も高く、特に身体障がい、精神障がいでは6割を超えています。一方、発達障がいでは「家族」(35.7%) が高くなっています。

図表 1 回答者について（全体、前回との比較、障がい別）



# 1 対象者の属性について

## (1) 性別

問2 あなた（宛名のご本人）の性別はどちらですか。（○は1つ）

### 【全体の傾向】

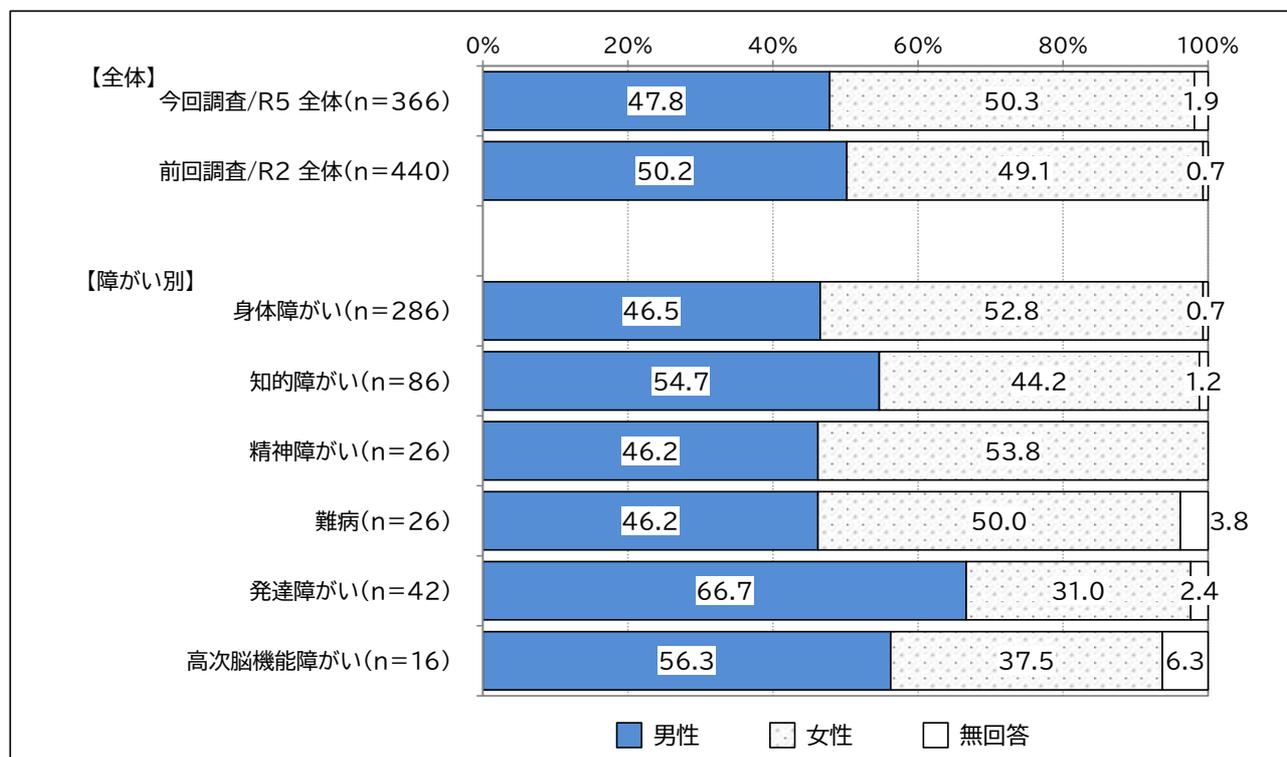
性別についてたずねたところ、「男性」に比べ、「女性」の割合がやや高くなっています。

前回調査と比較すると、「男性」が2.4ポイント減少し、一方、「女性」は1.2ポイント増加しています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、精神障がい、難病では「女性」が高く、知的障がい、発達障がい、高次脳機能障がいでは「男性」が高くなっています。

図表 2 本人の性別（全体、前回との比較、障がい別）



## (2) 年齢

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(令和5年8月11日現在の年齢を記入)

### 【全体の傾向】

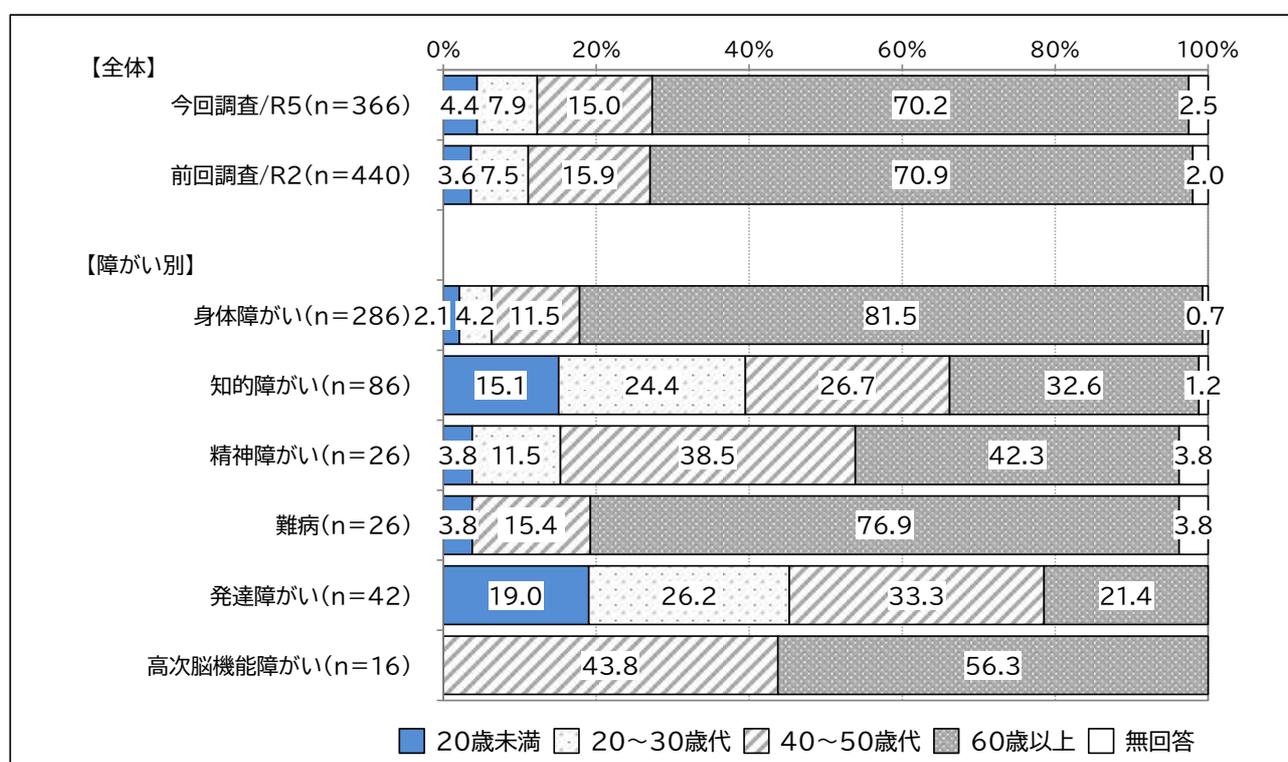
年齢についてたずねたところ、「60歳以上」(70.2%)が最も高く、次いで「40～50歳代」(15.0%)、「20～30歳代」(7.9%)などとなっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、発達障がいを除くすべての障がいで「60歳以上」が最も高く、特に身体障がい(81.5%)と8割以上と高くなっています。一方、発達障がいでは「40～50歳代」(33.3%)が最も高くなっています。

図表3 本人の年齢(全体、前回との比較、障がい別)



### (3) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。(○は1つ)

#### 【全体の傾向】

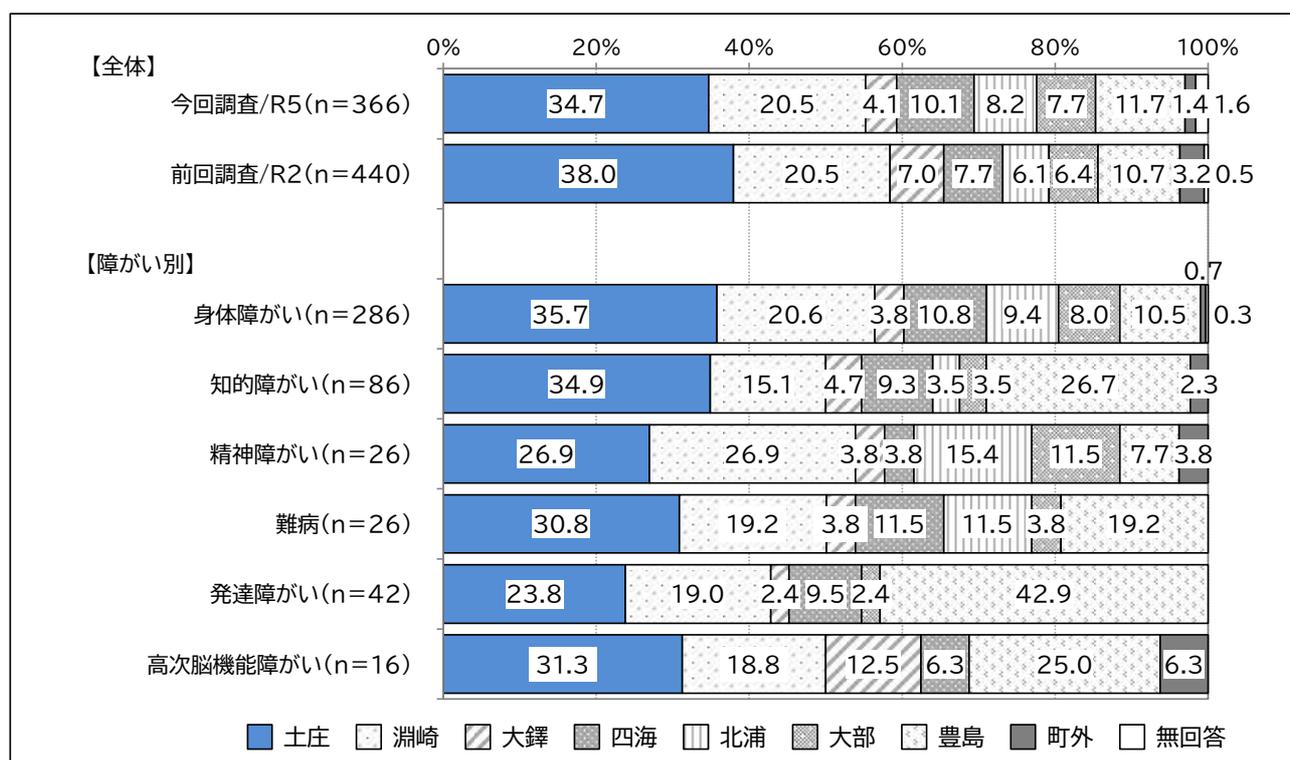
居住地区についてたずねたところ、「土庄」(34.7%)が最も高く、次いで「淵崎」(20.5%)、「豊島」(11.7%)、「四海」(10.1%)、「北浦」(8.2%)、「大部」(7.7%)、などとなっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、発達障がいを除くすべての障がいでは「土庄」が最も高く、身体障がいでは35.7%、知的障がいでは34.9%、精神障がいでは26.9%（「淵崎」が同率で26.9%）、難病では30.8%、高次脳機能障がいでは31.3%となっており、一方、発達障がいでは「豊島」(42.9%)が最も高くなっています。

図表4 居住地区（全体、前回との比較、障がい別）



(4) 障がいの状況について

問5 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つ)

問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つ)

【全体の傾向】

身体障害者手帳の所持状況についてたずねたところ、「1級」～「6級」のいずれかを持っていると回答した人の合計は78.1%、「持っていない」は16.4%となっています。

また、身体障害者手帳を所持している人の等級別の割合は、「1級」(30.8%)が最も高く、次いで「4級」(24.8%)、「3級」(17.5%)などとなっています。

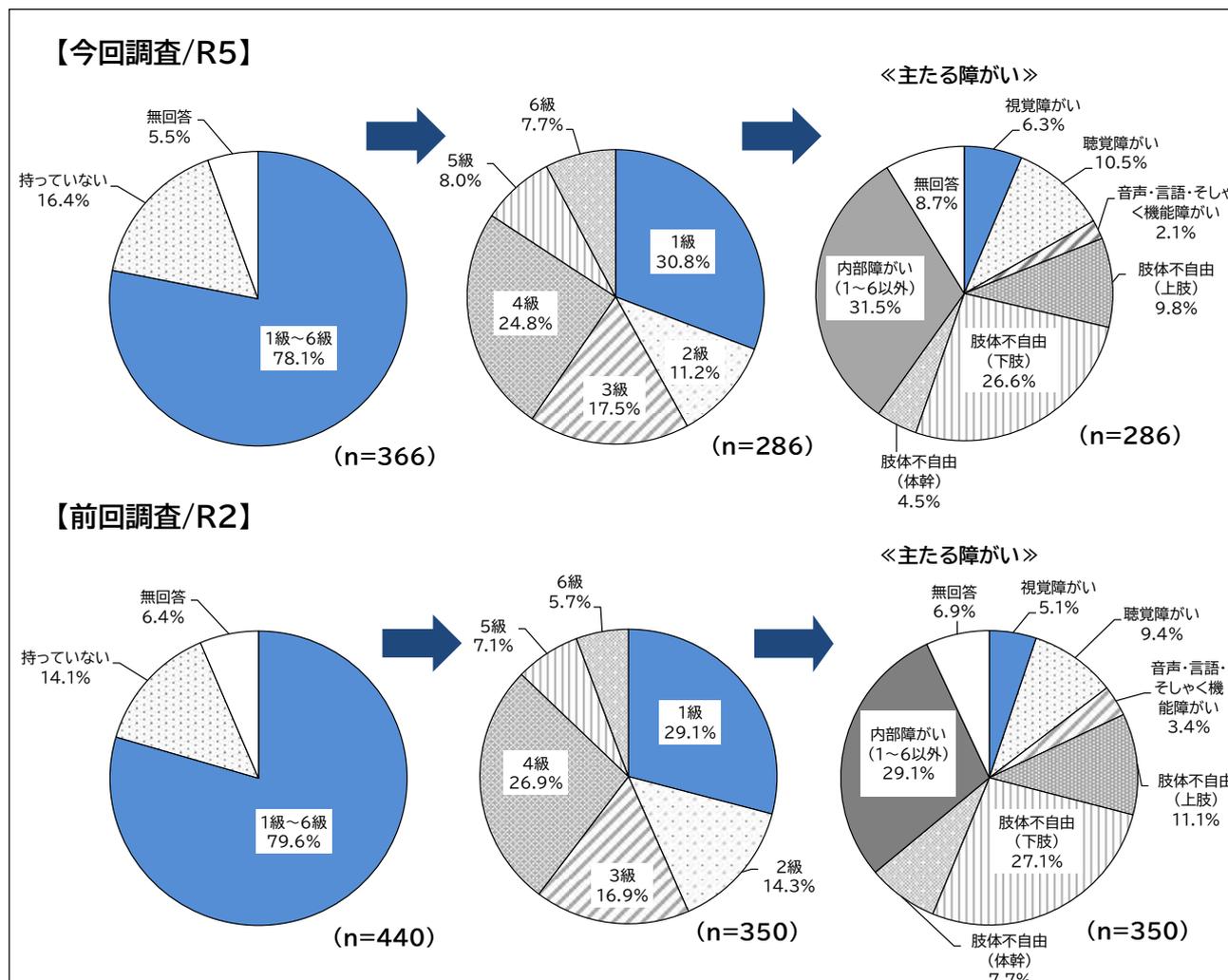
また、主たる障がいについては、「内部障がい(1～6以外)」(31.5%)が最も高く、次いで「肢体不自由(下肢)」(26.6%)、「聴覚障がい」(10.5%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「1級」～「6級」のいずれかを持っていると回答した人の合計は1.5ポイント減少し、一方、「持っていない」は2.3ポイント増加しています。

等級別では、6級が2.0ポイント増加し、2級が3.1ポイント減少しています。

主たる障がいでは、内部障がいは2.4ポイント増加し、肢体不自由(体幹)は3.2ポイント減少しています。

図表5 身体障害者手帳の所持状況と主たる障がい(全体、前回との比較)



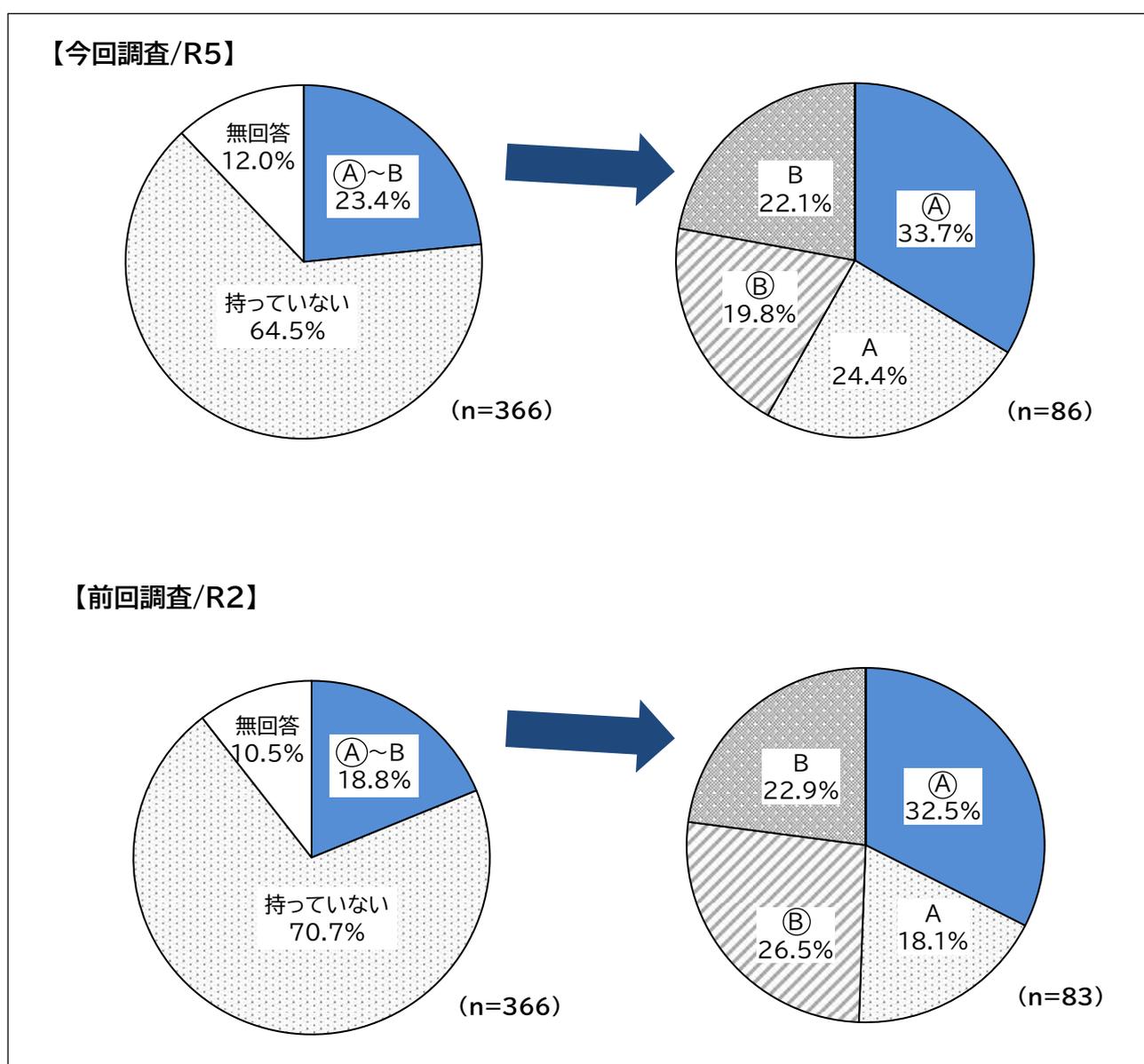
問7 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つ)

【全体の傾向】

療育手帳の所持状況についてたずねたところ、「㉠」～「B」のいずれかを持っていると回答した人の合計は 23.4%となっており、その内訳は、「㉠」(33.7%) が最も高く、次いで「A」(24.4%)、「B」(22.1%)、「㉡」(19.8%) となっています。

前回調査と比較すると、「㉠」～「B」のいずれかを持っていると回答した人の合計は 4.6 ポイント増加し、一方、「持っていない」は 6.2 ポイント減少しており、その内訳は、「A」は 6.3 ポイント増加し、「㉡」は 6.7 ポイント減少しています。

図表 6 療育手帳の所持状況 (全体、前回との比較)



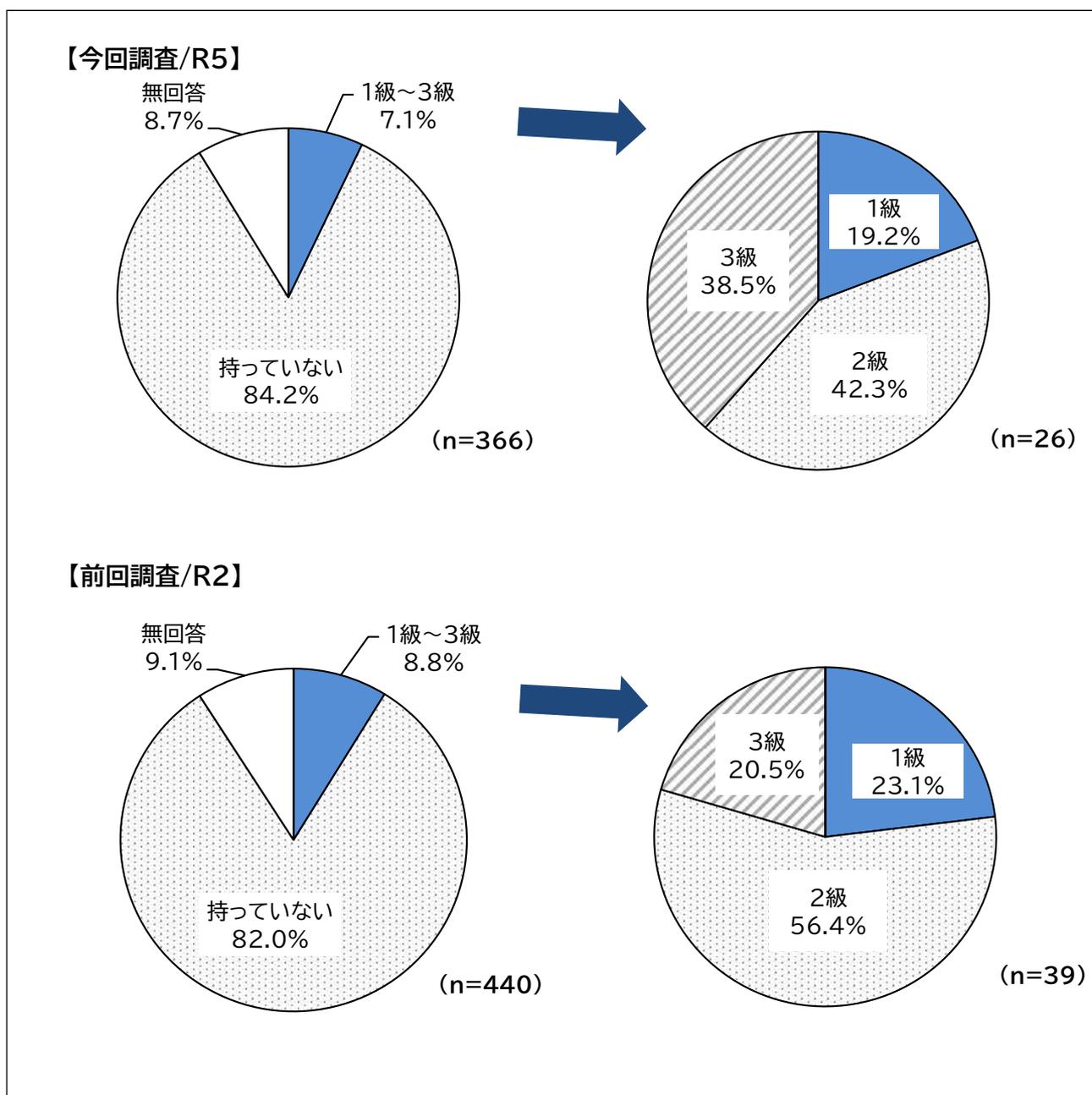
問8 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

【全体の傾向】

精神障害者保健福祉手帳の所持状況についてたずねたところ、「1級」～「3級」のいずれかを持っていると回答した人の合計は7.1%となっており、その内訳は、「2級」(42.3%)が最も高く、次いで「3級」(38.5%)、「1級」(19.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「1級」～「3級」のいずれかを持っていると回答した人の合計は1.7ポイント減少し、一方、「持っていない」は2.2ポイント増加しており、その内訳は、「3級」が18.0ポイント増加し、「2級」が14.1ポイント減少しています。

図表 7 精神障害者保健福祉手帳の所持状況（全体、前回との比較）



問9 あなたは、難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つ）

【全体の傾向】

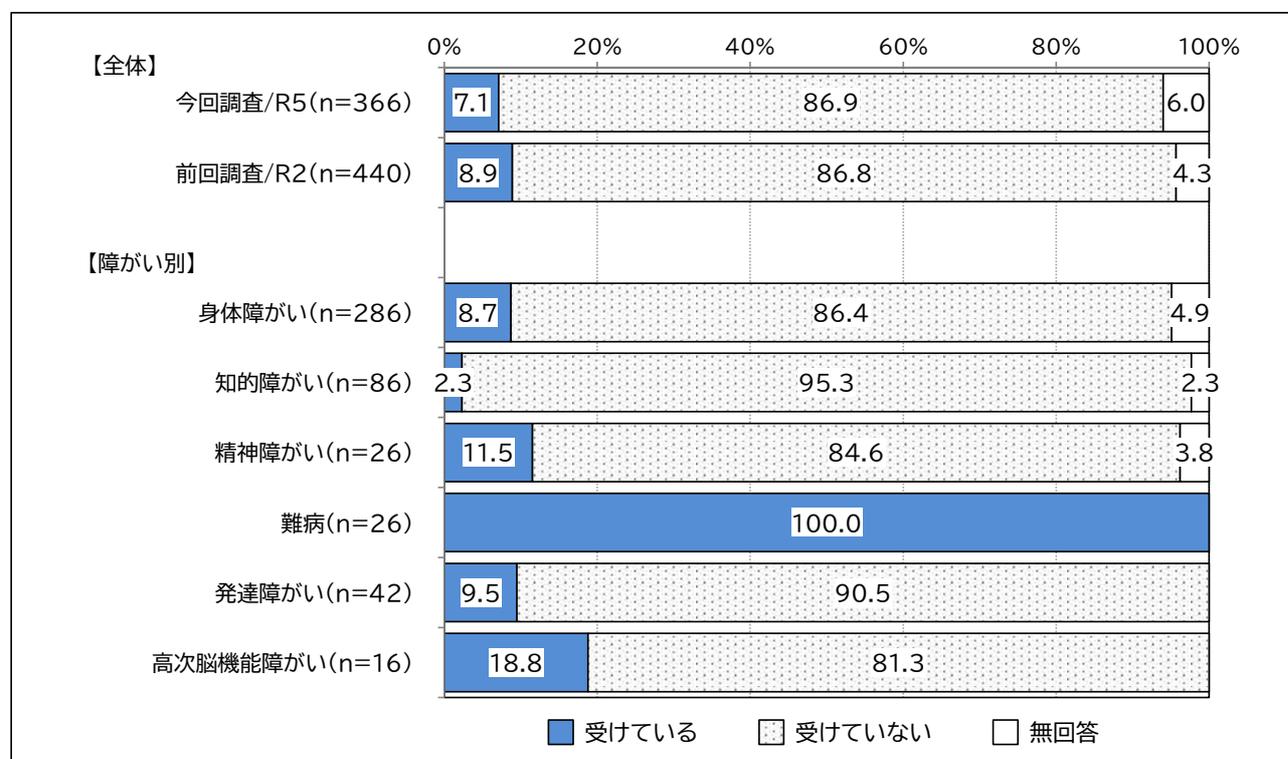
難病の認定状況についてたずねたところ、「受けている」は7.1%、「受けていない」が86.9%となっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、難病以外では高次脳機能障がい「受けている」が18.8%となっており、その他の障がいより高くなっています。

図表 8 難病の認定状況（全体、前回との比較、障がい別）



問10 あなたは、発達障がいとして診断されたことがありますか。(〇は1つ)

【全体の傾向】

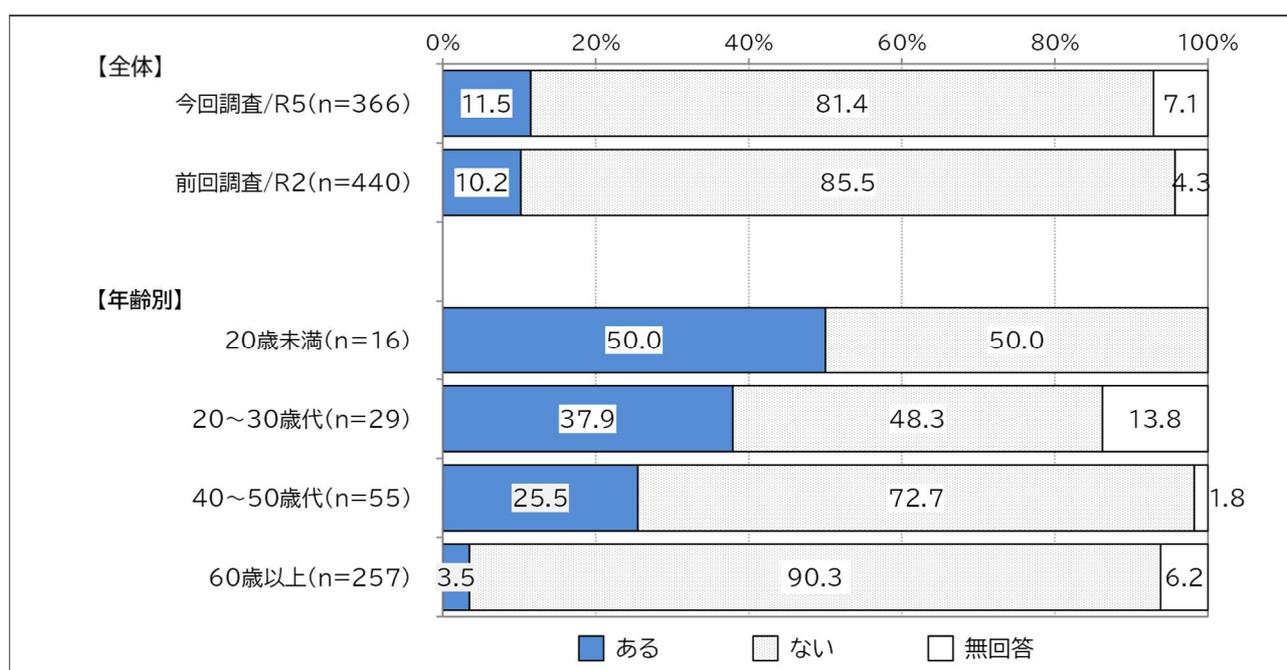
発達障がいの診断の有無についてたずねたところ、「ある」は11.5%、「ない」が81.4%となっています。

前回調査と比較すると、「ある」が1.3ポイント増加し、「ない」が4.1ポイント減少しています。

【年齢別の傾向】

年齢別にみると、「ある」の割合は、20歳未満では50.0%、20～30歳代では37.9%と比較的高くなっています。

図表9 発達障がいの診断の有無（全体、前回との比較、年齢別）



問 11 あなたは、高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つ)

【全体の傾向】

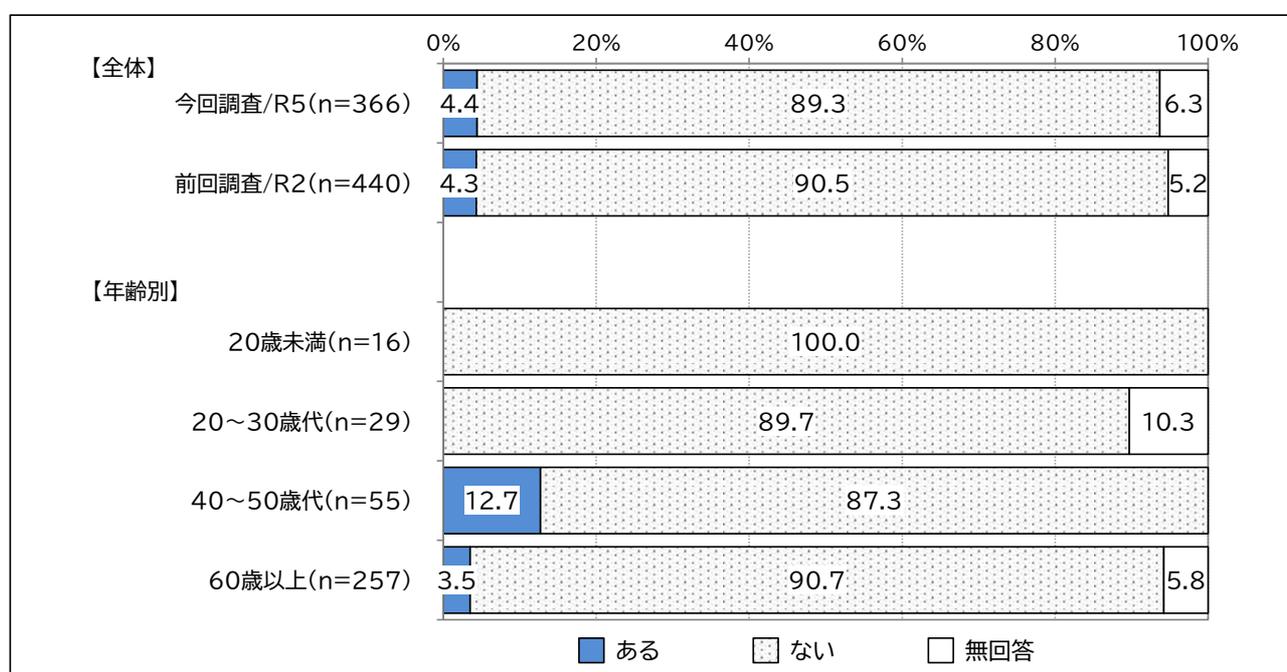
高次脳機能障がいの診断の有無についてたずねたところ、「ある」は4.4%、「ない」が89.3%となっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

【年齢別の傾向】

年齢別にみると、「ある」の割合は、40～50歳代では12.7%、60歳以上では3.5%と比較的高くなっています。

図表 10 高次脳機能障がいの診断の有無（全体、前回との比較、年齢別）



## (5) 医療を受ける上で困っていること

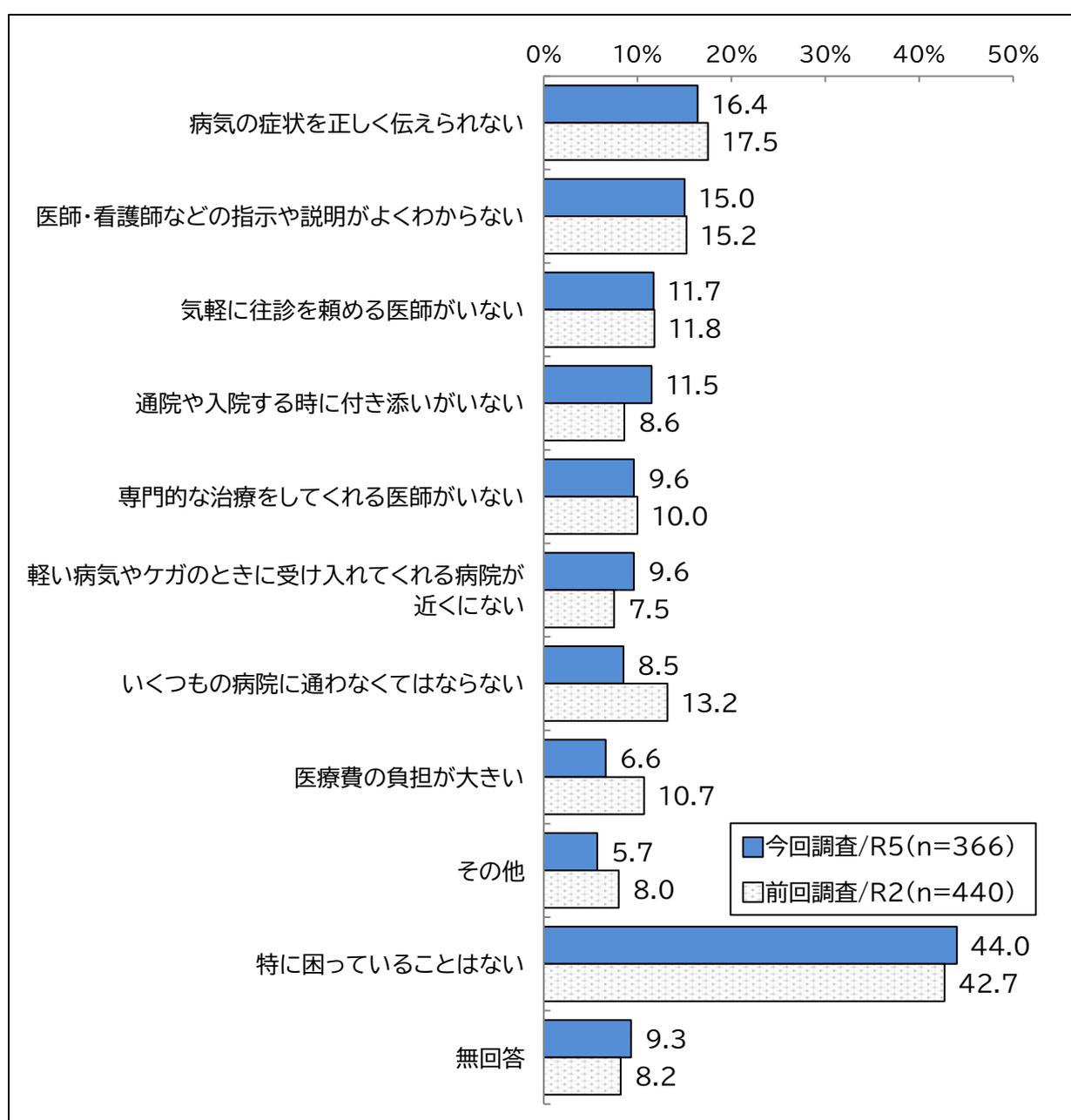
問12 あなたは、医療を受ける上で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

医療を受ける上で困っていることについてたずねたところ、「病気の症状を正しく伝えられない」(16.4%)が最も高く、次いで「医師・看護師などの指示や説明がよくわからない」(15.0%)、「気軽に往診を頼める医師がいない」(11.7%)、「通院や入院する時に付き添いがいない」(11.5%)、「専門的な治療をしてくれる医師がいない」(9.6%)などとなっています。一方、「特に困っていることはない」は44.0%となっており、全体では第1位の割合となっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

図表 11 医療を受ける上で困っていること（全体、前回との比較／複数回答）





## (6) 介護保険の要介護認定及び介護保険サービスの利用の有無

問 13 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている方は要介護度もお答えください。(〇は1つ)

### 【全体の傾向】

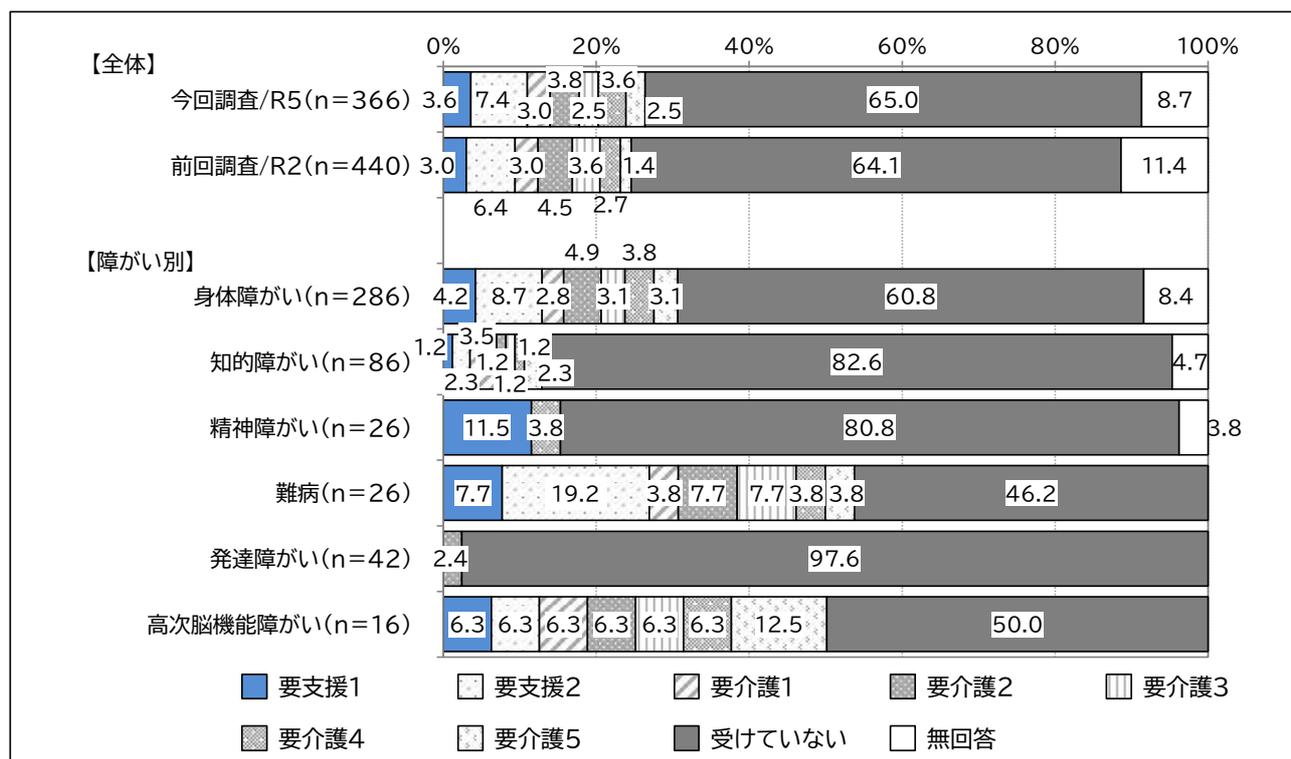
介護保険の要介護度についてたずねたところ、「要支援2」が7.4%となっており、「要介護2」が3.8%、「要支援1」、「要介護4」が同率3.6%などとなっています。一方、「受けていない」は65.0%となっており、全体では第1位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「要介護5」が1.1ポイント増加し、「要介護3」が1.1ポイント減少しています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「要支援2」が8.7%、知的障がいでは「要介護1」が3.5%、精神障がいでは「要支援1」が11.5%、難病では「要支援2」が19.2%、発達障がいでは「要介護2」が2.4%、高次脳機能障がいでは「要介護5」が12.5%などとなっています。

図表 13 要介護認定の状況（全体、前回との比較、障がい別）



問 13-1 要介護認定を受けている方におうかがいします。介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

【全体の傾向】

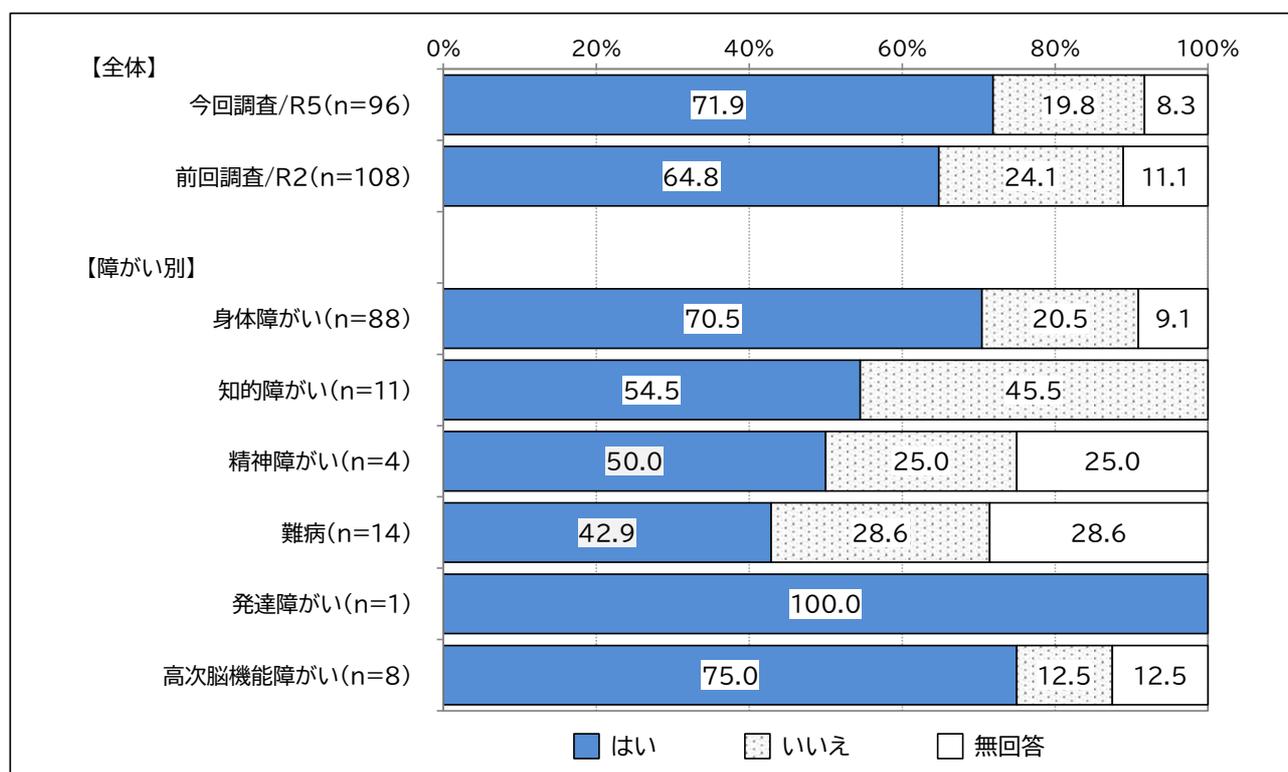
介護保険サービスの利用の有無についてたずねたところ、「はい」が71.9%、「いいえ」が19.8%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が7.1ポイント増加し、「いいえ」が4.3ポイント減少しています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、「はい」の割合は、身体障がいでは70.5%、知的障がいでは54.5%、精神障がいでは50.0%、難病では42.9%、発達障がいでは100.0%、高次脳機能障がいでは75.0%となっています。

図表 14 介護保険サービスの利用の有無（全体、前回との比較、障がい別）



(7) 現在の暮らしについて

問 14 あなたは、現在どのように暮らしていますか。(○は1つ)

【全体の傾向】

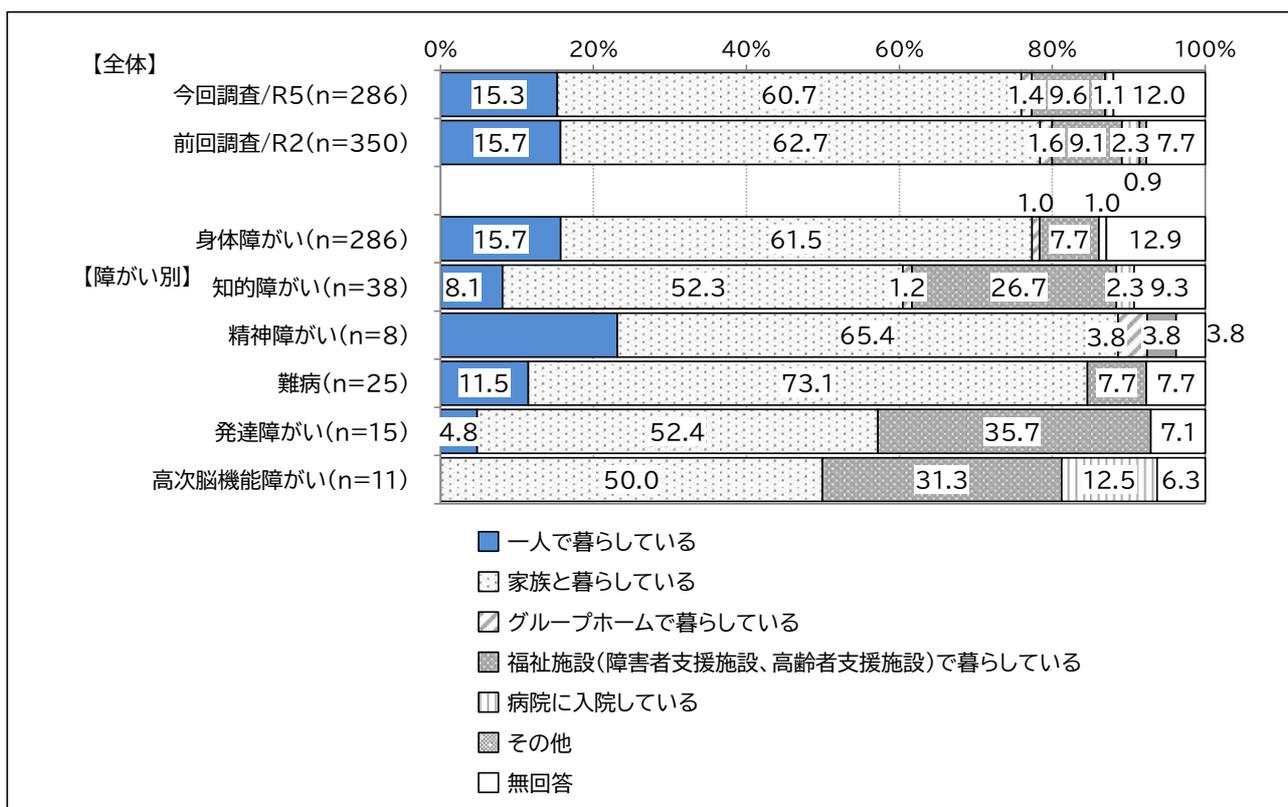
現在の暮らしの状況についてたずねたところ、「家族と暮らしている」(60.7%)が最も高く、次いで「一人で暮らしている」(15.3%)、「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」(9.6%)、「グループホームで暮らしている」(1.4%)、「病院に入院している」(1.1%)、などとなり、施設やグループホーム、病院など自宅以外で暮らしている人は12.1%となっています。

前回調査と比較すると、「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」が0.5ポイント増加し、「家族と暮らしている」が2.0ポイント減少しています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「家族と暮らしている」の割合が最も高く、一方、「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」と回答した人の割合は、知的障がいでは26.7%、発達障がいでは35.7%、高次脳機能障がいでは31.3%と比較的高くなっています。

図表 15 現在の暮らしの状況(全体、前回との比較、障がい別)



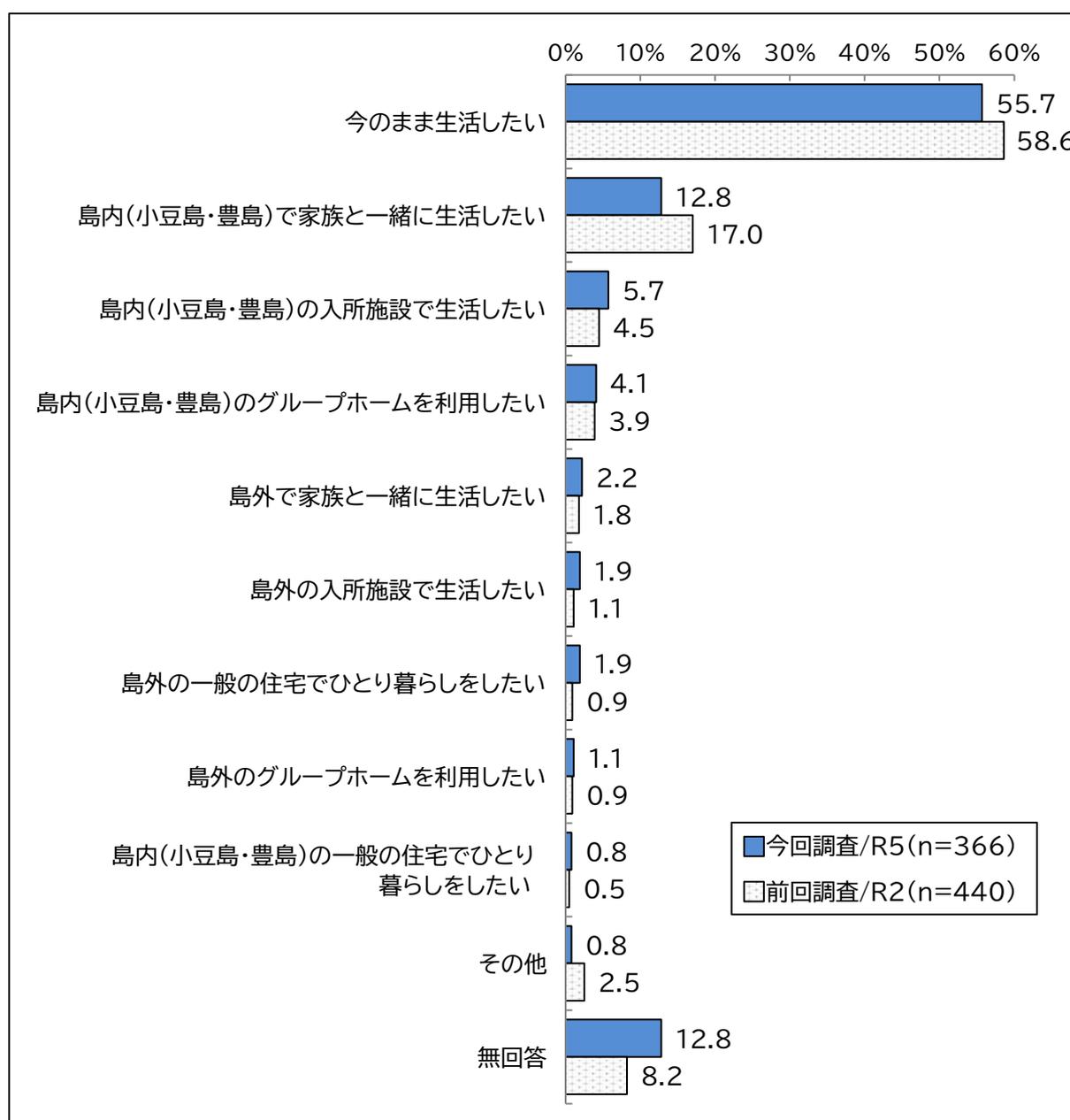
問 15 あなたは将来、どのような場所で生活したいと思いますか。(○は1つ)

【全体の傾向】

将来暮らし続けたい場所についてたずねたところ、「今のまま生活したい」(55.7%)が最も高く、次いで「島内(小豆島)で家族と一緒に生活したい」(12.8%)、「島内(小豆島)の入所施設で生活したい」(5.7%)、「島内(小豆島)のグループホームを利用したい」(4.1%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「島内(小豆島・豊島)の入所施設で生活したい」が1.2ポイント増加し、「島内(小豆島・豊島)で家族と一緒に生活したい」が4.2ポイント減少しています。

図表 16 将来暮らし続けたい場所(全体、前回との比較)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「今のまま生活したい」の割合が最も高く、精神障がいでは84.6%と突出しています。次いで、知的障がいを除くすべての障がいで「島内（小豆島・豊島）で家族と一緒に生活したい」、知的障がいでは「島内（小豆島）の入所施設で生活したい」がそれぞれ高くなっています。

図表 17 将来暮らし続けたい場所（障がい別）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数（人）	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
			今のまま生活したい	島内（小豆島・豊島）で家族と一緒に生活したい	島内（小豆島・豊島）の入所施設で生活したい	島内（小豆島・豊島）のグループホームを利用したい	島外で家族と一緒に生活したい	
		全体(R5)	366	55.7	12.8	5.7	4.1	2.2
障がい別	身体障がい	286	56.6	14.0	4.9	2.4	2.1	
	知的障がい	86	43.0	10.5	11.6	10.5	2.3	
	精神障がい	26	84.6	7.7	-	-	-	
	難病	26	53.8	23.1	-	-	11.5	
	発達障がい	42	42.9	14.3	11.9	7.1	4.8	
	高次脳機能障がい	16	56.3	18.8	6.3	-	-	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数（人）	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
			島外の入所施設で生活したい	島外の一一般の住宅でひとり暮らし	島外グループホームを利用したい	島内（小豆島・豊島）の一般の住宅でひとり暮らし	その他	無回答
		全体(R5)	1.9	1.9	1.1	0.8	0.8	12.8
障がい別	身体障がい	1.4	1.7	1.0	0.3	1.0	14.3	
	知的障がい	4.7	2.3	2.3	1.2	2.3	9.3	
	精神障がい	-	3.8	-	-	-	3.8	
	難病	-	-	-	-	-	11.5	
	発達障がい	4.8	2.4	-	2.4	-	9.5	
	高次脳機能障がい	6.3	-	-	-	-	12.5	

問16 あなたは、ふだん昼間は、どのように過ごしていますか。(〇は1つ)

【全体の傾向】

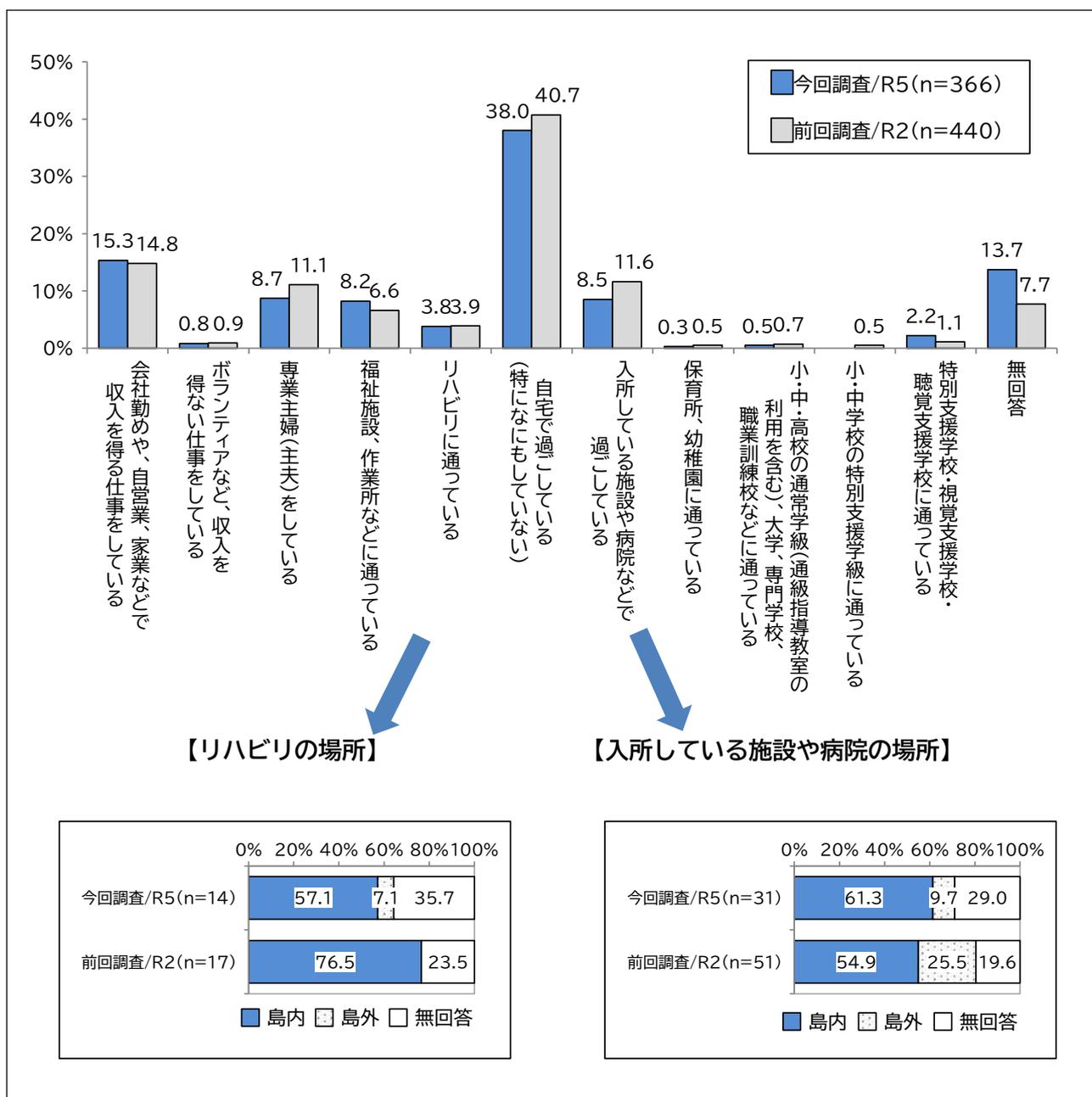
日中の過ごし方についてたずねたところ、「自宅で過ごしている（特になにもしていない）」(38.0%)が最も高く、その割合は突出しています。

また、「リハビリに通っている」(3.8%)と回答した人に、リハビリの場所についてたずねたところ、「島内」が57.1%、「島外」が7.1%となっています。

また、「入所している施設や病院などで過ごしている」(8.5%)と回答した人に、入所している施設や病院の場所についてたずねたところ、「島内」が61.3%、「島外」が9.7%となっています。

前回調査と比較すると、「福祉施設、作業所などに通っている」は1.6ポイント増加し、「自宅で過ごしている（特になにもしていない）」は2.7ポイント減少しています。

図表 18 日中の過ごし方（全体、前回との比較）

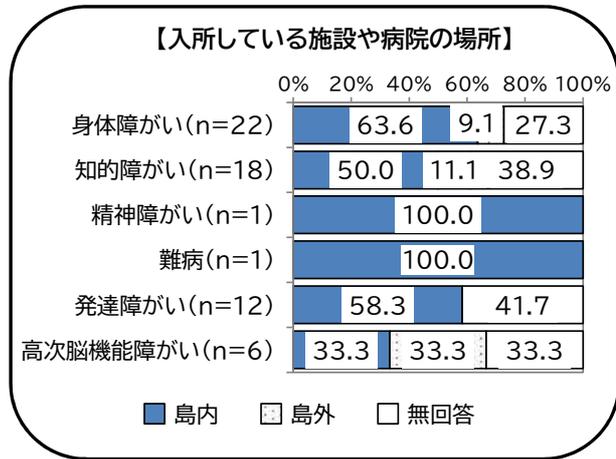
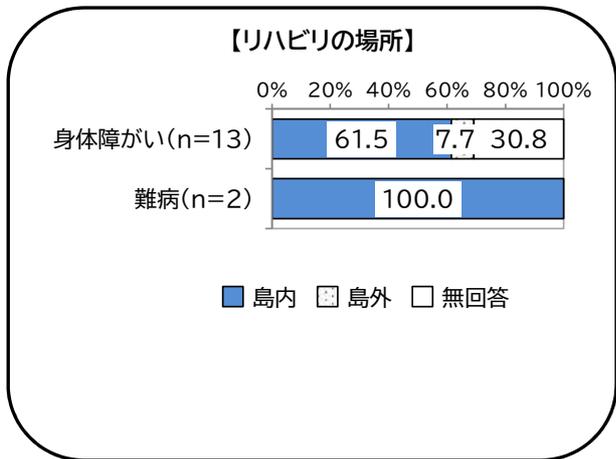
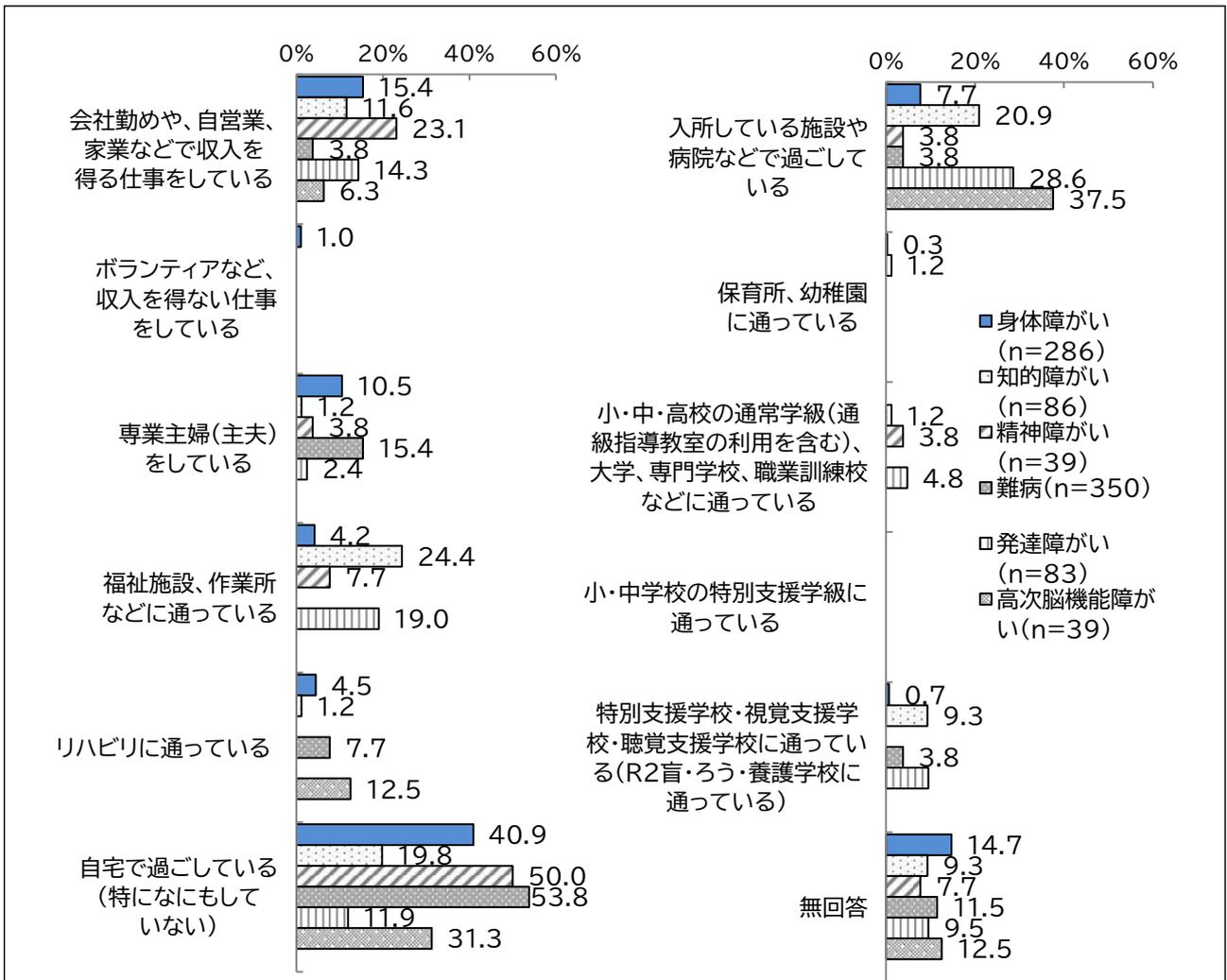


【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、精神障がい、難病では「自宅で過ごしている（特になにもしていない）」、知的障がいでは「福祉施設、作業所等に通っている」（24.4%）、発達障がい、高次脳機能障がいでは「入所している施設や病院などで過ごしている」がそれぞれ最も高くなっています。

また、リハビリの場所や入所している施設や病院の場所については、いずれの障がいも「島内」の割合が高くなっています。

図表 19 日中の過ごし方（障がい別）



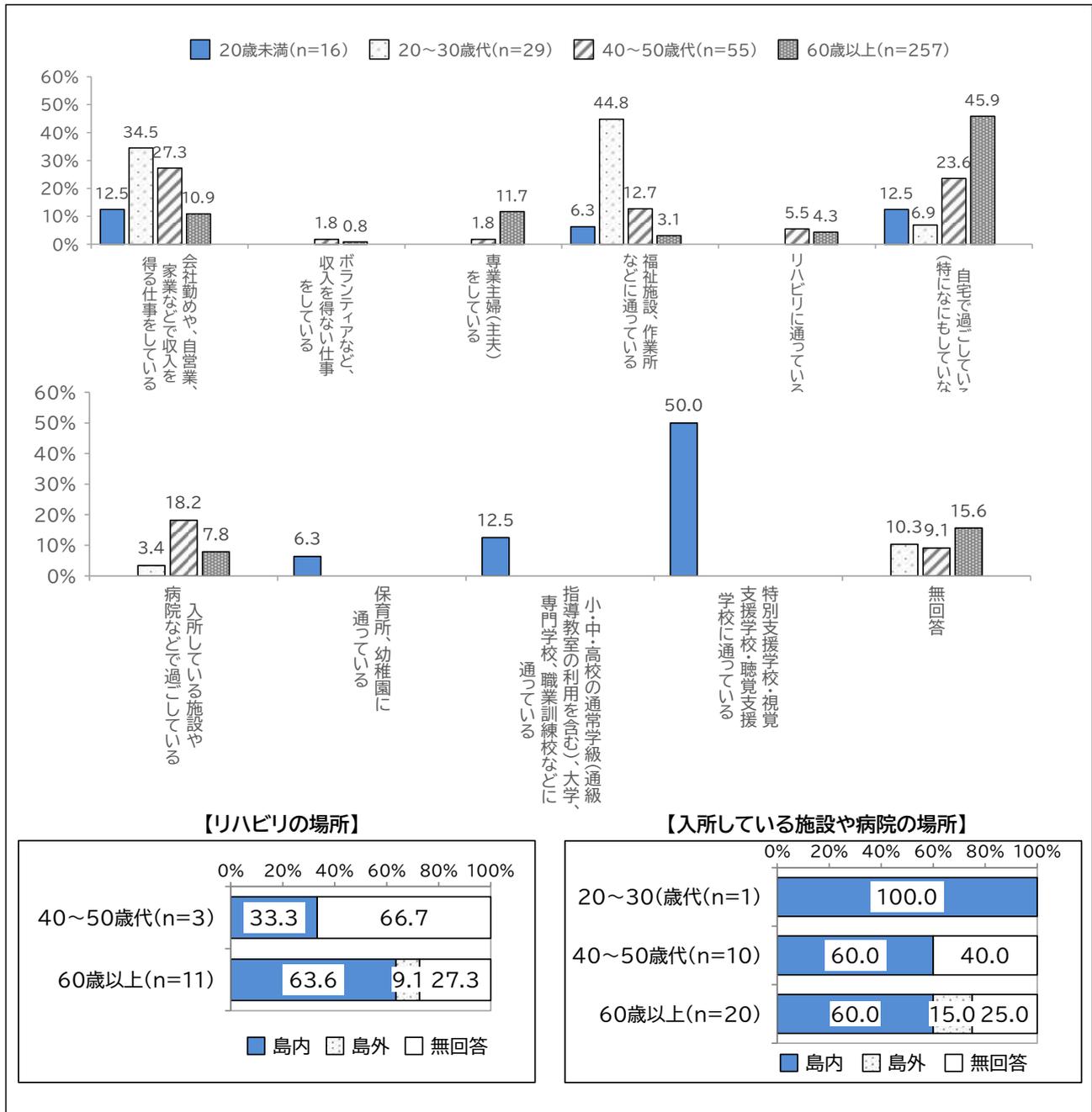
Ⅱ 調査の結果

【年齢別の傾向】

年齢別にみると、20歳未満では「特別支援学校・視覚支援学校・聴覚支援学校に通っている」(50.0%)、20～30歳代では「福祉施設、作業所などに通っている」(44.8%)、40～50歳代では「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」(27.3%)、60歳以上では「自宅で過ごしている（特になにもしていない）」(45.9%)がそれぞれ最も高くなっています。

また、リハビリや入所している施設等の場所については、すべての年齢層で「島内」の割合が6割以上となっています。

図表 20 日中の過ごし方（年齢別）



Ⅱ 調査の結果

図表 21 日中の過ごし方（構成比：単位%）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	福祉施設、作業所などに通っている	島内・島外にリハビリに通っている	自宅で過ごしている(特になりにしていない)	過入所している施設や病院などで過ごしている(島内・島外)	保育所、幼稚園に通っている	小・中・高校の通常学級へ通っている	小・中・高校の特別支援学級に通っている	特別支援学校・視覚支援学校・聴覚支援学校に通っている		
全体(R5)	366	15.3	0.8	8.7	8.2	3.8	38.0	8.5	0.3	0.5	-	2.2	13.7	
障がい別	身体障がい	286	15.4	1.0	10.5	4.2	4.5	40.9	7.7	0.3	-	-	0.7	14.7
	知的障がい	86	11.6	-	1.2	24.4	1.2	19.8	20.9	1.2	-	9.3	9.3	
	精神障がい	26	23.1	-	3.8	7.7	-	50.0	3.8	-	3.8	-	7.7	
	難病	26	3.8	-	15.4	-	7.7	53.8	3.8	-	-	3.8	11.5	
	発達障がい	42	14.3	-	2.4	19.0	-	11.9	28.6	-	4.8	-	9.5	9.5
	高次脳機能障がい	16	6.3	-	-	-	12.5	31.3	37.5	-	-	-	-	12.5

【リハビリに通っている】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	無回答	
		島内	島外		
全体(R5)	14	57.1	7.1	35.7	
障がい別	身体障がい	13	61.5	7.7	30.8
	知的障がい	1	-	-	100.0
	精神障がい	-	-	-	-
	難病	2	100.0	-	-
	発達障がい	-	-	-	-
	高次脳機能障がい	2	-	-	100.0
年代別	20歳未満	-	-	-	-
	20~30歳代	-	-	-	-
	40~50歳代	3	33.3	-	66.7
	60歳以上	11	63.6	9.1	27.3

【入所している施設や病院などで過ごしている】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1)	(2)	無回答	
		島内	島外		
全体(R5)	31	61.3	9.7	29.0	
障がい別	身体障がい	22	63.6	9.1	27.3
	知的障がい	18	50.0	11.1	38.9
	精神障がい	1	100.0	-	-
	難病	1	100.0	-	-
	発達障がい	12	58.3	-	41.7
	高次脳機能障がい	6	33.3	33.3	33.3
年代別	20歳未満	-	-	-	-
	20~30歳代	1	100.0	-	-
	40~50歳代	10	60.0	-	40.0
	60歳以上	20	60.0	15.0	25.0

## 2 困り事に対する相談について

### (1) 現在の生活で困っていることや不安に思っていること

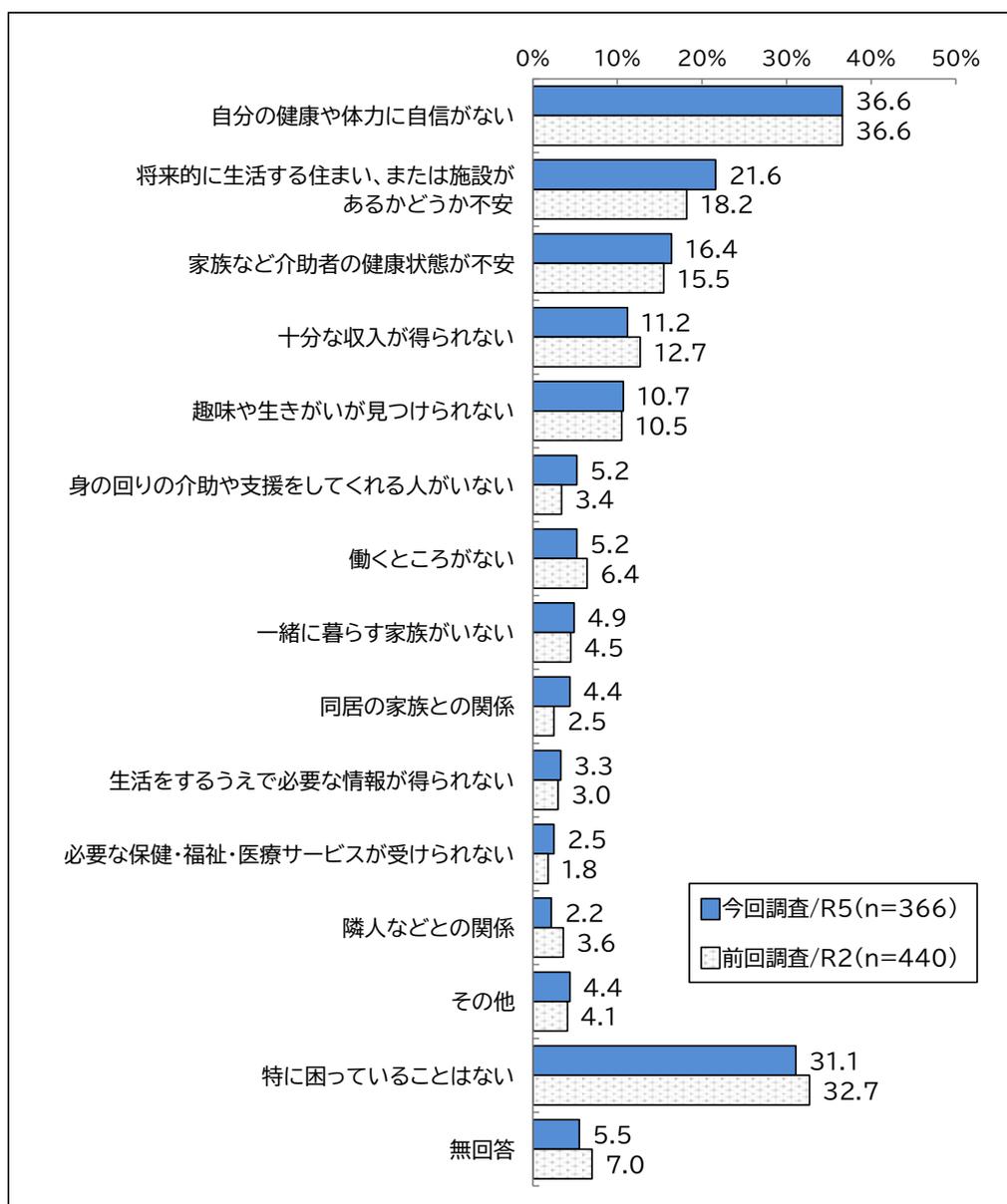
問17 現在の生活で、困っていることや不安に思っていることがありますか。(おもなもの3つまで○)

#### 【全体の傾向】

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについてたずねたところ、「自分の健康や体力に自信がない」(36.6%)が最も高く、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」(21.6%)、「家族など介助者の健康状態が不安」(16.4%)などとなっています。一方、「特に困っていることはない」は31.1%となっており、全体では第2位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」が3.4ポイント増加し、「十分な収入が得られない」が1.5ポイント減少しています。

図表 22 現在の生活で困っていることや不安に思っていること（全体、前回との比較／複数回答）



Ⅱ 調査の結果

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、精神障がい、難病、高次脳機能障がいでは「自分の健康や体力に自信がない」、知的障がい、発達障がいでは「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 23 現在の生活において困っていること（障がい別／複数回答）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	
		自分の健康や体力に自信がない	は将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安	安家族など介助者の健康状態が不安	十分な収入が得られない	い趣味や生きがいが見つけれない	れ身の回りの介助や支援をしてくれない	働くところがない	
【表の見方】	調査数（人）								
	比率(%) 網掛け＝								
		1位							
		2位							
	全体(R5)	366	36.6	21.6	16.4	11.2	10.7	5.2	5.2
障がい別	身体障がい	286	39.2	18.9	15.4	10.1	9.8	4.9	4.2
	知的障がい	86	19.8	37.2	20.9	11.6	10.5	7.0	8.1
	精神障がい	26	42.3	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	15.4
	難病	26	50.0	23.1	15.4	3.8	7.7	19.2	3.8
	発達障がい	42	21.4	42.9	23.8	9.5	14.3	7.1	4.8
	高次脳機能障がい	16	43.8	31.3	25.0	12.5	12.5	12.5	-

		(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	
		一緒に暮らす家族がいない	同居の家族との関係	得られない生活をするうえで必要な情報が	スが必要な保健・福祉・医療サービ	隣人などとの関係	その他	特に困っていることはない	無回答
【表の見方】	調査数（人）								
	比率(%) 網掛け＝								
		1位							
		2位							
	全体(R5)	4.9	4.4	3.3	2.5	2.2	4.4	31.1	5.5
障がい別	身体障がい	4.5	3.8	3.5	2.4	2.1	3.1	31.8	6.3
	知的障がい	7.0	2.3	7.0	3.5	4.7	7.0	25.6	3.5
	精神障がい	3.8	7.7	-	3.8	-	-	34.6	-
	難病	11.5	7.7	3.8	3.8	-	3.8	23.1	3.8
	発達障がい	14.3	4.8	7.1	7.1	9.5	7.1	21.4	-
	高次脳機能障がい	18.8	6.3	-	6.3	-	-	25.0	12.5

## (2) 悩みや困ったことの相談先

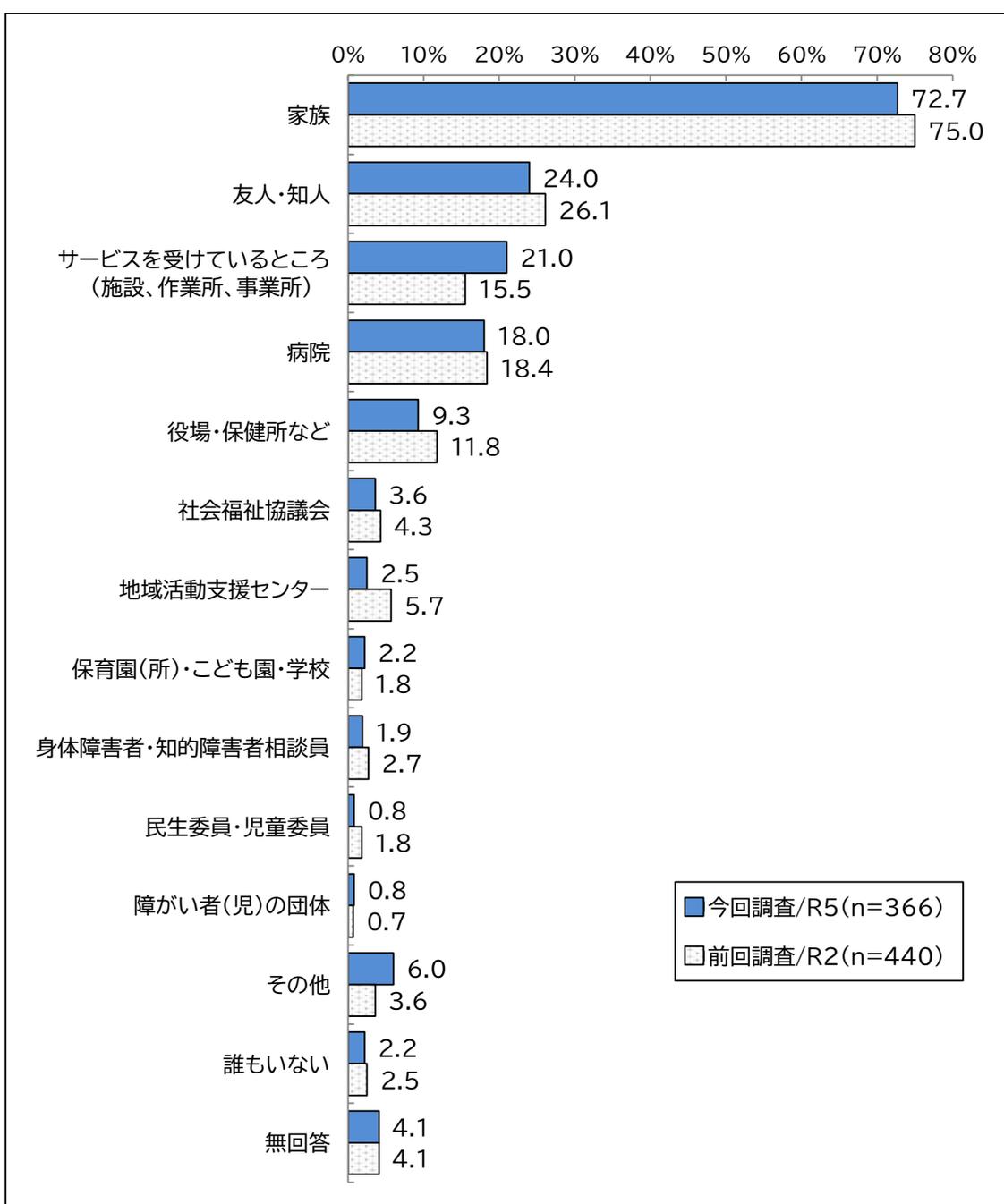
問 18 悩みや困ったことを相談するのは、誰ですか。(おもなもの3つまで○)

### 【全体の傾向】

悩みや困ったことの相談先についてたずねたところ、「家族」(72.7%)が最も高く、その割合は突出しています。次いで「友人・知人」(24.0%)、「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」(21.0%)、「病院」(18.0%)、「役場・保健所など」(9.3%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」は5.5ポイント増加し、「地域活動支援センター」は3.2ポイント減少しています。

図表 24 悩みや困ったことの相談先(全体、前回との比較/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、発達障がいを除いたすべての障がいでは「家族」が5割以上と最も高く、一方、発達障がいでは「サービスを受けているところ（施設、作業所、事業所）」が57.1%と最も高くなっています。次いで、身体障がいでは「友人・知人」（26.6%）、知的障がい、高次脳機能障がいでは「サービスを受けているところ（施設、作業所、事業所）」、精神障がい、難病では「病院」、発達障がいでは「家族」（50.0%）が高くなっています。

図表 25 悩みや困ったことの相談先（障がい別／複数回答）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	
		家族	友人・知人	（サービスを受けているところ （施設、作業所、事業所））	病院	役場・保健所など	社会福祉協議会	地域活動支援センター	
【表の見方】	調査数（人）								
	比率(%) 網掛け＝								
		1位	2位						
全体(R5)		366	72.7	24.0	21.0	18.0	9.3	3.6	2.5
障がい別	身体障がい	286	76.2	26.6	16.4	17.8	9.8	2.4	2.1
	知的障がい	86	53.5	16.3	50.0	17.4	7.0	8.1	2.3
	精神障がい	26	65.4	19.2	15.4	38.5	7.7	3.8	3.8
	難病	26	88.5	23.1	-	46.2	15.4	7.7	-
	発達障がい	42	50.0	16.7	57.1	23.8	4.8	4.8	2.4
	高次脳機能障がい	16	56.3	-	43.8	37.5	-	-	-

		(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
		保育園（所）・こども園・学校	身体障害者・知的障害者相談員	民生委員・児童委員	障がい者（児）の団体	その他	誰もいない	無回答
【表の見方】	調査数（人）							
	比率(%) 網掛け＝							
		1位	2位					
全体(R5)		2.2	1.9	0.8	0.8	6.0	2.2	4.1
障がい別	身体障がい	0.7	1.7	0.7	0.3	6.3	1.7	4.9
	知的障がい	9.3	2.3	1.2	2.3	5.8	1.2	1.2
	精神障がい	-	-	-	-	7.7	7.7	-
	難病	3.8	3.8	-	3.8	11.5	3.8	3.8
	発達障がい	9.5	-	2.4	4.8	7.1	2.4	-
	高次脳機能障がい	-	-	-	12.5	12.5	6.3	6.3

### (3) 障がい者福祉や生活に関する相談体制に関する要望

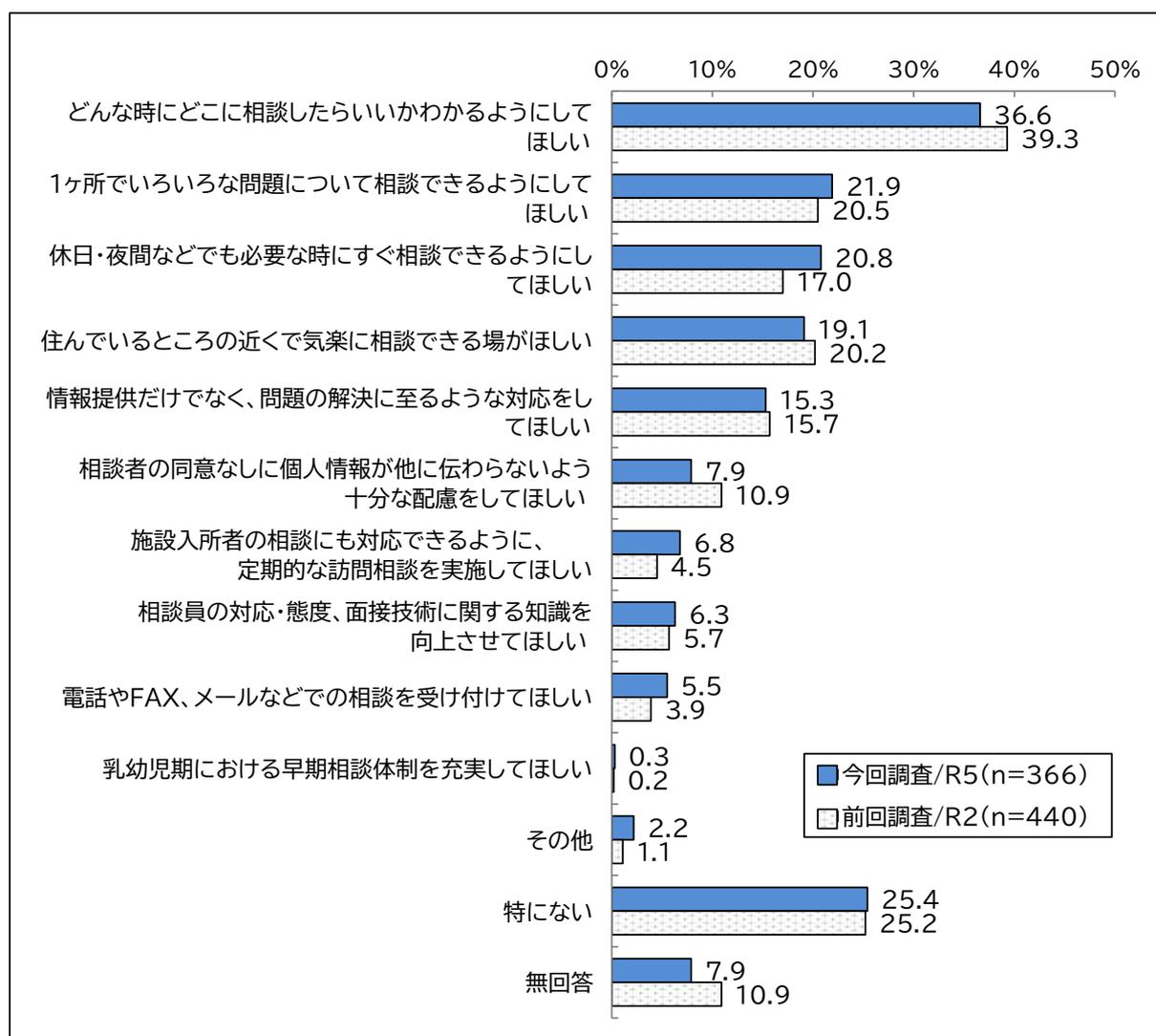
問 19 今後、障がい者福祉や生活に関する相談体制として、どのようなことを希望しますか。  
(おもなものを3つまで○)

#### 【全体の傾向】

障がい者福祉や生活に関する相談体制に関する要望についてたずねたところ、「どんな時にどこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」(36.6%)が最も高く、次いで「1ヶ所でいろいろな問題について相談できるようにしてほしい」(21.9%)、「休日・夜間などでも必要な時にすぐ相談できるようにしてほしい」(20.8%)などとなっています。一方、「特にない」は25.4%となっており、全体では第2位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「休日・夜間などでも必要な時にすぐ相談できるようにしてほしい」は3.8ポイント増加し、「相談員の対応・態度、面接技術に関する知識を向上させてほしい」は3.0ポイント減少しています。

図表 26 障がい者福祉や生活に関する相談体制に関する要望（全体、前回との比較／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「どんな時にどこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が最も高く、精神障がい、難病では「特にない」が同率で最も高くなっています。

また、精神障がいでは「1ヶ所でいろいろな問題について相談できるようにしてほしい」(30.8%)、発達障がいでは「休日・夜間などでも必要な時にすぐ相談できるようにしてほしい」(35.7%)、「情報提供だけでなく、問題の解決に至るような対応をしてほしい」(33.3%)が比較的高くなっています。

図表 27 相談体制に関する要望（障がい別／複数回答）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
【表の見方】	調査数（人）							
	比率(%) 網掛け＝							
		いど かん わな か時 るに よう こに し相 て談 ほし たら いい	て1 ヶ所 で でき るよ うに なし 問 題に しつ いい	いす休 ぐ日 相・夜 談で 間 きな ど よも に必 し要 てな ほ時 しに	に住 相ん 談で でき ると 場 がほ の近 いく で 気 楽	い決情 に報 至提 供 よだ けな で 対 応 を、 し問 題 の解	を他相 しに談 て伝者 ほしわ の同 い意 なし よに 十個 分人 な情 配報 慮が	
	全体(R5)	366	36.6	21.9	20.8	19.1	15.3	7.9
障 が い 別	身体障がい	286	35.0	21.7	21.3	18.9	14.3	7.3
	知的障がい	86	43.0	26.7	23.3	20.9	27.9	11.6
	精神障がい	26	34.6	30.8	26.9	26.9	7.7	-
	難病	26	26.9	19.2	23.1	19.2	11.5	3.8
	発達障がい	42	47.6	19.0	35.7	19.0	33.3	11.9
	高次脳機能障がい	16	31.3	18.8	25.0	25.0	-	-

		(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	
【表の見方】	調査数（人）							
	比率(%) 網掛け＝							
		実る施 施よ設 しう入 てに所 ほ、者 し定の い期相 的談 なにも 訪問 対相 応談 でき き	いに相 関談 す員 るの 知対 識応 を・ 向態 上度 さ、 せ面 て接 ほ技 し術	相電 談話 をや 受F けA 付X け、 てメ ほし ルな ど の	を乳幼 充実児 期に おける 早期 相談 体制	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体(R5)	6.8	6.3	5.5	0.3	2.2	25.4	7.9
障 が い 別	身体障がい	6.6	4.5	5.6	0.3	2.4	25.9	8.0
	知的障がい	11.6	16.3	4.7	-	1.2	14.0	5.8
	精神障がい	3.8	3.8	7.7	-	3.8	34.6	-
	難病	3.8	-	11.5	-	7.7	26.9	15.4
	発達障がい	14.3	16.7	2.4	-	2.4	14.3	7.1
	高次脳機能障がい	12.5	-	6.3	-	12.5	12.5	31.3

### (4) 困った時の相談体制の充実度

問 20 困った時の相談体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。(○は1つ)

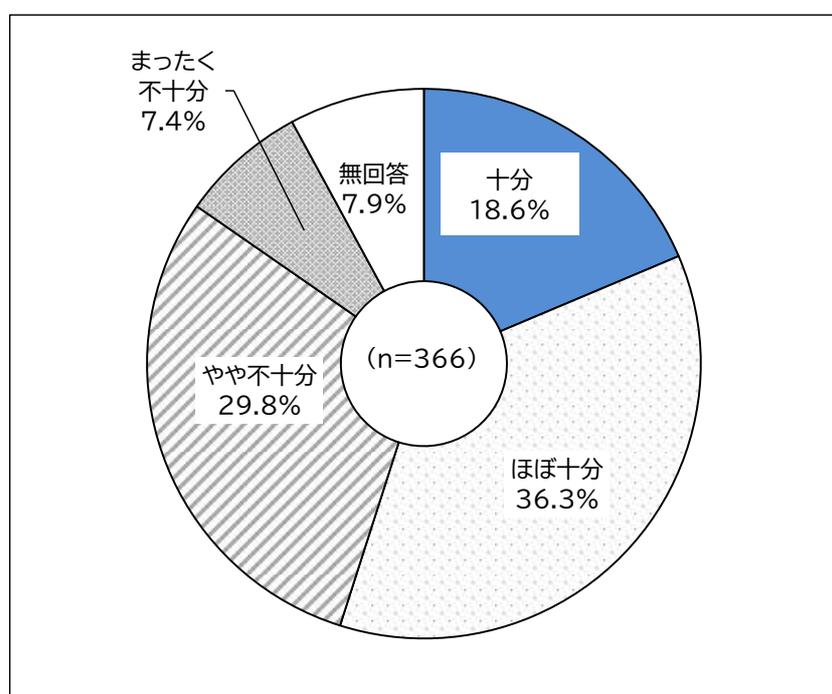
#### 【全体の傾向】

困った時の相談体制についてたずねたところ、「ほぼ十分」(36.3%)が最も高く、次いで「やや不十分」(29.8%)、「十分」(18.6%)、「まったく不十分」(7.4%)となっています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「ほぼ十分」(39.2%)、その他の障がいでは「やや不十分」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 28 困った時の相談体制の充実度（全体、障がい別）



【表の見方】	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		十分	ほぼ十分	やや不十分	まったく不十分		
比率(%) 網掛け=							
1位							
2位							
全体(R5)	366	18.6	36.3	29.8	7.4	7.9	
障がい別	身体障がい	286	18.5	39.2	27.3	6.3	8.7
	知的障がい	86	18.6	30.2	34.9	12.8	3.5
	精神障がい	26	26.9	23.1	46.2	3.8	-
	難病	26	23.1	19.2	30.8	7.7	19.2
	発達障がい	42	14.3	31.0	42.9	9.5	2.4
	高次脳機能障がい	16	25.0	25.0	31.3	6.3	12.5

### 3 毎日の暮らしについて

#### (1) 介助・援助を必要とすること

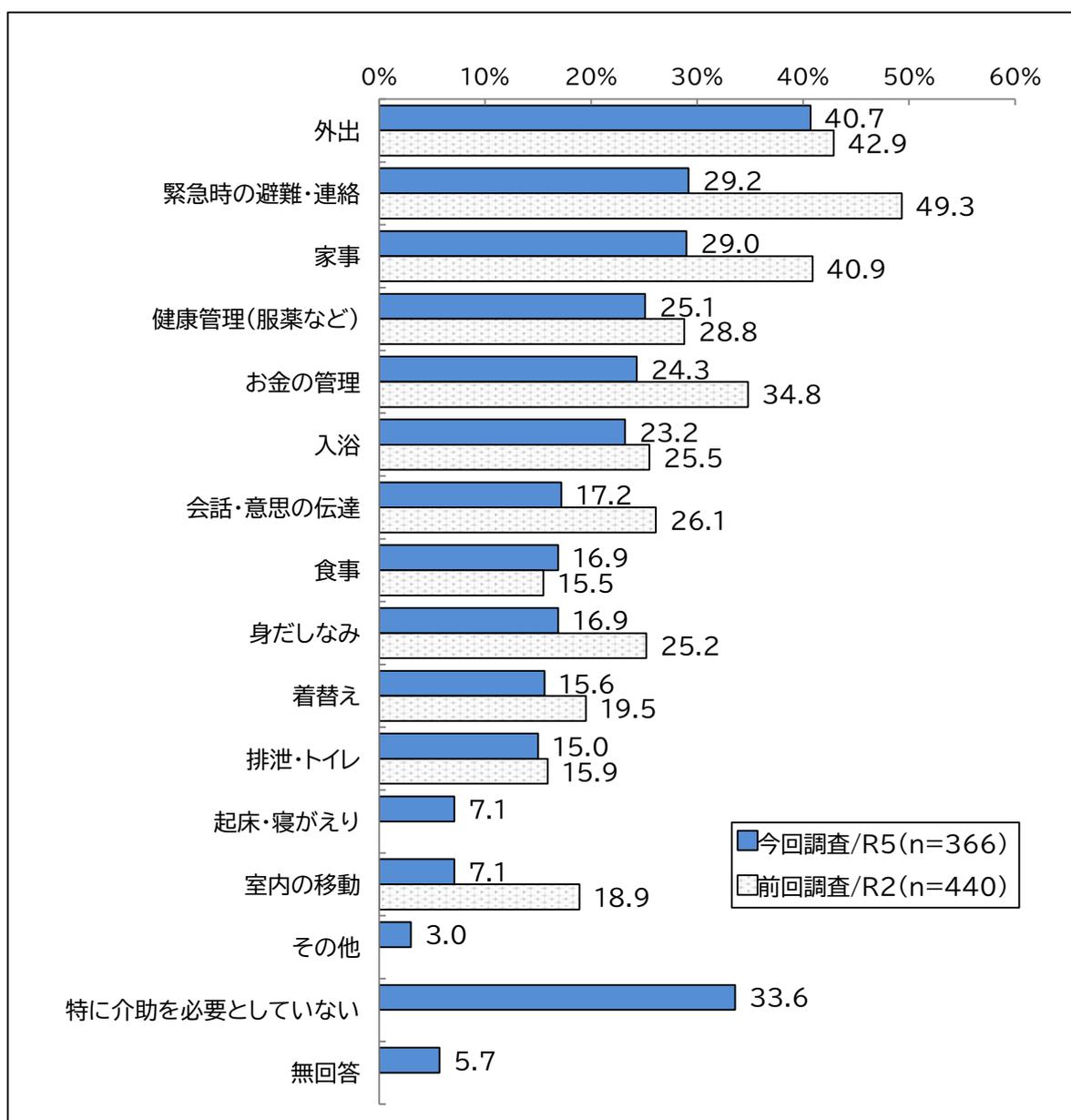
問21 あなたが介助・援助を必要とすることはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

##### 【全体の傾向】

日常生活でどのような介助や支援が必要かたずねたところ、「外出」(40.7%)が最も高く、次いで「緊急時の避難・連絡」(29.2%)、「家事」(29.0%)、「健康管理(服薬など)」(25.1%)、「お金の管理」(24.3%)などとなっています。一方、「特に介助を必要としていない」は33.6%となっており、全体では第2位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「食事」は1.4ポイント増加し、「緊急時の避難・連絡」は20.1ポイントと大幅に減少しています。

図表 29 介助・援助を必要とすること ((全体、前回との比較/複数回答))



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、精神障がいでは「外出」、知的障がい、発達障がいでは「お金の管理」、発達障がいでは「特に介助を必要としていない」(38.5%)、高次脳機能障がいでは「入浴」(68.8%)がそれぞれ最も高くなっています。

図表 30 介助・援助を必要とすること（障がい別／複数回答）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
		外出	緊急時の避難・連絡	家事	健康管理（服薬など）	お金の管理	入浴	会話・意思の伝達	食事	
【表の見方】	調査数（人）									
	比率(%) 網掛け=									
		1位								
		2位								
	全体(R5)	366	40.7	29.2	29.0	25.1	24.3	23.2	17.2	16.9
障がい別	身体障がい	286	39.2	27.3	25.9	20.3	17.1	22.7	13.6	16.8
	知的障がい	86	57.0	47.7	46.5	54.7	60.5	39.5	43.0	29.1
	精神障がい	26	19.2	23.1	26.9	15.4	30.8	3.8	23.1	7.7
	難病	26	57.7	34.6	30.8	26.9	11.5	34.6	7.7	23.1
	発達障がい	42	52.4	47.6	45.2	57.1	61.9	33.3	47.6	28.6
	高次脳機能障がい	16	37.5	37.5	43.8	50.0	37.5	68.8	18.8	50.0

		(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	
		身だしなみ	着替え	排泄・トイレ	起床・寝がえり	室内の移動	その他	特に介助を必要としていない	無回答
【表の見方】	調査数（人）								
	比率(%) 網掛け=								
		1位							
		2位							
	全体(R5)	16.9	15.6	15.0	7.1	7.1	3.0	33.6	5.7
障がい別	身体障がい	14.3	15.0	15.7	8.0	7.7	3.5	37.1	4.9
	知的障がい	38.4	25.6	25.6	10.5	9.3	2.3	10.5	5.8
	精神障がい	3.8	-	-	-	7.7	-	38.5	3.8
	難病	19.2	26.9	23.1	15.4	7.7	3.8	26.9	7.7
	発達障がい	35.7	21.4	19.0	7.1	2.4	-	16.7	2.4
	高次脳機能障がい	43.8	56.3	50.0	12.5	25.0	-	12.5	6.3

## (2) 主な介助者(支援者)

問 22 あなたの(介助者)は(支援者)はどなたですか。(○は1つ)

### 【全体の傾向】

主な介助者(支援者)についてたずねたところ、「配偶者(夫・妻)」(27.3%)が最も高く、次いで「子」(18.0%)、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」(17.8%)などとなっています。一方、「介助(支援)は受けていない」は16.4%となっています。

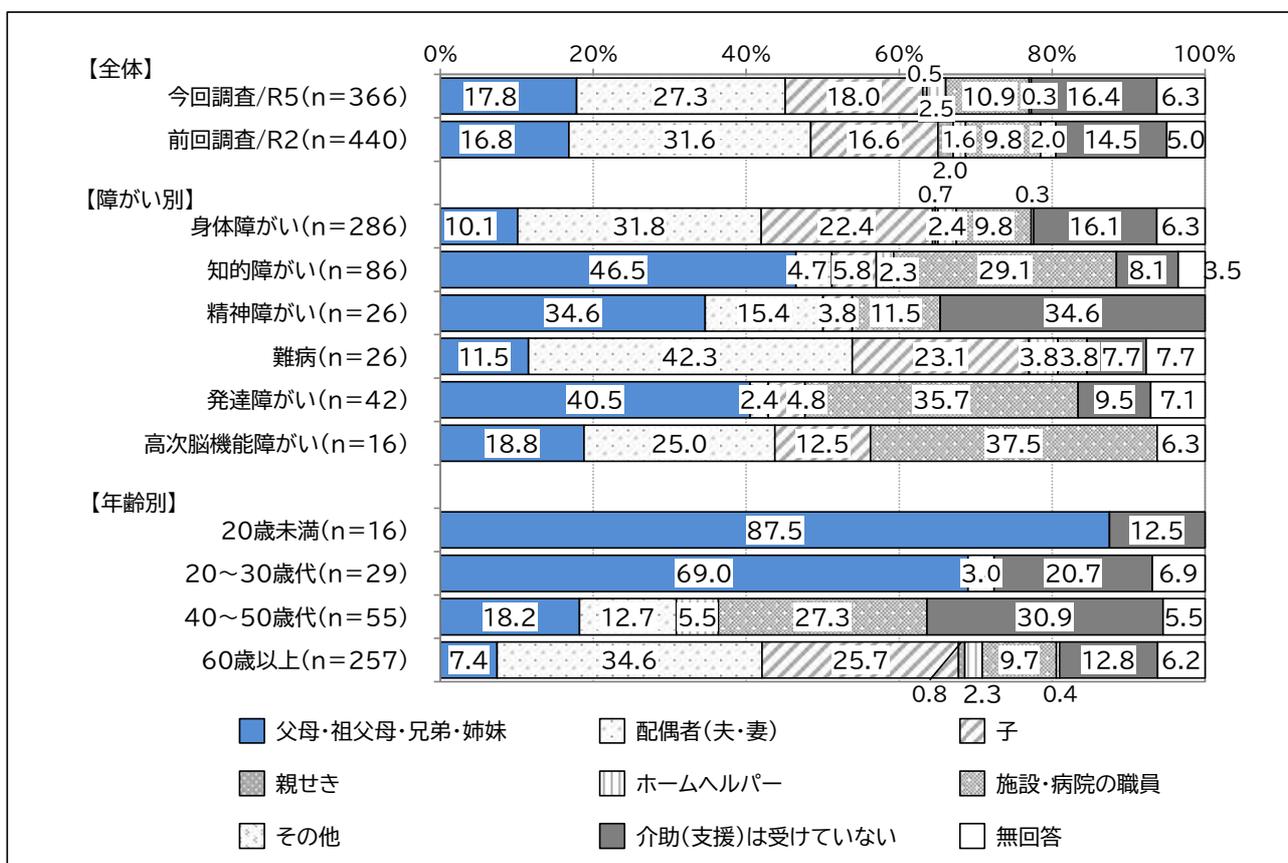
前回調査と比較すると、「介助(支援)は受けていない」が1.9ポイント増加し、「配偶者(夫・妻)」が4.3ポイント減少しています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、難病では「配偶者(夫・妻)」、知的障がい、精神障がい、発達障がいでは「父母・祖父母・兄弟・姉妹」、高次脳機能障がいでは「施設・病院の職員」(37.5%)がそれぞれ最も高くなっています。

年齢別にみると、20歳未満、20～30歳代では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」、40～50歳代は「介助(支援)は受けていない」(30.9%)、60歳以上は「配偶者(夫・妻)」(34.6%)がそれぞれ最も高くなっています。

図表 31 主な介助者(支援者) (全体、前回との比較、障がい別、年齢別)



### (3) 主に介助してくれる方が介助できない場合の対応

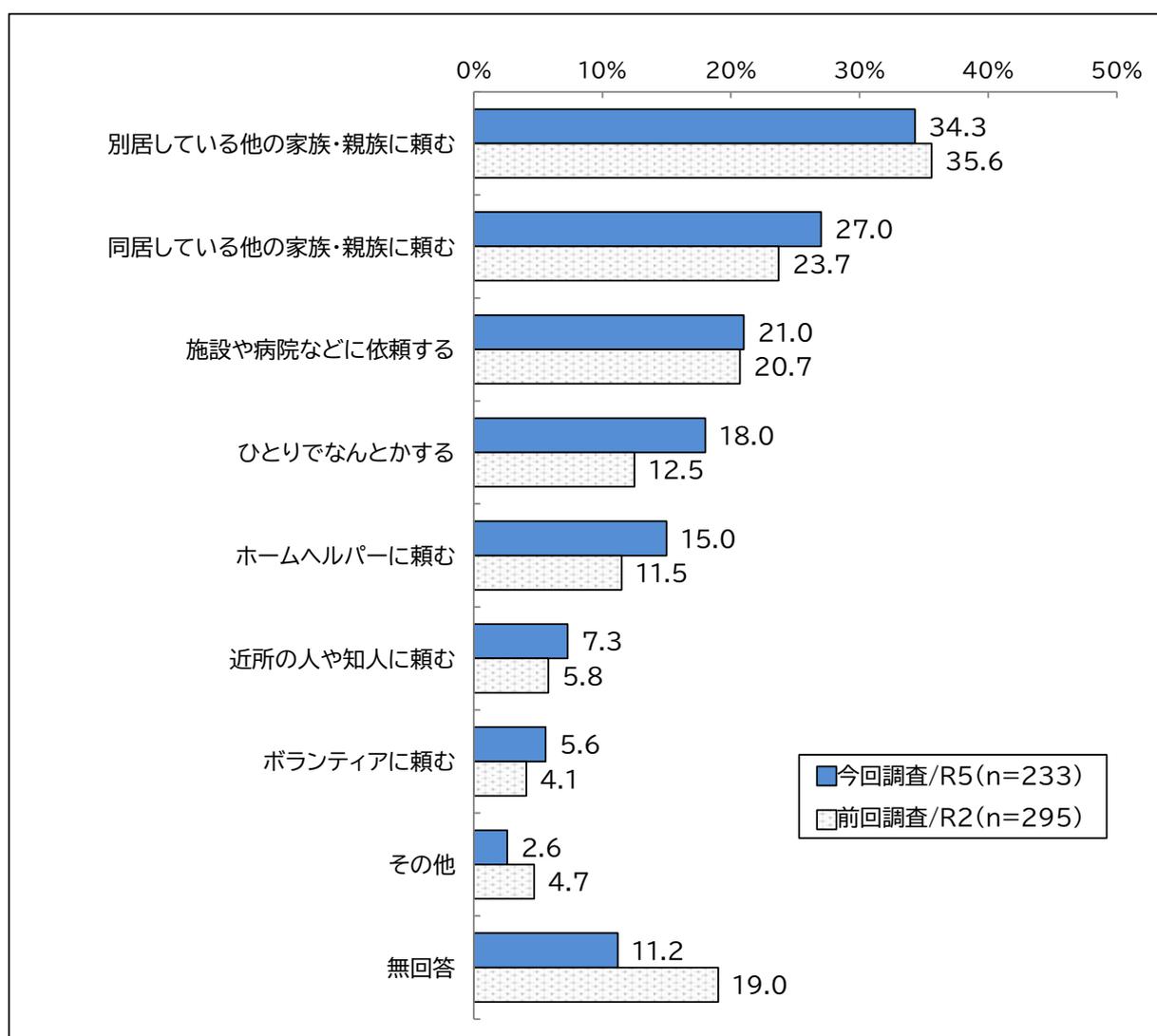
問 22-1 問 22 で 1～4 とお答えした方（介助を受けている方）におうかがいします。  
 あなたを主に介助してくれる方が介助できない場合はどうしますか。  
 （○はあてはまるものすべて）

#### 【全体の傾向】

主に介助してくれる方が介助できない場合の対応についてたずねたところ、「別居している他の家族・親族に頼む」（34.3%）が最も高く、次いで「同居している他の家族・親族に頼む」（27.0%）、「施設や病院などに依頼する」（21.0%）などとなっています。

前回調査と比較すると、「ひとりでなんとかする」が5.5ポイント増加し、「別居している他の家族・親族に頼む」が1.3ポイント減少しています。

図表 32 主に介助してくれる方が介助できない場合の対応（全体、前回との比較／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、難病では「別居している他の家族・親族に頼む」、知的障がい、精神障がい、発達障がい、高次脳機能障がいでは「同居している他の家族・親族に頼む」がそれぞれ最も高くなっており、特に高次脳機能障がいでは「同居している他の家族・親族に頼む」が70.0%と割合が高くなっています。

図表 33 主に介助してくれる方が介助できない場合の対応（障がい別／複数回答）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)
			頼別居 むして いる他 の家族 ・親族 に	頼同居 むして いる他 の家族 ・親族 に	施設 や病院 などに 依頼す る	ひとり でなん とかす る
1位		全体(R2)	35.6	23.7	20.7	12.5
2位		全体(R5)	34.3	27.0	21.0	18.0
障 が い 別	身体障がい	186	34.4	22.6	22.6	18.8
	知的障がい	49	36.7	38.8	26.5	14.3
	精神障がい	14	28.6	42.9	7.1	28.6
	難病	20	50.0	10.0	25.0	15.0
	発達障がい	20	45.0	70.0	20.0	15.0
	高次脳機能障がい	9	33.3	44.4	33.3	-

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数 (人)	(5)	(6)	(7)	(8)	無 回 答
			ホ ー ム ヘル パー に頼 む	近 所 の 人 や 知 人 に 頼 む	ボ ラ ン テ ィ ア に 頼 む	そ の 他	
1位		全体(R2)	11.5	5.8	4.1	4.7	19.0
2位		全体(R5)	15.0	7.3	5.6	2.6	11.2
障 が い 別	身体障がい	186	15.6	8.1	5.4	2.2	12.4
	知的障がい	49	12.2	2.0	6.1	4.1	2.0
	精神障がい	14	21.4	7.1	7.1	7.1	-
	難病	20	5.0	10.0	5.0	5.0	30.0
	発達障がい	20	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	高次脳機能障がい	9	11.1	11.1	-	-	11.1

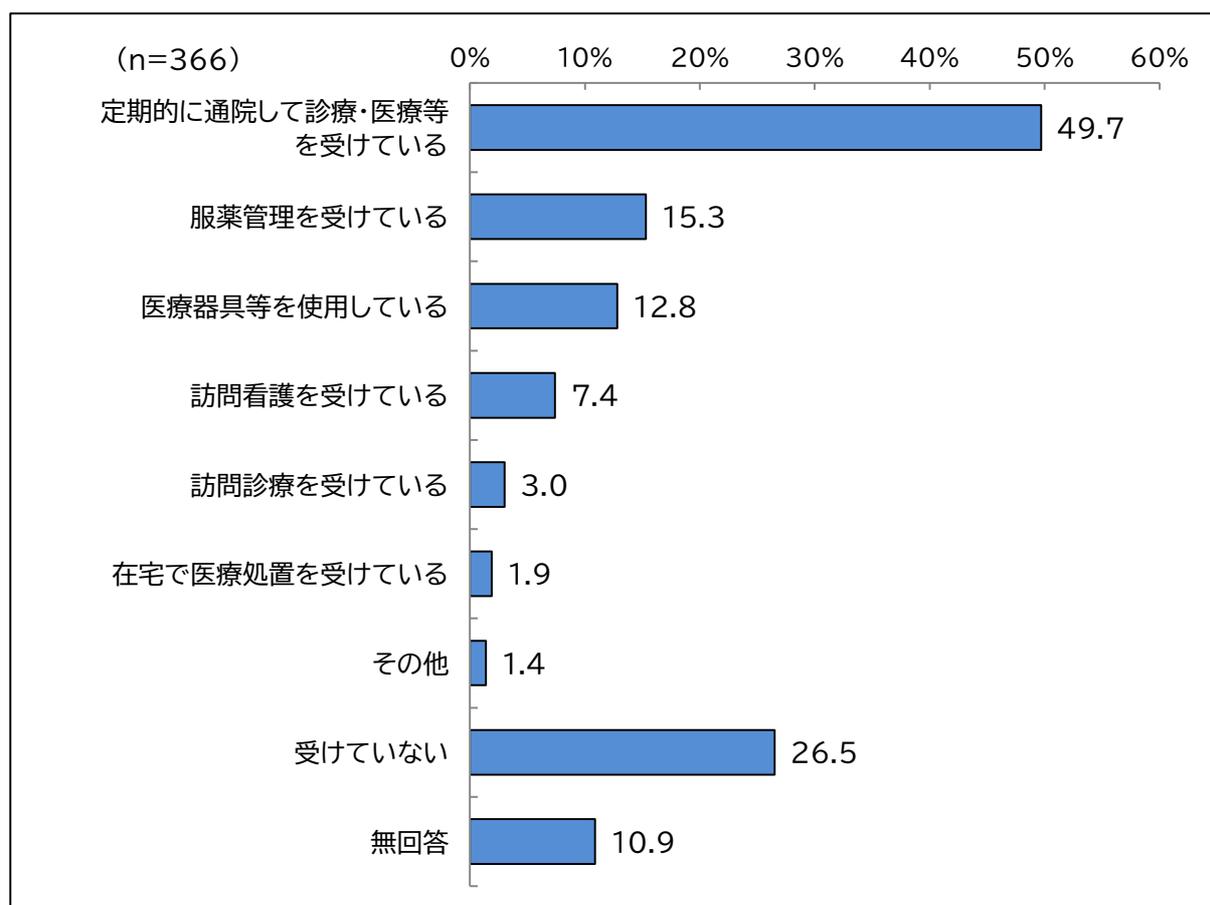
#### (4) 医療ケアの受診状況

問 23 あなたは現在、医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

##### 【全体の傾向】

医療ケアの受診状況についてたずねたところ、「定期的に通院して診療・医療等を受けている」(49.7%)が最も高く、次いで「服薬管理を受けている」(15.3%)、「医療器具等を使用している」(12.8%)などとなっております。一方、「受けていない」は26.5%となっており、全体では第2位の割合となっております。

図表 34 医療ケアの受診状況 (全体/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、精神障がいを除くすべての障がいで「定期的に通院して診療・医療等を受けている」(37.1%)が最も高く、特に難病では65.4%と6割を超えています。一方、精神障がいでは「受けていない」が53.8%と最も高くなっています。

図表 35 医療ケアの受診状況 (障がい別/複数回答)

			(1)	(2)	(3)	(4)
		調査数(人)	を定期的に 受けて通院して 診療・医療等	服薬管理を 受けている	医療器具等 を使用している	訪問看護を 受けている
【表の見方】	比率(%)					
	網掛け=					
			1位			
			2位			
全体(R5)		366	49.7	15.3	12.8	7.4
障がい別	身体障がい	286	53.5	14.3	16.1	8.0
	知的障がい	86	43.0	26.7	5.8	4.7
	精神障がい	26	26.9	19.2	-	7.7
	難病	26	65.4	11.5	30.8	15.4
	発達障がい	42	40.5	33.3	-	2.4
	高次脳機能障がい	16	50.0	12.5	18.8	18.8

			(5)	(6)	(7)	(8)
		訪問診療を 受けている	在宅で医療 処置を受けて いる	その他	受けていない	無回答
【表の見方】	比率(%)					
	網掛け=					
			1位			
			2位			
全体(R5)		3.0	1.9	1.4	26.5	10.9
障がい別	身体障がい	3.1	2.4	1.7	23.1	10.5
	知的障がい	8.1	2.3	1.2	30.2	8.1
	精神障がい	3.8	-	3.8	53.8	7.7
	難病	-	3.8	-	19.2	7.7
	発達障がい	9.5	-	-	26.2	14.3
	高次脳機能障がい	6.3	-	12.5	12.5	6.3

## 4 福祉サービスについて

### (1) 障害支援区分の認定状況

問 24 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つ)

#### 【全体の傾向】

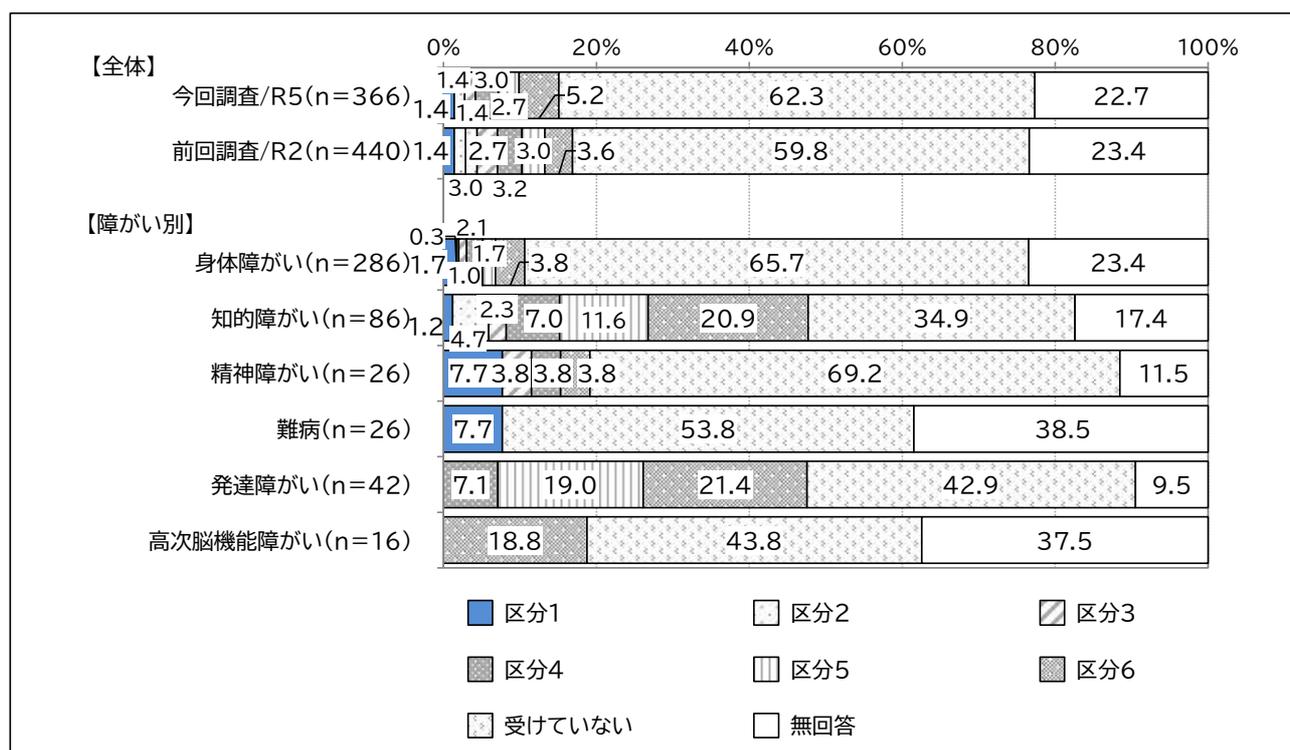
障害支援区分の認定状況についてたずねたところ、「受けていない」が62.3%となっており、次いで「区分6」(5.2%)、「区分4」(3.0%)、「区分5」(2.7%) などとなっています。

前回調査と比較すると、「受けていない」の割合が2.5ポイント増加しています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「受けていない」が最も高く、次いで、知的障がい、発達障がい、高次脳機能障がいでは「区分6」が2割程度と比較的高くなっています。

図表 36 障害支援区分の認定状況（全体、前回との比較、障がい別）



## (2) 現在利用している福祉サービス

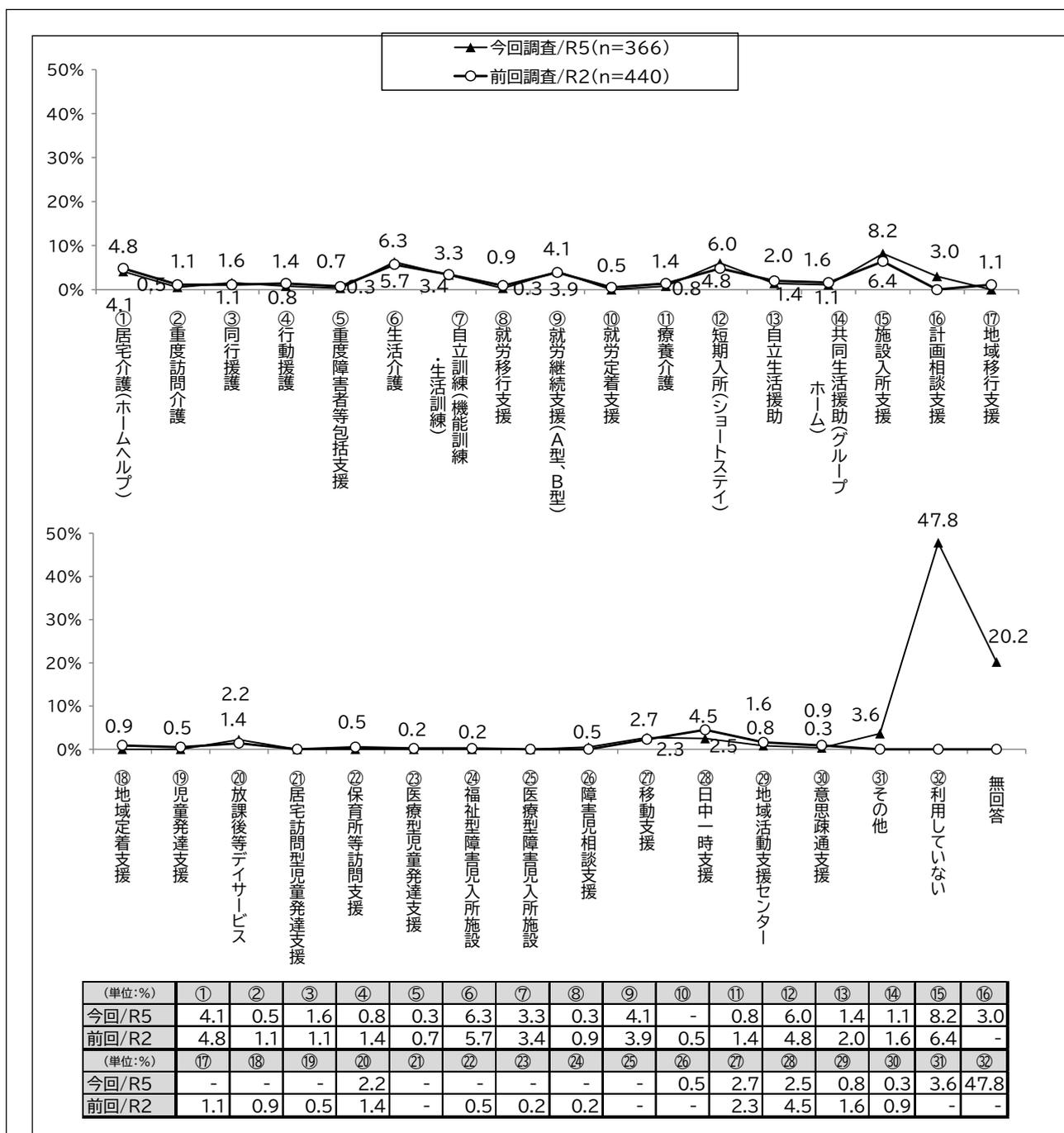
問 25 あなたが現在利用している福祉サービス等を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

現在利用している福祉サービスについてたずねたところ、「施設入所支援」(8.2%)、「生活介護」(6.3%)、「短期入所(ショートステイ)」(6.0%)などの利用率が高くなっています。

前回調査と比較すると、「施設入所支援」は1.8ポイント増加し、「日中一時支援」は2.0ポイント減少しています。

図表 37 現在利用している福祉サービス(全体、前回との比較)



Ⅱ 調査の結果

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病では「利用していない」が最も高く、発達障がいでは「施設入所支援」(31.0%)、高次脳機能障がいでは「施設入所支援」、「利用していない」(同率 31.3%) の利用率が最も高くなっています。

図表 38 現在利用している福祉サービス（障がい別）

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
		施設入所支援	生活介護	短期入所(ショートステイ)	居宅介護(ホームヘルプ)	就労継続支援(A型、B型)	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	計画相談支援	移動支援	日中一時支援	放課後等デイサービス	同行援護	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	行動援護	療養介護	地域活動支援センター
全体(R5)	366	8.2	6.3	6.0	4.1	4.1	3.3	3.0	2.7	2.5	2.2	1.6	1.4	1.1	0.8	0.8	0.8
障がい別																	
身体障がい	286	6.6	4.5	4.9	4.2	1.4	3.1	1.0	1.4	1.0	1.0	1.7	1.0	0.7	1.0	1.0	-
知的障がい	86	20.9	16.3	17.4	3.5	15.1	-	5.8	9.3	8.1	7.0	-	1.2	1.2	2.3	2.3	-
精神障がい	26	-	-	3.8	3.8	3.8	7.7	15.4	7.7	3.8	3.8	-	7.7	3.8	-	-	11.5
難病	26	3.8	-	-	-	-	3.8	-	-	-	3.8	7.7	-	-	-	-	-
発達障がい	42	31.0	16.7	14.3	-	11.9	-	7.1	11.9	14.3	9.5	-	2.4	-	4.8	-	-
高次脳機能障がい	16	31.3	12.5	6.3	-	-	-	-	12.5	-	6.3	-	6.3	-	6.3	6.3	-

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	無回答
全体(R5)	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	47.8	20.2
障がい別																	
身体障がい	0.7	-	0.3	-	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	52.1	20.6
知的障がい	-	1.2	-	-	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27.9	12.8
精神障がい	-	3.8	-	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61.5	15.4
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	42.3	34.6
発達障がい	-	2.4	-	-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	11.9
高次脳機能障がい	-	-	6.3	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	31.3	18.8

### (3) 利用している福祉サービスの満足度

問 26 問 25 で「1」～「31」を選択した方のみお答えください。  
あなたは利用している福祉サービスに満足していますか。(○は1つ)

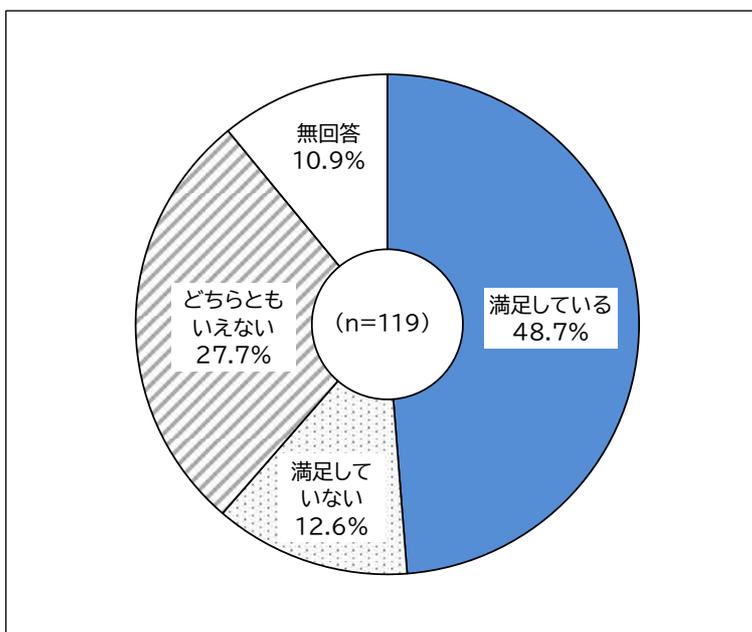
#### 【全体の傾向】

利用している福祉サービスの満足度についてたずねたところ、「満足している」(48.7%)、「満足していない」(12.6%)、「どちらともいえない」(27.7%)となっています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がいでは「満足している」の割合が高く、特に、高次脳機能障がいでは75.0%と7割を超えています。一方、難病は「満足していない」(50.0%)が高く、発達障がいは「どちらともいえない」(48.0%)が高くなっています。

図表 39 利用している福祉サービスの満足度（全体、障がい別）



【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	無回答
		満足している	満足していない	どちらともいえない	
全体(R5)	119	48.7	12.6	27.7	10.9
障がい別	身体障がい	51.3	12.5	23.8	12.5
	知的障がい	41.2	15.7	37.3	5.9
	精神障がい	42.9	14.3	28.6	14.3
	難病	16.7	50.0	16.7	16.7
	発達障がい	36.0	12.0	48.0	4.0
高次脳機能障がい	8	75.0	-	12.5	12.5

#### (4) 今後利用の量を変更したい又は新たに利用したい福祉サービスの有無

問 27 問 25 の福祉サービス等のうち、今後（3年程度の間で）利用の量を変更したい、または新たに利用したいサービスはありますか。（○は1つ）

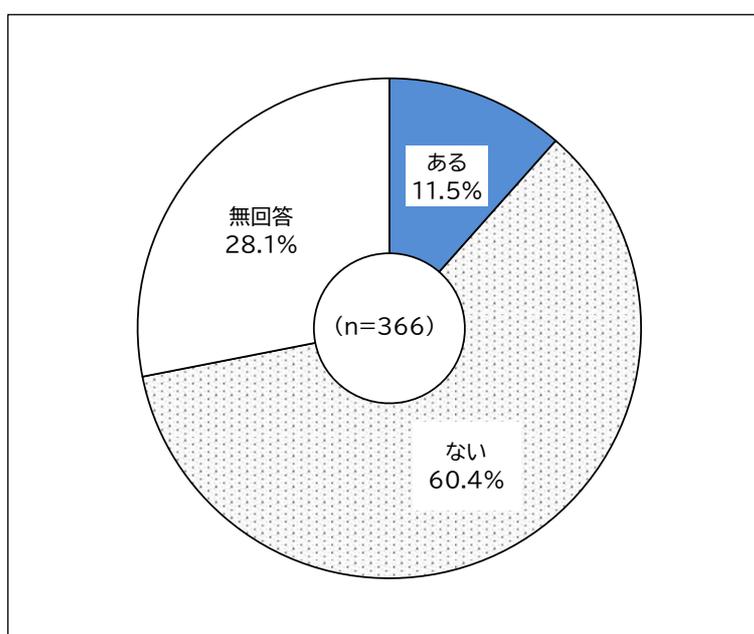
##### 【全体の傾向】

今後利用の量を変更したい又は新たに利用したい福祉サービスの有無についてたずねたところ、「ある」が11.5%、「ない」が60.4%となっています。

##### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいでは「ない」が最も高くなっているものの、知的障がい、精神障がいでは「ある」の割合が2割程度と比較的高くなっています。

図表 40 今後利用の量を変更したい又は新たに利用したい福祉サービスの有無（全体、障がい別）



【表の見方】		調査数 (人)	(1)	(2)	無回答
			ある	ない	
比率(%) 網掛け=					
1位					
2位					
全体(R5)		366	11.5	60.4	28.1
障がい別	身体障がい	286	10.1	59.1	30.8
	知的障がい	86	17.4	68.6	14.0
	精神障がい	26	19.2	65.4	15.4
	難病	26	3.8	50.0	46.2
	発達障がい	42	9.5	78.6	11.9
	高次脳機能障がい	16	6.3	62.5	31.3

(5) 今後利用の量を変更したい又は新たに利用したい福祉サービスの種類

問 28 問 27 で「1 ある」を選択した方のみお答えください。

利用量の変更や新規で追加したい福祉サービスがある場合は、問 25 の福祉サービス等の番号を、下記の①～④の回答欄にご記入ください。(○はそれぞれ1つ)

①現在利用しているサービスのうち今後利用を増やす予定のサービス

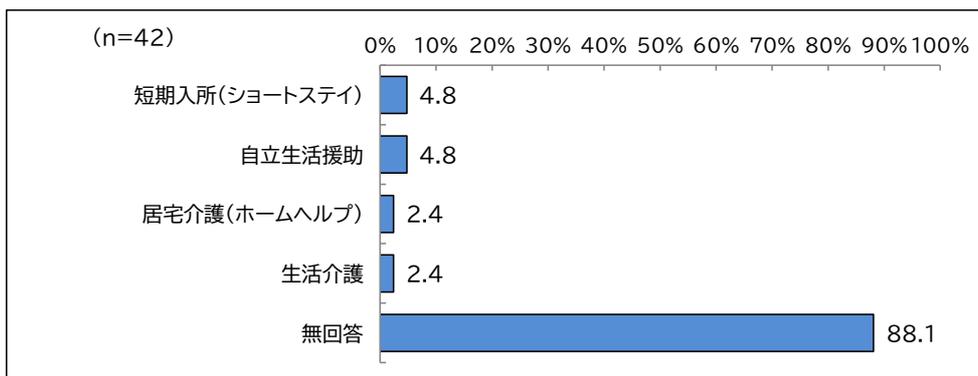
【全体の傾向】

現在利用しているサービスのうち今後利用を増やす予定のサービスについてたずねたところ、「短期入所（ショートステイ）」、「自立生活援助」（同率 4.8%、2 人）が最も高く、次いで、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「生活介護」（同率 2.4%、1 人）となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「短期入所（ショートステイ）」（6.9%）、知的障がいでは「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」（同率 6.7%）、精神障がいでは「自立生活援助」、「居宅介護（ホームヘルプ）」（同率 20.0%）、発達障がいでは「生活介護」（25.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 41 ①現在利用しているサービスのうち今後利用を増やす予定のサービス（全体、障がい別）



【表の見方】	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		短期入所 (ショートステイ)	自立生活援助	居宅介護 (ホームヘルプ)	生活介護		
全体(R5)	42	4.8	4.8	2.4	2.4	88.1	
障がい別	身体障がい	29	6.9	3.4	-	-	89.7
	知的障がい	15	6.7	-	-	6.7	86.7
	精神障がい	5	-	20.0	20.0	-	80.0
	難病	1	-	-	-	-	100.0
	発達障がい	4	-	-	-	25.0	75.0
	高次脳機能障がい	1	-	-	-	-	100.0

※上記以外の項目は0名のため、グラフ・表ともに表示していません。

②現在利用しているサービスのうち今後利用を減らす予定のサービス

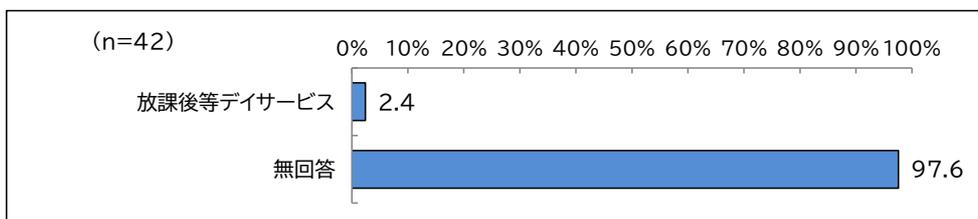
【全体の傾向】

現在利用しているサービスのうち今後利用を減らす予定のサービスについてたずねたところ、「放課後等デイサービス」(2.4%、1人)となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、知的障がい、発達障がいでは「放課後等デイサービス」が高くなっています。

図表 42 ②現在利用しているサービスのうち今後利用を減らす予定のサービス（全体、障がい別）



【表の見方】		(1)		
比率(%) 網掛け=		調査数 (人)	放課後等 デイサー ビス	無 回 答
1位	2位			
全体(R5)		42	2.4	97.6
障がい別	身体障がい	29	-	100.0
	知的障がい	15	6.7	93.3
	精神障がい	5	-	100.0
	難病	1	-	100.0
	発達障がい	4	25.0	75.0
	高次脳機能障がい	1	-	100.0

※上記以外の項目は0名のため、グラフ・表ともに表示しておりません。

③現在利用しているサービスのうち今後利用を止める予定のサービス

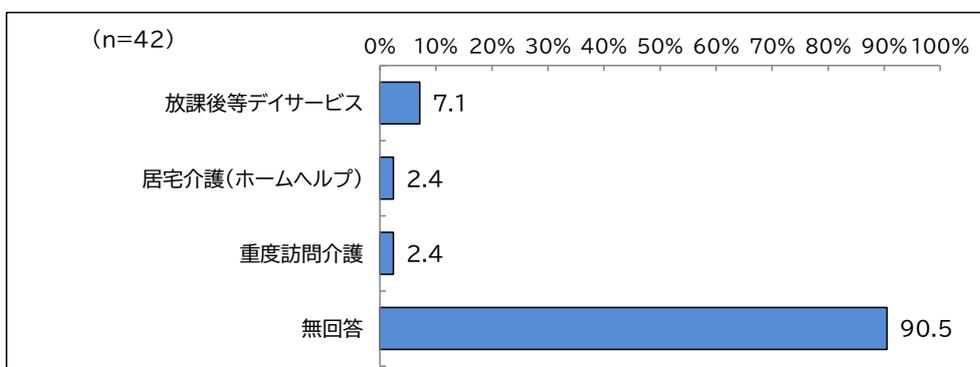
【全体の傾向】

現在利用しているサービスのうち今後利用を止める予定のサービスについてたずねたところ、「放課後等デイサービス」(7.1%、3人)が最も高く、次いで「居宅介護(ホームヘルプ)」、「重度訪問介護」(同率2.4%、1人)となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「放課後等デイサービス」、「居宅介護(ホームヘルプ)」、「重度訪問介護」(同率3.4%)、知的障がい、発達障がいでは「放課後等デイサービス」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 43 ③現在利用しているサービスのうち今後利用を止める予定のサービス(全体、障がい別)



【表の見方】	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	無回答	
		放課後等デイサービス	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護		
比率(%) 網掛け=						
		1位	2位			
全体(R5)	42	7.1	2.4	2.4	90.5	
障がい別	身体障がい	29	3.4	3.4	3.4	93.1
	知的障がい	15	20.0	6.7	6.7	73.3
	精神障がい	5	-	-	-	100.0
	難病	1	-	-	-	100.0
	発達障がい	4	25.0	-	-	75.0
高次脳機能障がい	1	-	-	-	100.0	

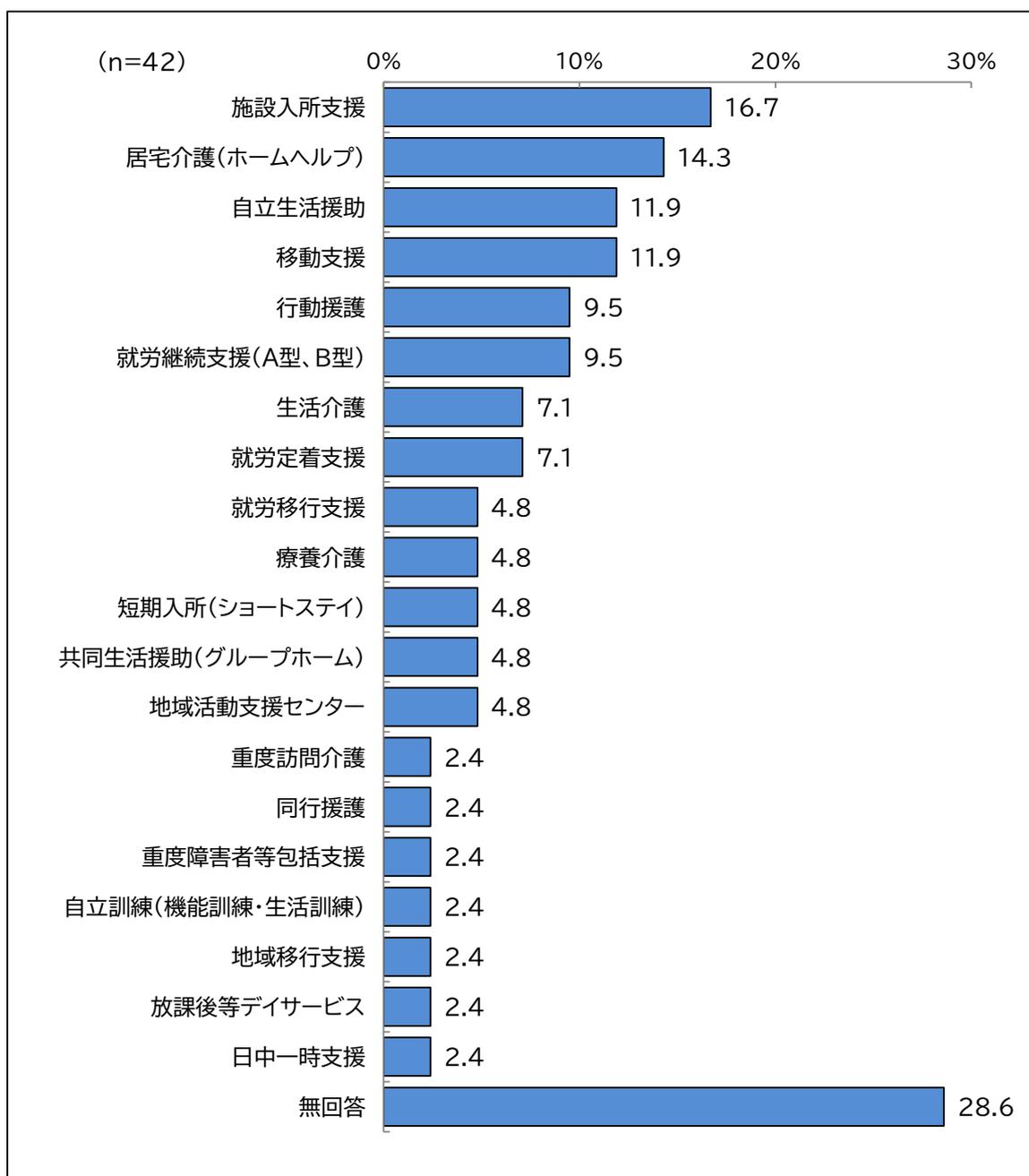
※上記以外の項目は0名のため、グラフ・表ともに表示していません。

④現在は利用していないが今後新たに利用したいサービス

【全体の傾向】

現在は利用していないが今後新たに利用したいサービスについてたずねたところ、「施設入所支援」(16.7%、7人)が最も高く、次いで「居宅介護(ホームヘルプ)」(14.3%、6人)、「自立生活援助」、「移動支援」(同率11.9%、5人)、「行動援護」、「就労継続支援(A型、B型)」(同率9.5%、4人)などとなっています。

図表 44 ④現在は利用していないが今後新たに利用したいサービス(全体、障がい別)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「居宅介護（ホームヘルプ）」（17.2%）、知的障がいでは「施設入所支援」（33.3%）、精神障がいでは「施設入所支援」、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「移動支援」、「行動支援」、「就労継続支援（A型、B型）」、「地域活動支援センター」（同率20.0%）、発達障がいでは「施設入所支援」（50.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 45 ④ 現在は利用していないが今後新たに利用したいサービス（全体、障がい別）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	
		調査数（人）	施設入所支援	居宅介護（ホームヘルプ）	自立生活援助	移動支援	行動支援	就労継続支援（A型、B型）	生活介護	就労定着支援	就労移行支援	療養介護	短期入所（ショートステイ）
【表の見方】	比率(%)												
	網掛け＝												
			1位	2位									
全体(R5)		42	16.7	14.3	11.9	11.9	9.5	9.5	7.1	7.1	4.8	4.8	4.8
障がい別	身体障がい	29	6.9	17.2	10.3	3.4	-	3.4	10.3	3.4	3.4	3.4	6.9
	知的障がい	15	33.3	-	20.0	26.7	20.0	13.3	6.7	13.3	6.7	13.3	-
	精神障がい	5	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-
	難病	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	発達障がい	4	50.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障がい	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	
		共同生活援助（グループホーム）	地域活動支援センター	重度訪問介護	同行支援	重度障害者等包括支援	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	地域移行支援	放課後等デイサービス	日中一時支援	無回答
【表の見方】	比率(%)										
	網掛け＝										
			1位	2位							
全体(R5)		4.8	4.8	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	28.6
障がい別	身体障がい	3.4	3.4	3.4	-	3.4	3.4	3.4	3.4	-	34.5
	知的障がい	13.3	-	6.7	6.7	6.7	-	-	6.7	6.7	6.7
	精神障がい	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0
	難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	発達障がい	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

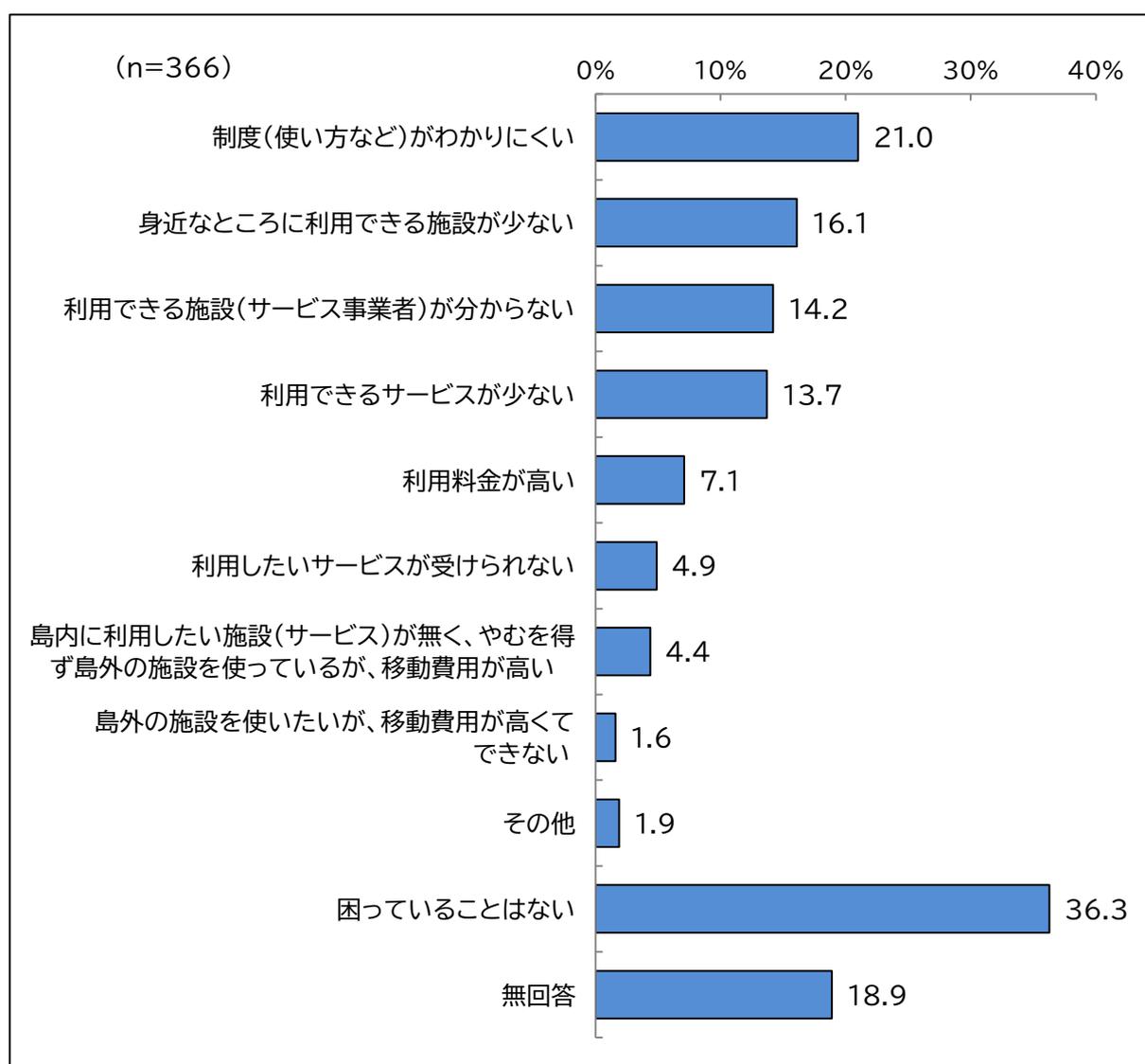
## (6) 福祉サービスを受けるにあたり、困っていること

問 29 現在の利用の有無に関係なくお答えください。福祉サービスを受けるにあたり、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

福祉サービスを受けるにあたり、困っていることについてたずねたところ、「制度(使い方など)がわかりにくい」(21.0%)が最も高く、次いで「身近なところに利用できる施設が少ない」(16.1%)、「利用できる施設(サービス事業者)が分からない」(14.2%)、「利用できるサービスが少ない」(13.7%)、「利用料金が高い」(7.1%)などとなっています。一方、「困っていることはない」は36.3%となっており、全体では第1位の割合となっています。

図表 46 福祉サービスを受けるにあたり、困っていること (全体/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、発達障がいを除くすべての障がいで「困っていることはない」が最も高く、一方、発達障がいでは「制度（使い方など）がわかりにくい」、「身近なところに利用できる施設が少ない」（同率 31.0%）が最も高くなっています。

図表 47 福祉サービスを受けるにあたり、困っていること（障がい別／複数回答）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数（人）	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			く制 い度 （使 い方 など） がわ かり に	が身 少近 なと ころ に利 用で きる 施設	利 用で きる サー ビス が少 ない	者利 （用 が分 から ない ） 施設 （サー ビス 事業	利 用料 金が高 い
全体(R5)		366	21.0	16.1	13.7	14.2	7.1
障 が い 別	身体障がい	286	19.6	13.6	13.3	11.5	7.0
	知的障がい	86	25.6	27.9	17.4	20.9	7.0
	精神障がい	26	23.1	19.2	11.5	19.2	7.7
	難病	26	-	11.5	7.7	7.7	-
	発達障がい	42	31.0	31.0	23.8	19.0	7.1
	高次脳機能障がい	16	12.5	18.8	12.5	25.0	12.5

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		な利 用し たい サー ビス が受 けら れ	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
			が施 高設 いを がに 使無 つく て、 いや たり むい がを 施設 、得 移ず （動 島サ 費外 用の ビ	費島 用外 が高 施設 をを 使使 き使 ない いが 、移 動	そ の 他	困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全体(R5)		4.9	4.4	1.6	1.9	36.3	18.9
障 が い 別	身体障がい	4.9	3.1	1.0	1.7	37.1	21.0
	知的障がい	5.8	10.5	4.7	2.3	32.6	8.1
	精神障がい	3.8	3.8	3.8	3.8	50.0	7.7
	難病	3.8	7.7	-	7.7	34.6	34.6
	発達障がい	4.8	11.9	2.4	2.4	26.2	7.1
	高次脳機能障がい	-	12.5	-	-	37.5	25.0

## 5 情報収集について

### (1) 障がいや福祉サービスに関する情報の入手先

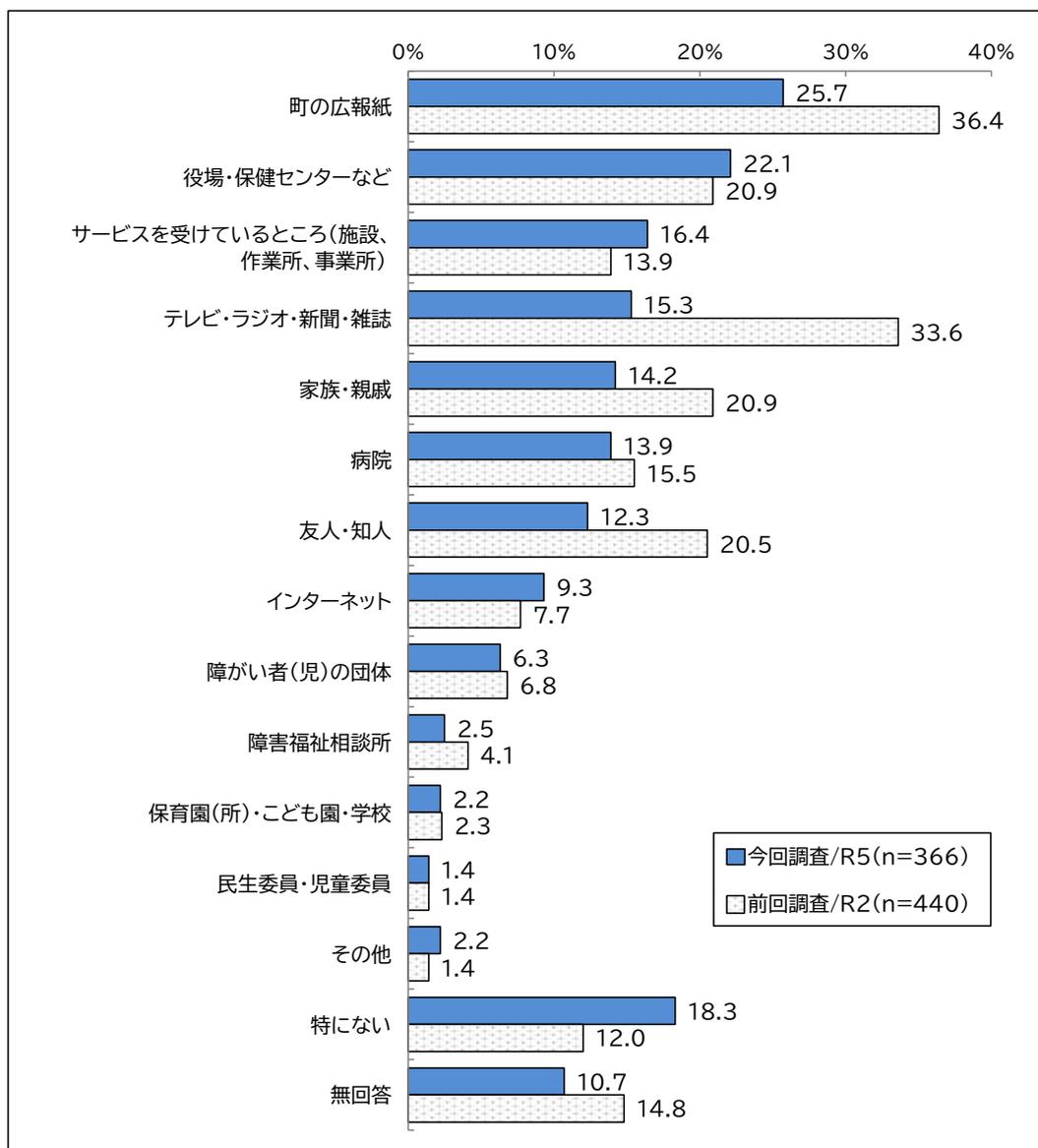
問 30 あなたは、障がいのことや福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。  
(おもなもの5つまで○)

#### 【全体の傾向】

障がいや福祉サービスに関する情報の入手先についてたずねたところ、「町の広報紙」(25.7%)が最も高く、次いで「役場・保健センターなど」(22.1%)、「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」(16.4%)、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」(15.3%)などとなっています。一方、「特にない」は18.3%となっており、全体では第3位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」が2.5ポイント増加し、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が18.3ポイント減少しています。

図表 48 障がいや福祉サービスに関する情報の入手先 (全体、前回との比較/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「町の広報紙」(28.7%)、知的障がいでは「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」(46.5%)、精神障がいでは「病院」、「インターネット」(同率 23.1%)、難病では「役場・保健センターなど」(26.9%)、発達障がいでは「困っていることはない」、発達障がいでは、「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」(54.8%)、高次脳機能障がいでは「病院」、「サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)」(同率 25.0%) がそれぞれ最も高くなっています。

図表 49 障がいや福祉サービスに関する情報の入手先(障がい別/複数回答)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
		町の広報紙	役場・保健センターなど	サービスを受けているところ(施設、作業所、事業所)	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	家族・親戚	病院	友人・知人	インターネット	障がい者(児)の団体	ホームヘルパー	
【表の見方】	調査数(人)											
	比率(%) 網掛け=											
		1位										
		2位										
	全体(R5)	366	25.7	22.1	16.4	15.3	14.2	13.9	12.3	9.3	6.3	4.6
障がい別	身体障がい	286	28.7	23.4	13.3	15.7	14.7	14.7	11.9	7.7	5.9	4.5
	知的障がい	86	18.6	17.4	46.5	16.3	11.6	9.3	11.6	10.5	7.0	2.3
	精神障がい	26	11.5	11.5	15.4	11.5	7.7	23.1	15.4	23.1	3.8	3.8
	難病	26	19.2	26.9	7.7	11.5	7.7	11.5	15.4	3.8	3.8	7.7
	発達障がい	42	11.9	9.5	54.8	23.8	14.3	14.3	11.9	14.3	4.8	-
	高次脳機能障がい	16	18.8	18.8	25.0	12.5	18.8	25.0	18.8	6.3	12.5	6.3
		(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)			
		社会福祉協議会	地域活動支援センター	身体障害者・知的障害者相談員	障害福祉相談所	保育園(所)・こども園・学校	民生委員・児童委員	その他	特になし	無回答		
【表の見方】	調査数(人)											
	比率(%) 網掛け=											
		1位										
		2位										
	全体(R5)	3.6	3.6	3.0	2.5	2.2	1.4	2.2	18.3	10.7		
障がい別	身体障がい	2.1	2.8	2.8	2.1	0.7	1.7	2.8	19.2	10.5		
	知的障がい	7.0	4.7	3.5	4.7	9.3	-	-	11.6	3.5		
	精神障がい	-	3.8	-	-	-	-	-	15.4	15.4		
	難病	3.8	7.7	3.8	-	3.8	-	7.7	15.4	23.1		
	発達障がい	4.8	-	2.4	7.1	9.5	-	-	11.9	4.8		
	高次脳機能障がい	-	-	6.3	6.3	-	-	-	-	12.5		

## (2) 障がいや福祉サービスに関する情報の充足度

問 31 あなたは現在、障がいのことや福祉サービスに関する情報を十分に得られていると思いますか。(〇は1つ)

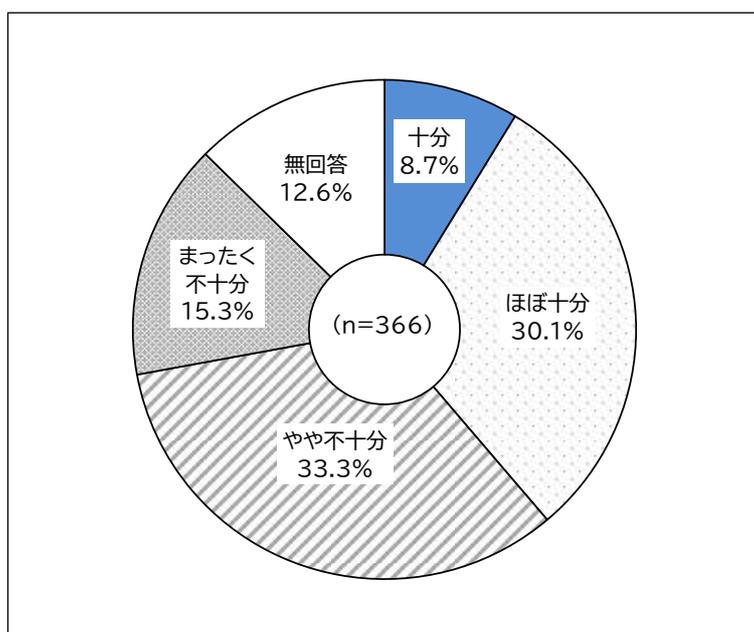
### 【全体の傾向】

今障がいや福祉サービスに関する情報の充足度についてたずねたところ、「やや不十分」(33.3%)が最も高く、次いで「ほぼ十分」(30.1%)、「まったく不十分」(15.3%)、「十分」(8.7%)となっています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「ほぼ十分」(32.9%)、知的障がい、精神障がい、難病、発達障がいでは「やや不十分」、高次脳機能障がいでは「十分」、「ほぼ十分」(同率 25.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

図表 50 障がいや福祉サービスに関する情報の充足度（全体、障がい別）



【表の見方】	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		十分	ほぼ十分	やや不十分	まったく不十分		
比率(%) 網掛け=							
1位							
2位							
全体(R5)	366	8.7	30.1	33.3	15.3	12.6	
障がい別	身体障がい	286	7.3	32.9	31.5	14.0	14.3
	知的障がい	86	12.8	22.1	43.0	19.8	2.3
	精神障がい	26	26.9	19.2	38.5	3.8	11.5
	難病	26	7.7	15.4	26.9	15.4	34.6
	発達障がい	42	4.8	21.4	45.2	23.8	4.8
	高次脳機能障がい	16	25.0	25.0	18.8	18.8	12.5

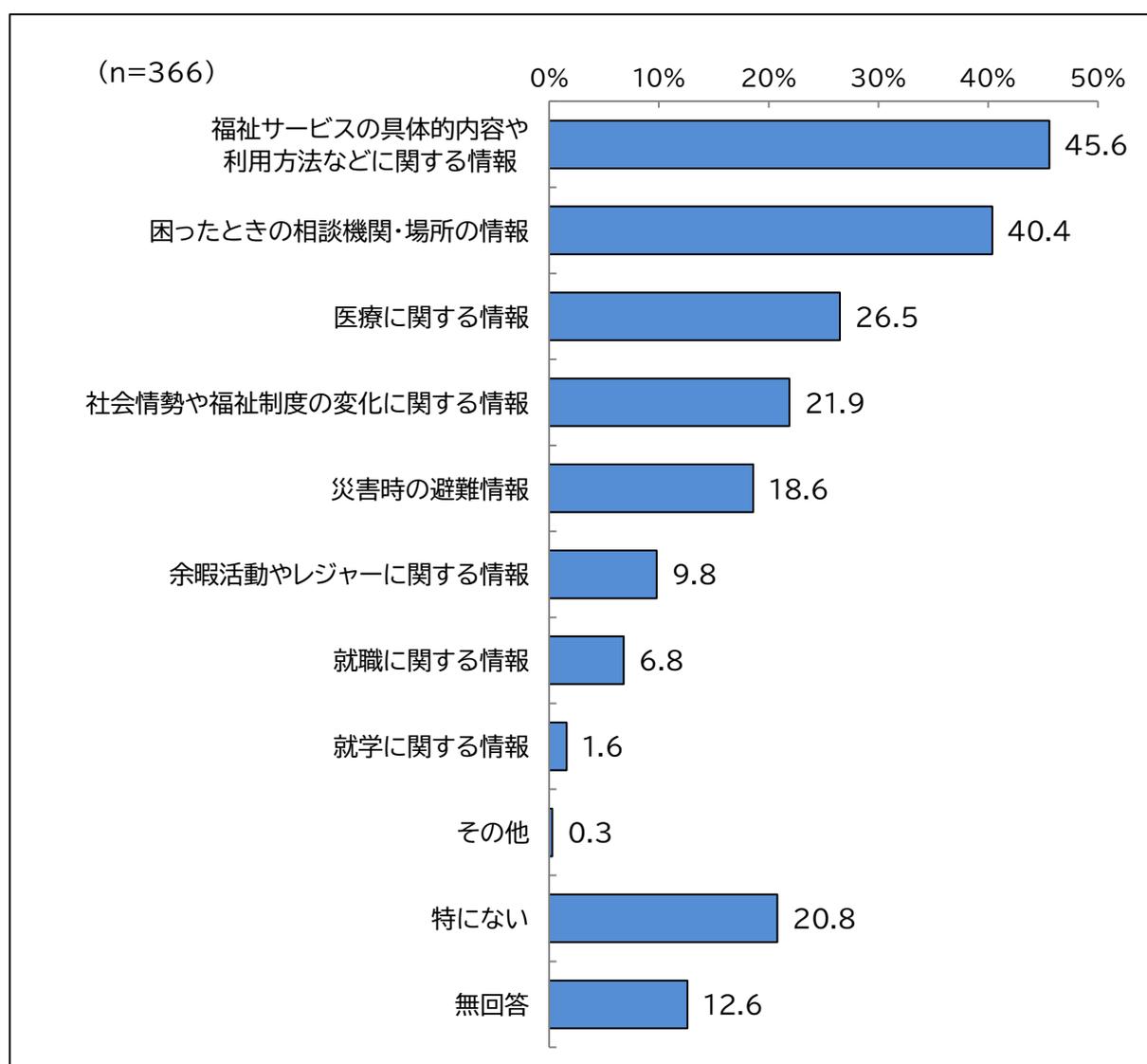
### (3) 今後充実してほしい情報

問 32 あなたは今後、どのような情報を充実してほしいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

#### 【全体の傾向】

今後充実してほしい情報についてたずねたところ、「福祉サービスの具体的内容や利用方法などに関する情報」(45.6%)が最も高く、次いで「困ったときの相談機関・場所の情報」(40.4%)、「医療に関する情報」(26.5%)、「社会情勢や福祉制度の変化に関する情報」(21.9%)、「災害時の避難情報」(18.6%)などとなっています。一方、「特にない」は20.8%となっており、全体では第5位の割合となっています。

図表 51 今後充実してほしい情報（全体／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、精神障がいを除くすべての障がいで「福祉サービスの具体的内容や利用方法などに関する情報」が最も高く、一方、精神障がいでは「困ったときの相談機関・場所の情報」（38.5%）が最も高くなっています。

図表 52 障がいや福祉サービスに関する情報の充足度（全体、障がい別／複数回答）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数（人）	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
			用福祉サービスなどの具体的内容や利	情困ったときの相談機関・場所の	就学に関する情報	医療に関する情報	する社会情勢や福祉制度の変化に関	
1位 2位		全体(R5)	366	45.6	40.4	1.6	26.5	21.9
障がい別	身体障がい	286	45.1	37.4	0.7	25.5	22.4	
	知的障がい	86	54.7	51.2	3.5	37.2	30.2	
	精神障がい	26	26.9	38.5	7.7	19.2	15.4	
	難病	26	30.8	23.1	-	19.2	19.2	
	発達障がい	42	52.4	45.2	4.8	50.0	35.7	
	高次脳機能障がい	16	43.8	37.5	-	31.3	-	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数（人）	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
			災害時の避難情報	就職に関する情報	報余暇活動やレジャーに関する情	その他	特 に ない	無 回 答
1位 2位		全体(R5)	18.6	6.8	9.8	0.3	20.8	12.6
障がい別	身体障がい	286	16.8	4.5	7.0	0.3	21.3	13.6
	知的障がい	86	30.2	12.8	25.6	-	17.4	4.7
	精神障がい	26	19.2	19.2	11.5	-	30.8	11.5
	難病	26	26.9	3.8	3.8	-	19.2	30.8
	発達障がい	42	35.7	16.7	33.3	-	11.9	7.1
	高次脳機能障がい	16	25.0	-	6.3	-	12.5	31.3

## 6 保育・教育について

### (1) お子さんの日中の過ごし方

問 33 未就学児（小学校に入学する前の方）の保護者の方におうかがいします。  
現在お子さんは、日中を主にどこで過ごしていますか。（○は1つ）

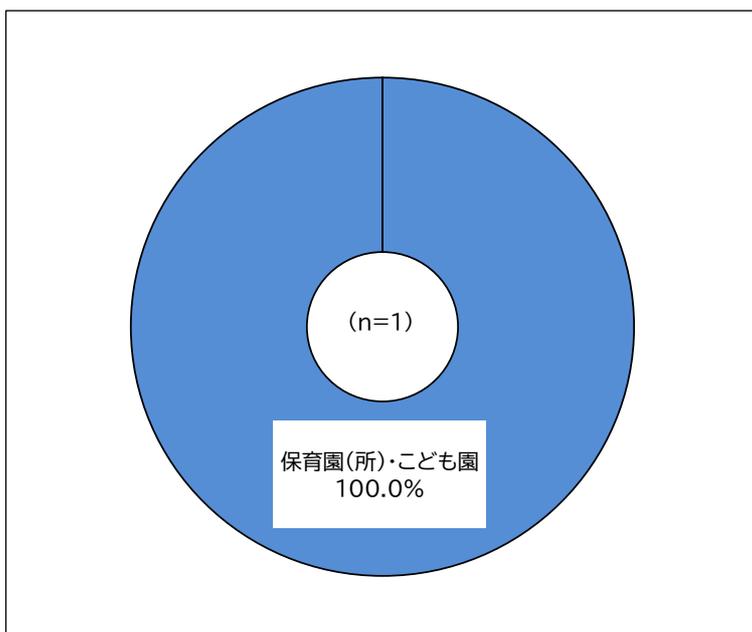
#### 【全体の傾向】

障がいや福祉サービスに関する情報の充足度についてたずねたところ、「保育園（所）・こども園」（100.0%、1人）となっています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がいでは「保育園（所）・こども園」（100.0%、1人）となっています。

図表 53 お子さんの日中の過ごし方（全体、障がい別）



	調査数（人）	(1) 保育園（所） ・こども園	(2) 自分の家	(3) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=					
		1位			
		2位			
全体(R5)	1	100.0	-	-	-
障がい別	身体障がい	1	100.0	-	-
	知的障がい	1	100.0	-	-
	精神障がい	-	-	-	-
	難病	-	-	-	-
	発達障がい	-	-	-	-
	高次脳機能障がい	-	-	-	-

## (2) 小学校等の進路の希望

問 34 未就学児（小学校に入学する前の方）の保護者の方におうかがいします。  
 今後、小学校についてはどのように考えていますか。（○は1つ）

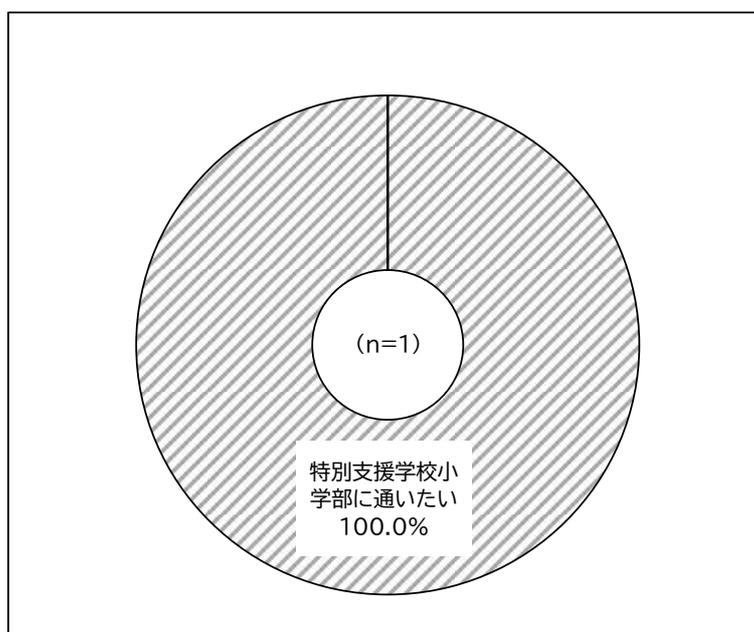
### 【全体の傾向】

障がいや福祉サービスに関する情報の充足度についてたずねたところ、「特別支援学校小学部に通いたい」（100.0%、1人）となっています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がいでは「特別支援学校小学部に通いたい」（100.0%、1人）となっています。

図表 54 小学校等の進路の希望（全体、障がい別）



【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答
		小学校の通常学級に通いたい	小学校の特別支援学級に通いたい	特別支援学校小学部に通いたい	その他	わからない	
全体(R5)	1	-	-	100.0	-	-	-
障がい別							
身体障がい	1	-	-	100.0	-	-	-
知的障がい	1	-	-	100.0	-	-	-
精神障がい	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-
発達障がい	-	-	-	-	-	-	-
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-

### (3) 通学状況

問 35 あなたは現在、学校に通っていますか。(○は1つ)

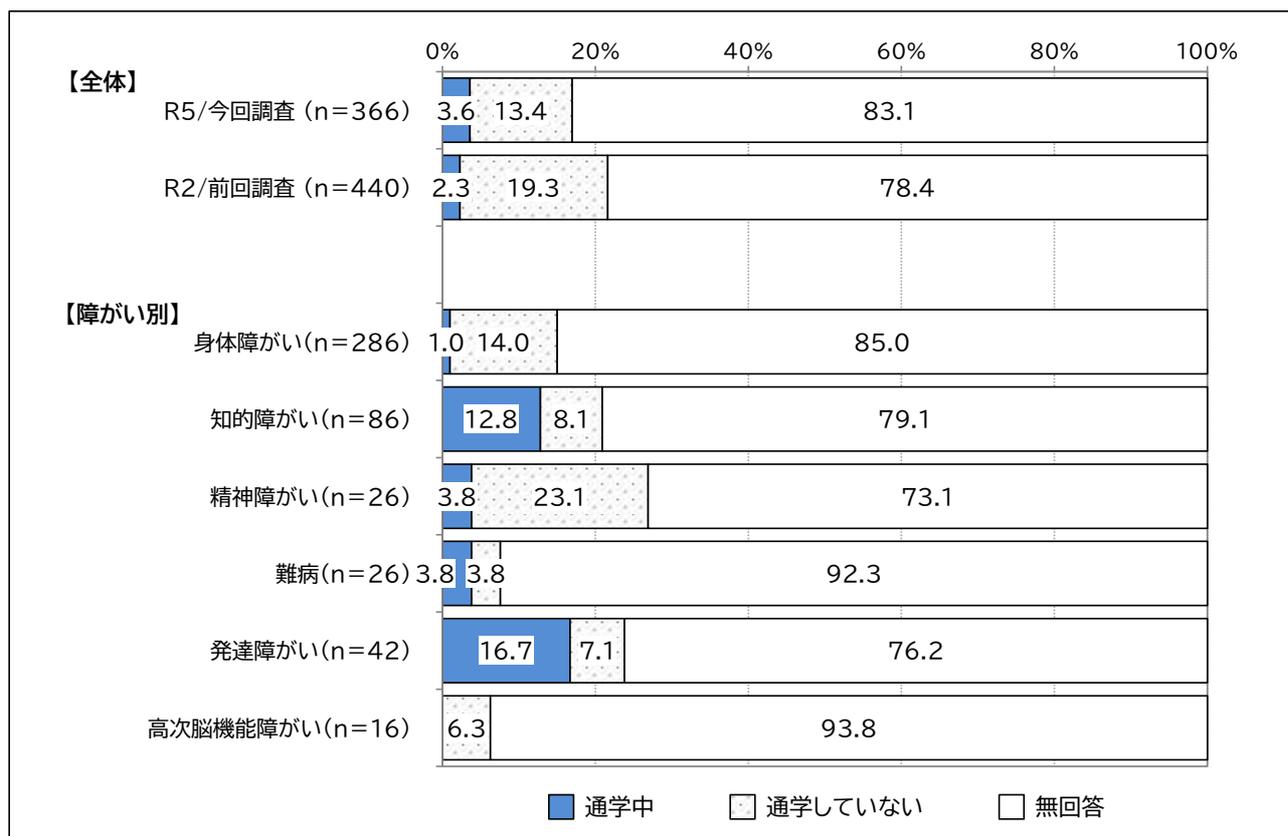
#### 【全体の傾向】

通学状況についてたずねたところ、「通学中」が3.6%、「通学していない」が13.4%となっています。前回調査と比較すると、「通学中」が1.3ポイント増加し、「通学していない」が5.9ポイント減少しています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「通学中」が1.0%、「通学していない」が14.0%、知的障がいでは「通学中」が12.8%、「通学していない」が8.1%、精神障がいでは「通学中」が3.8%、「通学していない」が23.1%。難病では「通学中」、「通学していない」が同率3.8%、発達障がいでは「通学中」が16.7%、「通学していない」が7.1%、高次脳機能障がいでは「通学していない」が6.3%となっています。

図表 55 通学状況（全体、前回との比較、障がい別）



## (4) 通学先

### 【全体の傾向】

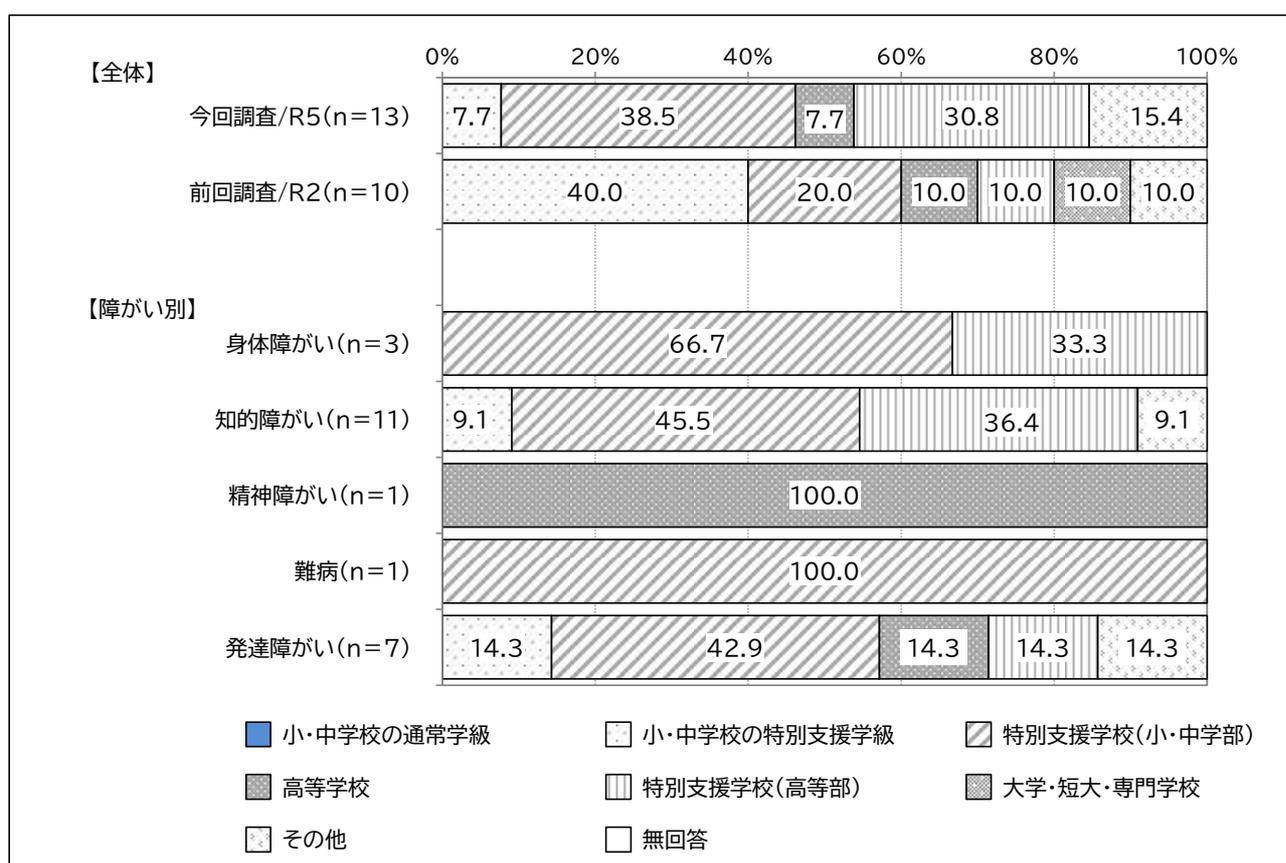
「通学中」と回答した方に通学先をたずねたところ、「特別支援学校（小・中学部）」（38.5％）が最も高く、次いで「特別支援学校（高等部）」（30.8％）などとなっています。

前回調査と比較すると、「特別支援学校（高等部）」が20.8ポイント増加し、「小・中学校の特別支援学級」が32.3ポイント減少しています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がい、難病では「特別支援学校（小・中学部）」、精神障がいでは「高等学校」（100.0％）、発達障がいでは「小・中学校の特別支援学級」、「高等学校」、「特別支援学校（高等部）」（同率14.3％）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 56 通学先（全体、前回との比較、障がい別）



## (5) 学校卒業後の進路

問 35-1 問 35 で「1. 通学中」とお答えした方におうかがいします。  
現在の学校を卒業した後の進路をどのように考えていますか。(○は1つ)

### 【全体の傾向】

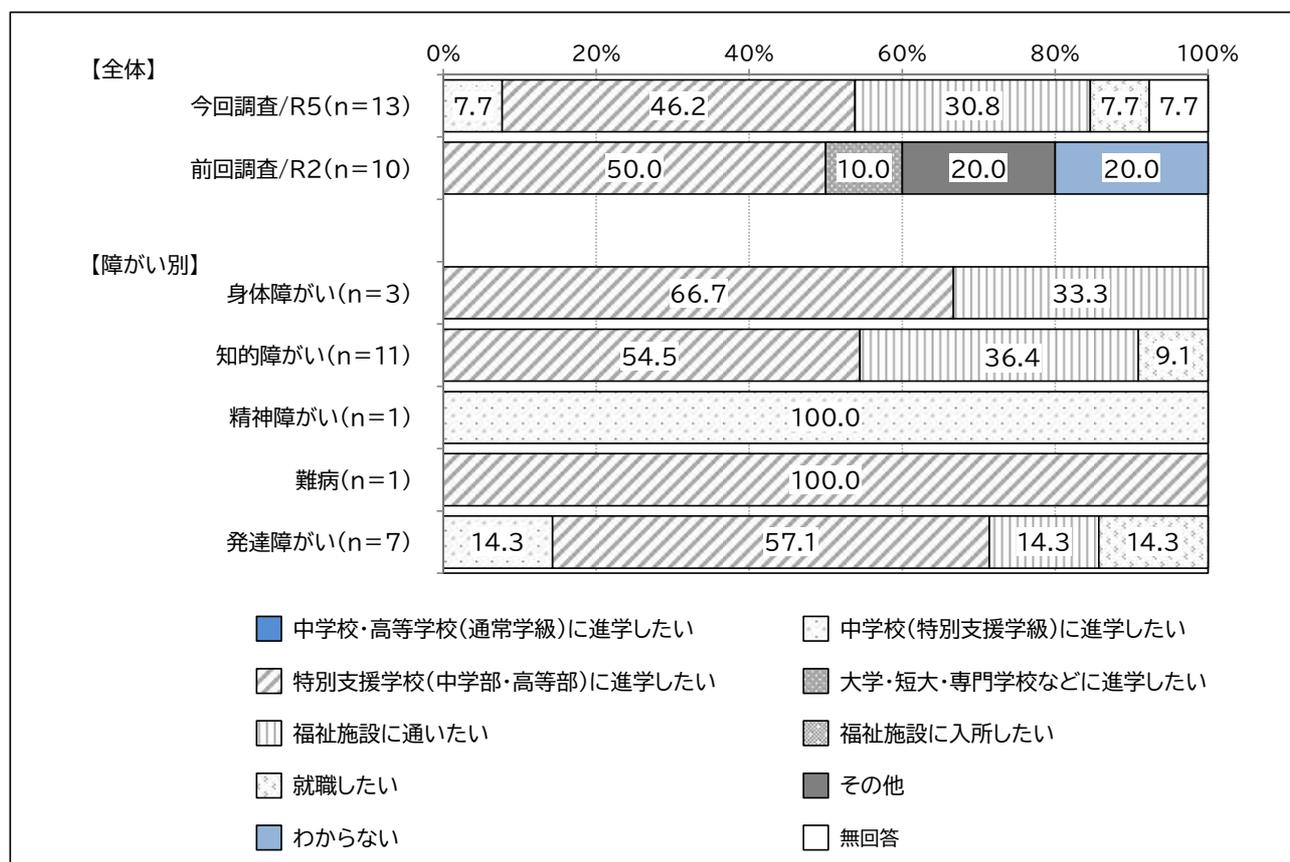
現在の学校を卒業した後の進路についてたずねたところ、「特別支援学校（中学部・高等部）に進学したい」（46.2%）が最も高く、次いで「福祉施設に通いたい」（30.8%）などとなっています。

前回調査と比較すると、「福祉施設に通いたい」が30.8ポイント増加し、「特別支援学校（中学部・高等部）に進学したい」が3.8ポイント減少しています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がい、発達障がい、難病では「特別支援学校（中学部・高等部）に進学したい」、精神障がいでは「中学校（特別支援学級）に進学したい」が最も高くなっています。

図表 57 学校卒業後の進路（全体、前回との比較、障がい別）



## (6) 通園・通学で困っていること

問 36 通園・通学中の方におうかがいします。

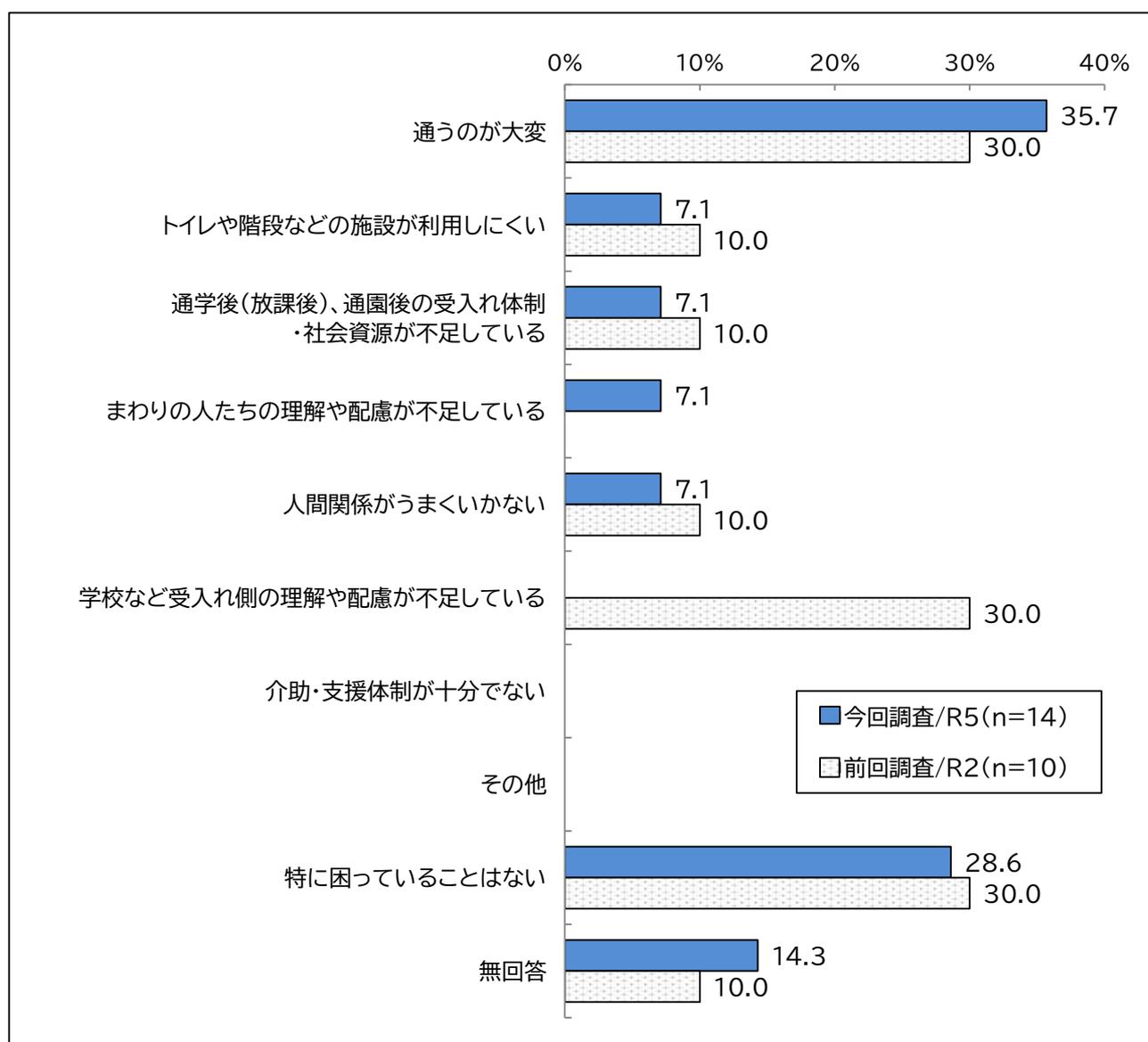
通園・通学で困っていることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

### 【全体の傾向】

通園・通学で困っていることについてたずねたところ、「通うのが大変」(35.7%)が最も高く、次いで「トイレや階段などの施設が利用しにくい」、「通学後(放課後)、通園後の受入れ体制・社会資源が不足している」、「まわりの人たちの理解や配慮が不足している」、「人間関係がうまくいかない」(同率 7.1%)などとなっています。一方、「特に困っていることはない」は 23.1%となっており、全体では第2位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「通うのが大変」は 5.7 ポイント増加しています。

図表 58 通園・通学で困っていること(全体、前回との比較/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「通うのが大変」、「通学後（放課後）、通園後の受入れ体制・社会資源が不足している」、「まわりの人たちの理解や配慮が不足している」、「特に困っていることはない」、（同率 25.0%）、知的障がいでは「通うのが大変」（41.7%）、精神障がいでは「人間関係がうまくいかない」（100.0%）、難病では「まわりの人たちの理解や配慮が不足している」（100.0%）、発達障がいでは「特に困っていることはない」（42.9%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 59 通園・通学で困っていること（障がい別／複数回答）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数（人）	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
			高齢であるから	働ける心身の状態ではないから	受け入れてくれる職場がないから	少・仕事を する年齢で ないから（幼 少・学生）	職場まで通うことが難しいから	
1位 2位		全体(R5)	227	56.8	38.8	8.4	6.2	4.0
障がい別	身体障がい	180	66.1	38.3	6.1	3.3	2.8	
	知的障がい	53	26.4	45.3	11.3	15.1	5.7	
	精神障がい	19	26.3	47.4	26.3	10.5	15.8	
	難病	23	39.1	34.8	-	8.7	-	
	発達障がい	25	20.0	40.0	8.0	16.0	4.0	
	高次脳機能障がい	11	36.4	63.6	-	-	-	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=		た自 分の 適性 をい かした 仕事 をし	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	無 回 答
			技能 や資 格を 取得 中である	家事 ・育 児に 忙しい から	賃金 などの 労働 条件が 合わない	その他		
1位 2位		全体(R5)	1.8	0.4	0.4	-	7.5	5.7
障がい別	身体障がい	1.7	0.6	0.6	-	5.6	5.0	
	知的障がい	-	-	-	-	7.5	7.5	
	精神障がい	5.3	-	-	-	21.1	-	
	難病	-	-	-	-	4.3	13.0	
	発達障がい	-	-	-	-	16.0	4.0	
	高次脳機能障がい	-	-	-	-	9.1	9.1	

## (7) 通園・通学にあたり希望する支援

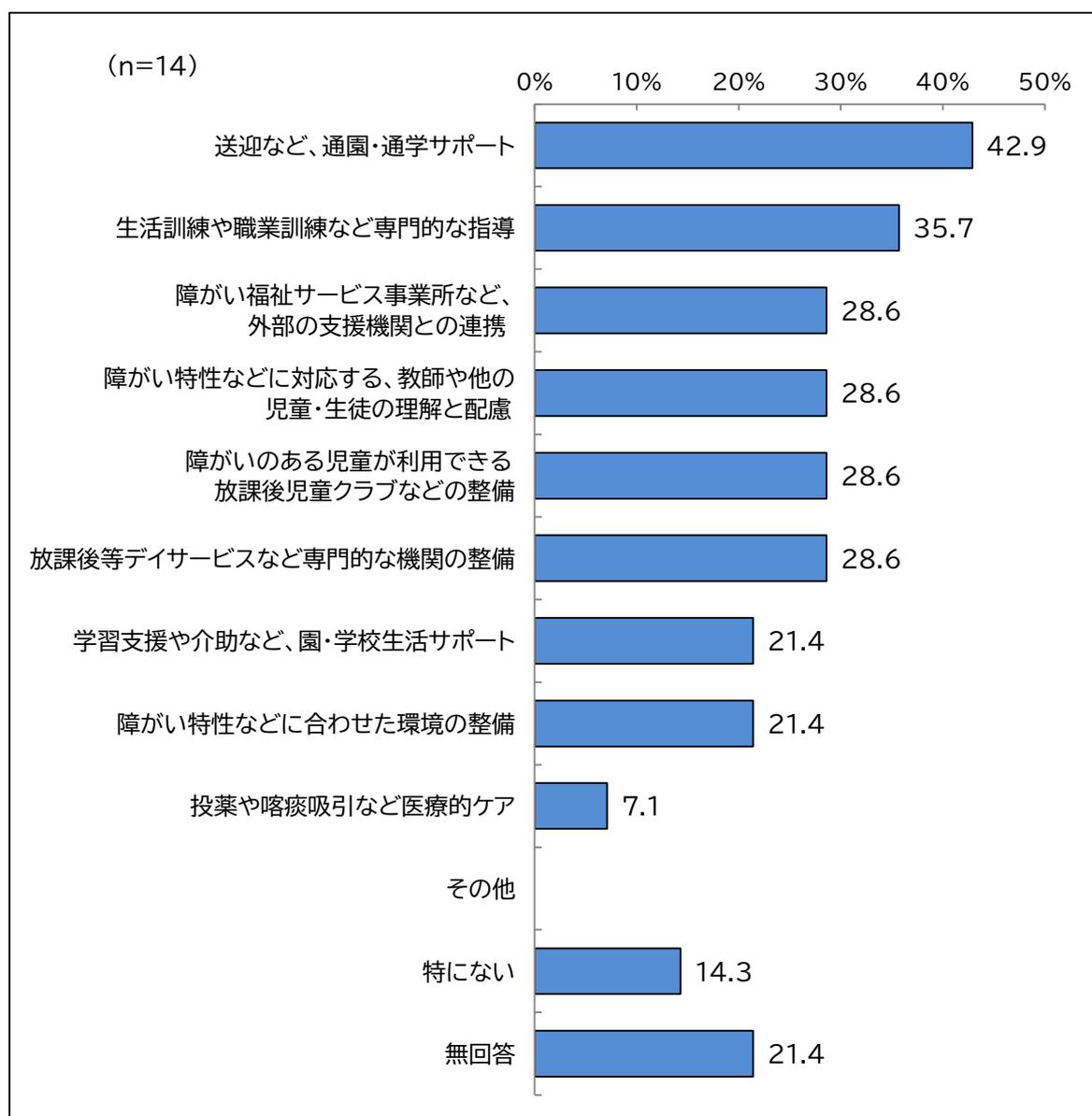
問 37 通園・通学中の方におうかがいします。

通園・通学するにあたり、希望する支援はどのようなことですか。(〇はあてはまるものすべて)

### 【全体の傾向】

通園・通学にあたり希望する支援についてたずねたところ、「送迎など、通園・通学サポート」(42.9%)が最も高く、次いで「生活訓練や職業訓練など専門的な指導」(35.7%)、「障がい福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携」、「障がい特性などに対応する、教師や他の児童・生徒の理解と配慮」、「障がいのある児童が利用できる放課後児童クラブなどの整備」、「放課後等デイサービスなど専門的な機関の整備」(同率 28.6%) などとなっています。

図表 60 通園・通学にあたり希望する支援 (全体/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「生活訓練や職業訓練など専門的な指導」、「障がいのある児童が利用できる放課後児童クラブなどの整備」、「放課後等デイサービスなど専門的な機関の整備」（同率 75.0%）、知的障がいでは「送迎など、通園・通学サポート」（50.0%）、発達障がいでは「送迎など、通園・通学サポート」、「生活訓練や職業訓練など専門的な指導」（同率 42.9%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 61 通園・通学で困っていること（障がい別／複数回答）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
			送迎など、通園・通学サポート	生活訓練や職業訓練など専門的な指導	障がい福祉サービス事業所など外部の支援機関との連携	障がい児の特性など生徒の理解と配教	放課後児童クラブなど利用できる児童の整備	放課後等デイサービスなど専門的な機関の整備	
1位 2位		全体(R5)	14	42.9	35.7	28.6	28.6	28.6	28.6
障がい別	身体障がい	4	50.0	75.0	50.0	25.0	75.0	75.0	
	知的障がい	12	50.0	41.7	33.3	25.0	33.3	25.0	
	精神障がい	1	-	-	-	100.0	-	100.0	
	難病	1	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	
	発達障がい	7	42.9	42.9	-	28.6	28.6	28.6	
	高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		生活学習サポートや介助など、園・学校	障がい特性などに合わせた環境整備	投薬や喀痰吸引など医療的ケア	その他	特になし		
1位 2位		全体(R5)	21.4	21.4	7.1	-	14.3	21.4
障がい別	身体障がい	50.0	50.0	25.0	-	25.0	-	
	知的障がい	25.0	25.0	8.3	-	16.7	16.7	
	精神障がい	-	-	-	-	-	-	
	難病	-	-	-	-	-	-	
	発達障がい	-	-	-	-	14.3	14.3	
	高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	

## 7 雇用・就労について

### (1) 現在の就労状況

問 38 あなたは、現在仕事をしていますか。(○は1つ)

#### 【全体の傾向】

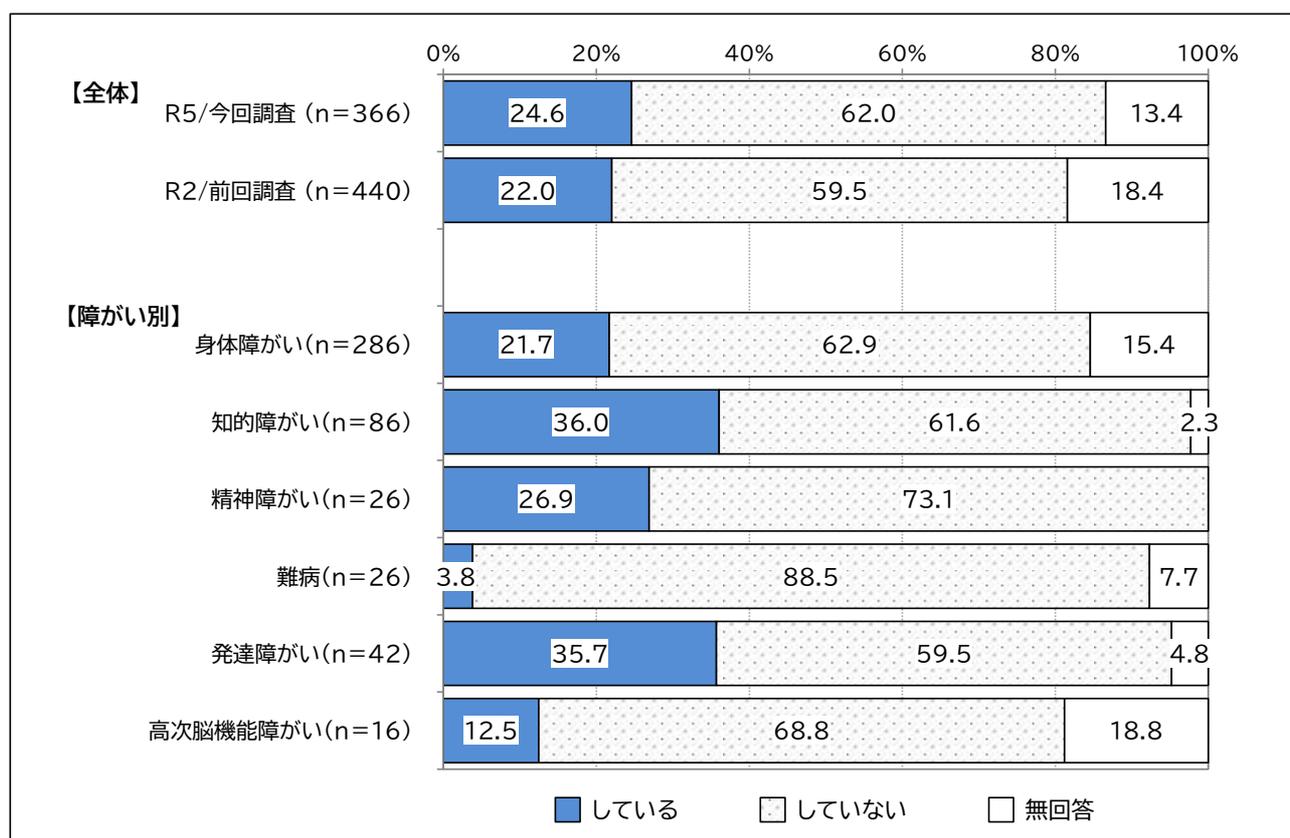
現在の就労状況についてたずねたところ、「している」が24.6%、「していない」が62.0%となっています。

前回調査と比較すると、前回同様の結果となっており、割合に大差はみられません。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「していない」が5割以上となっており、一方、「している」の割合は、知的障がい(36.0%)、発達障がい(35.7%)で比較的高くなっています。

図表 62 現在の就労状況(全体、前回との比較、障がい別)



問 38-1 問 38 で「1 している」と答えた方におうかがいします。  
就労の状況や形態は次のどれですか。(○は1つ)

【全体の傾向】

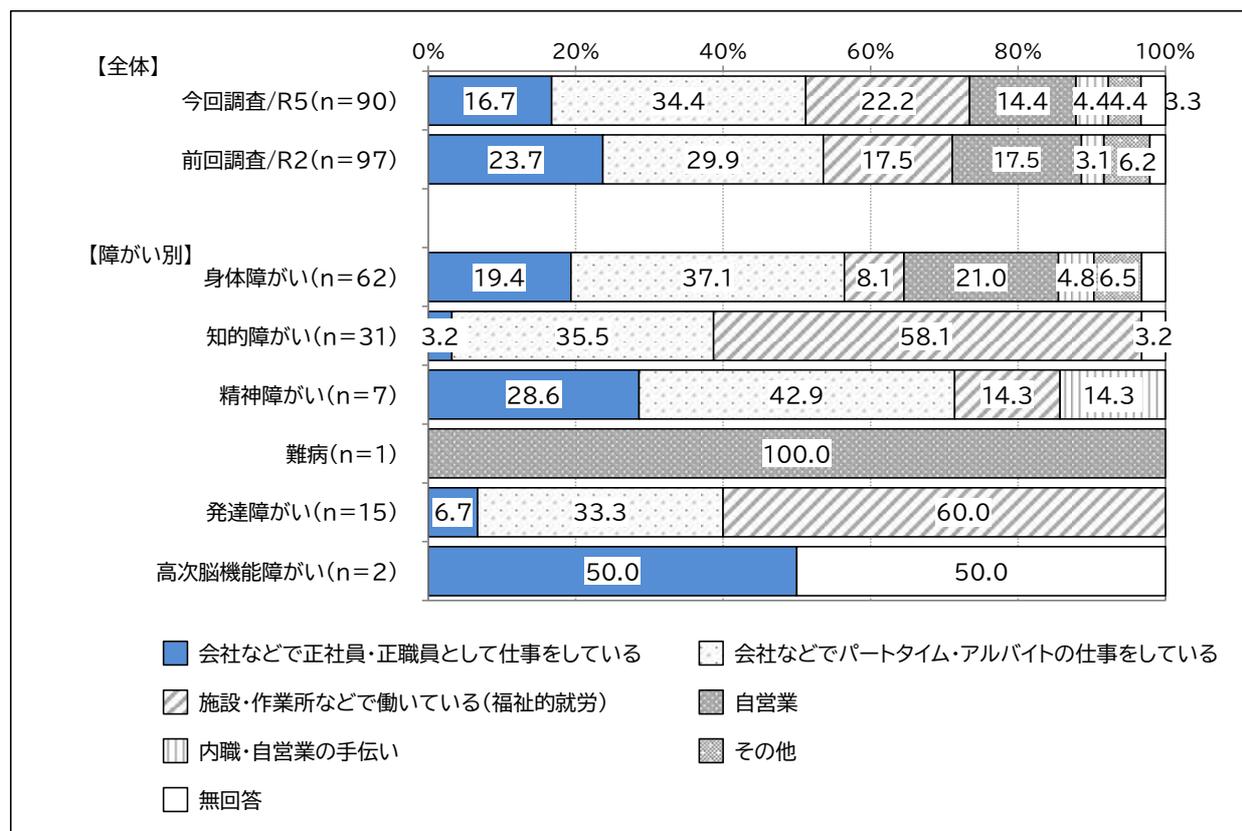
現在の就労形態についてたずねたところ、「会社などでパートタイム・アルバイトの仕事をしている」(34.4%)が最も高く、次いで「施設・作業所などで働いている(福祉的就労)」(22.2%)、「会社などで正社員・正職員として仕事をしている」(16.7%)、「自営業」(14.4%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「施設・作業所などで働いている(福祉的就労)」は4.7ポイント増加し、「会社などで正社員・正職員として仕事をしている」は7.0ポイント減少しています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、精神障がいでは「会社などで正社員・正職員として仕事をしている」、知的障がい、発達障がいでは「施設・作業所などで働いている(福祉的就労)」、難病では「自営業」(100.0%)、高次脳機能障がいでは「会社などで正社員・正職員として仕事をしている」(50.0%)がそれぞれ最も多くなっています。

図表 63 現在の就労形態(全体、前回との比較)



## (2) 就労していない理由

問 38-2 問 38 で「2 していない」と答えた方にお聞きします。

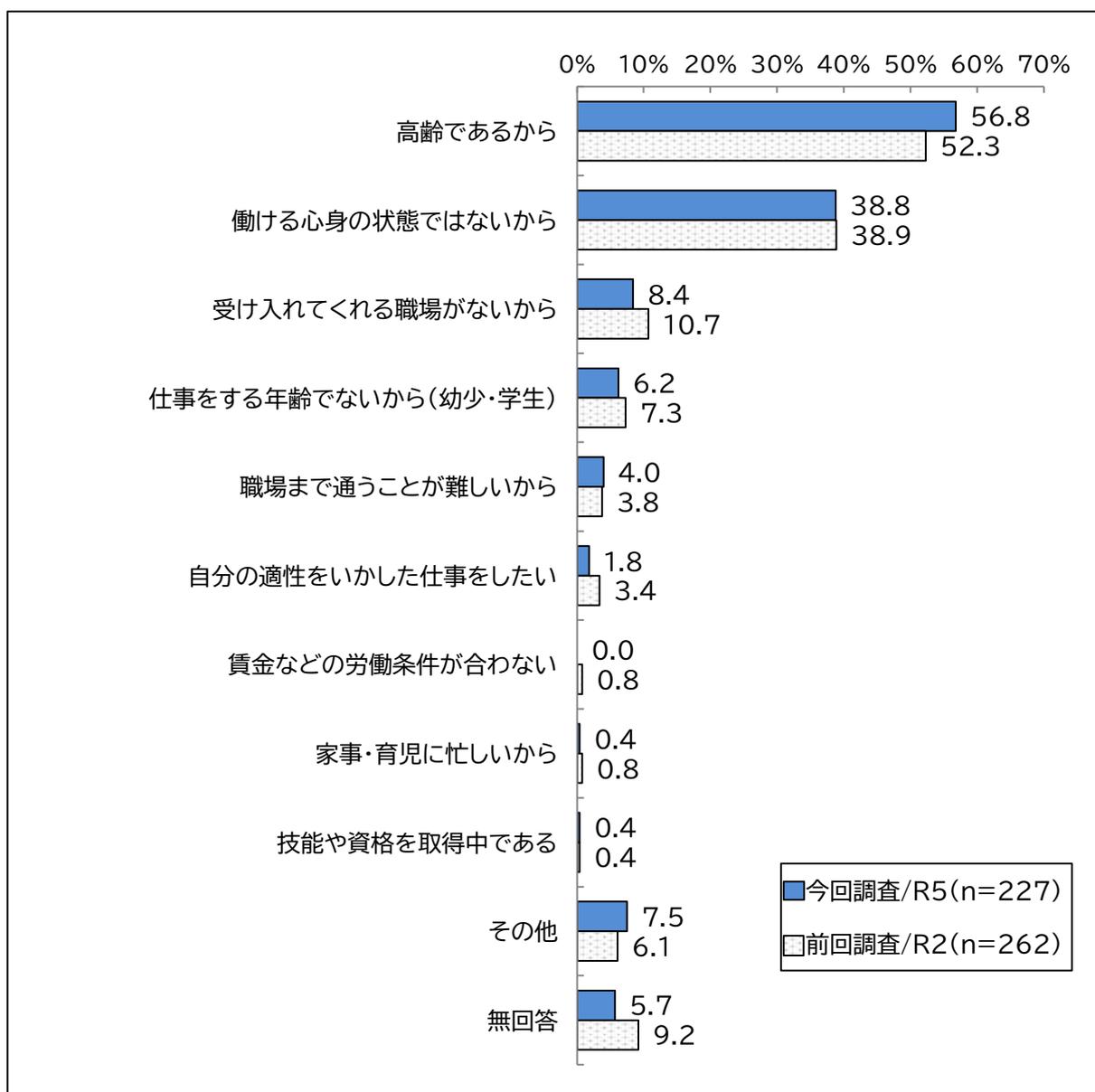
現在仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

現在就労していない理由についてたずねたところ、「高齢であるから」(56.8%)が最も高く、次いで「働ける心身の状態ではないから」(38.8%)となっており、この2項目の割合が突出しており、次いで「受け入れてくれる職場がないから」(8.4%)、「仕事をする年齢でないから(幼少・学生)」(6.2%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「高齢であるから」が4.5ポイント増加し、「受け入れてくれる職場がないから」が2.3ポイント減少しています。

図表 64 現在就労していない理由(全体、前回との比較/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、難病では「高齢であるから」、知的障がい、精神障がい、発達障がい、高次脳機能障がいでは「働ける心身の状態ではないから」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 65 現在就労していない理由（障がい別／複数回答）

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			高齢であるから	働ける心身の状態ではないから	受け入れてくれる職場がないから	仕事をする年齢でないから(少・学生)	職場まで通うことが難しいから
1位							
2位							
全体(R5)		227	56.8	38.8	8.4	6.2	4.0
障がい別	身体障がい	180	66.1	38.3	6.1	3.3	2.8
	知的障がい	53	26.4	45.3	11.3	15.1	5.7
	精神障がい	19	26.3	47.4	26.3	10.5	15.8
	難病	23	39.1	34.8	-	8.7	-
	発達障がい	25	20.0	40.0	8.0	16.0	4.0
	高次脳機能障がい	11	36.4	63.6	-	-	-
【表の見方】 比率(%) 網掛け= <td rowspan="2">た自分の適性をいかした仕事をしたい</td> <th>(6)</th> <th>(7)</th> <th>(8)</th> <th>(9)</th> <th>(10)</th>		た自分の適性をいかした仕事をしたい	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
			技能や資格を取得中である	家事・育児に忙しいから	賃金などの労働条件が合わない	その他	無回答
1位							
2位							
全体(R5)		1.8	0.4	0.4	-	7.5	5.7
障がい別	身体障がい	1.7	0.6	0.6	-	5.6	5.0
	知的障がい	-	-	-	-	7.5	7.5
	精神障がい	5.3	-	-	-	21.1	-
	難病	-	-	-	-	4.3	13.0
	発達障がい	-	-	-	-	16.0	4.0
	高次脳機能障がい	-	-	-	-	9.1	9.1

### (3) 今後の就労意向

問 38-3 問 38 で「2 していない」と答えた方にお聞きます。  
就労する場合、どのような仕事につきたいですか。(○は1つ)

#### 【全体の傾向】

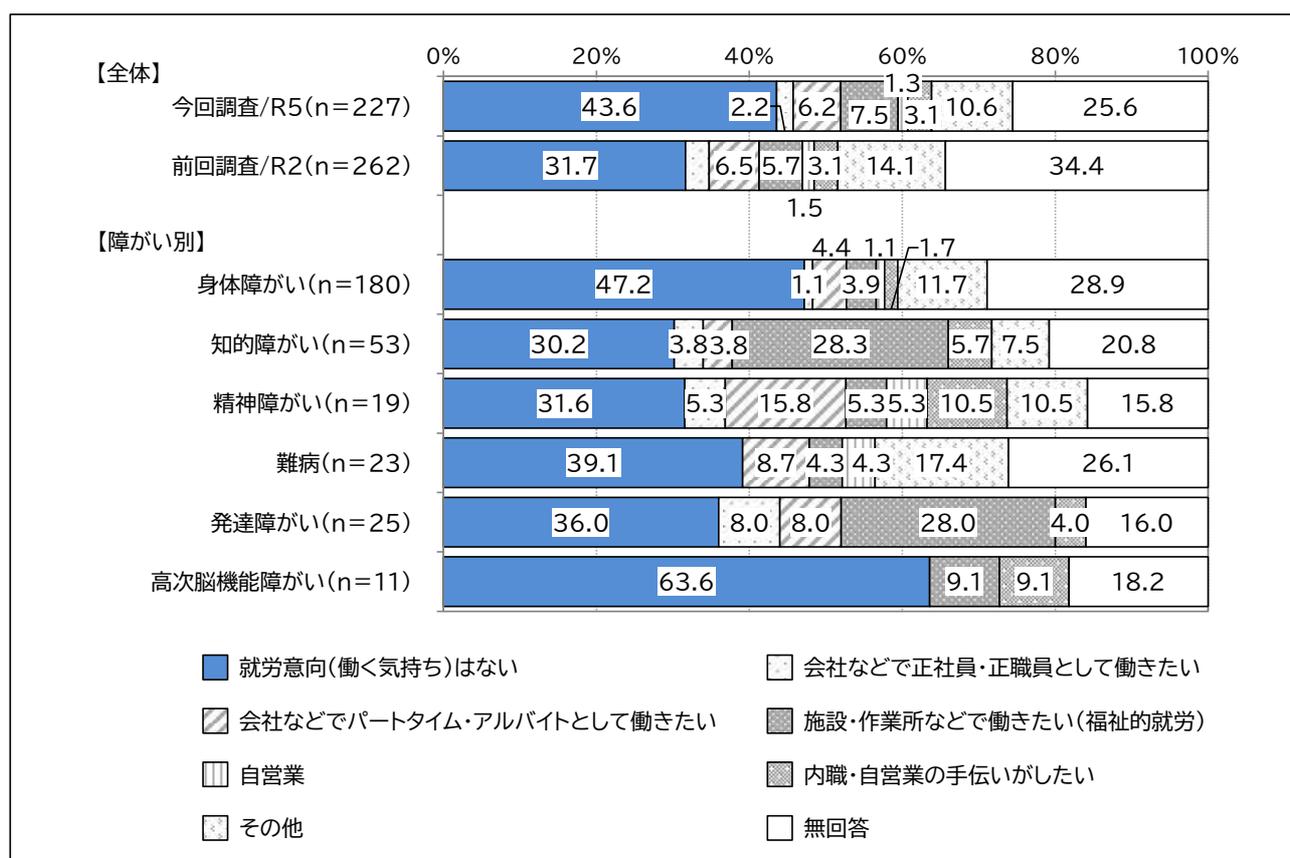
現在就労していないと回答した人に、どのような仕事につきたいかについてたずねたところ、「就労意向（働く気持ち）はない」（43.6%）が最も高く、次いで「その他」（10.6%）、「施設・作業所などで働きたい（福祉的就労）」（7.5%）、「会社などでパートタイム・アルバイトとして働きたい」（6.2%）、などとなっています。

前回調査と比較すると、「就労意向（働く気持ち）はない」が11.9ポイント増加し、「その他」が3.5ポイント減少しています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「就労意向（働く気持ち）はない」が最も高く、特に高次脳機能障がいは63.6%と高くなっています。

図表 66 今後の就労意向（全体、前回との比較、障がい別）



#### (4) 就労のために必要な支援

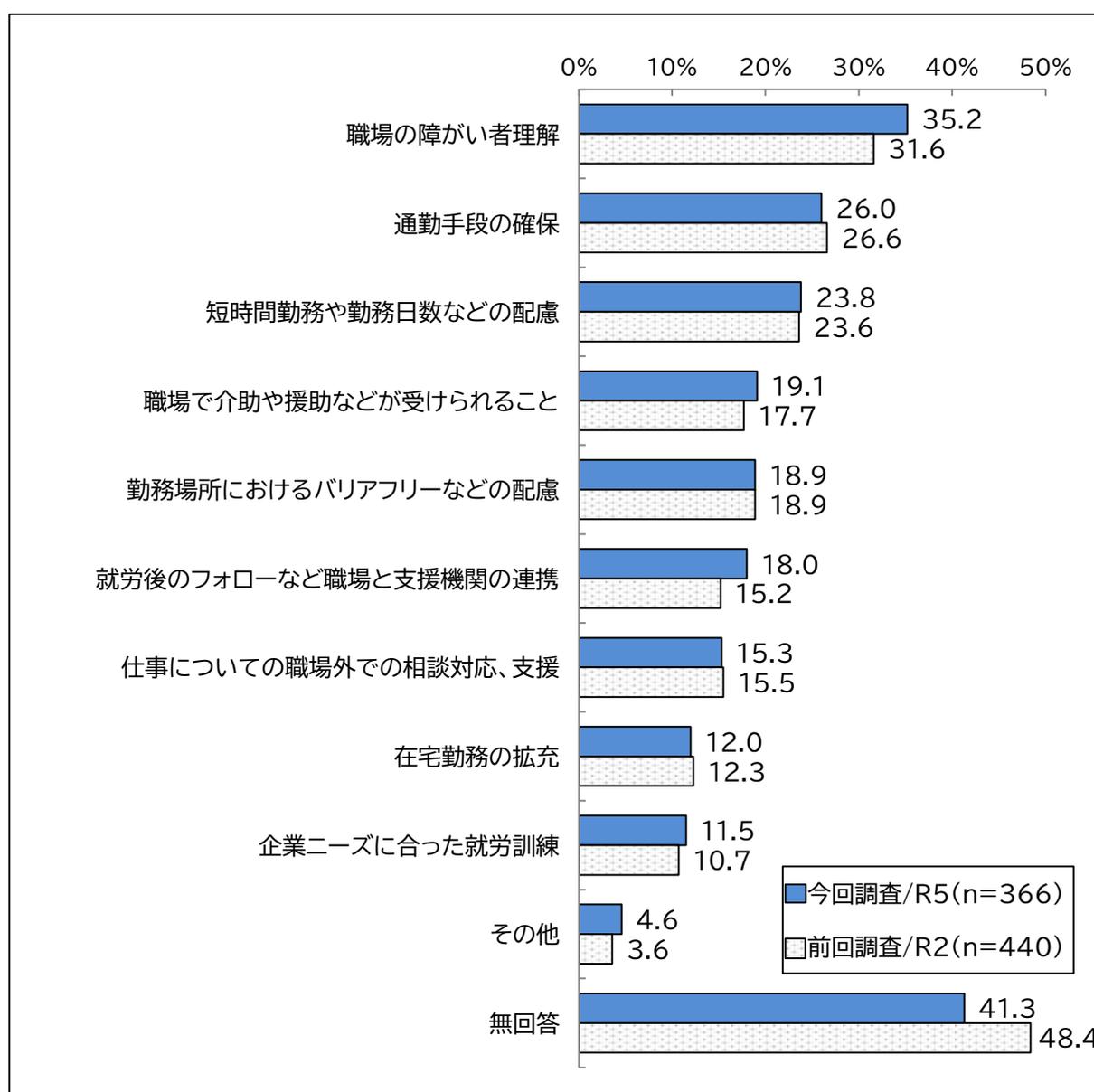
問 39 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

##### 【全体の傾向】

就労のために必要な支援についてたずねたところ、「職場の障がい者理解」(35.2%)が最も高く、次いで「通勤手段の確保」(26.0%)、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(23.8%)、「職場で介助や援助などが受けられること」(19.1%)、「勤務場所におけるバリアフリー等の配慮」(18.9%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「職場の障がい者理解」は3.6ポイント増加しています。

図表 67 就労のために必要な支援（全体、前回との比較／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病、発達障がいでは「職場の障がい者理解」、高次脳機能障がいでは「職場の障がい者理解」、「通勤手段の確保」、「勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮」（同率 25.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 68 就労のために必要な支援（障がい別／複数回答）

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		調査数（人）	職場の障がい者理解	通勤手段の確保	短時間勤務や勤務日数などの配慮	職場で介助や援助などが受けられること	勤務場所におけるバリアフリー
【表の見方】							
比率(%)							
網掛け＝							
			1位				
			2位				
全体(R5)		366	35.2	26.0	23.8	19.1	18.9
障がい別	身体障がい	286	31.5	24.8	23.8	17.1	18.5
	知的障がい	86	51.2	44.2	34.9	41.9	25.6
	精神障がい	26	50.0	23.1	15.4	7.7	15.4
	難病	26	30.8	19.2	23.1	15.4	11.5
	発達障がい	42	71.4	52.4	45.2	50.0	38.1
	高次脳機能障がい	16	25.0	25.0	12.5	18.8	25.0

		(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
		就業後の連携	対仕事、について	在宅勤務の拡充	企業ニーズに合った就労訓練	その他	無回答
【表の見方】							
比率(%)							
網掛け＝							
			1位				
			2位				
全体(R5)		18.0	15.3	12.0	11.5	4.6	41.3
障がい別	身体障がい	14.3	12.6	11.9	10.1	5.2	44.4
	知的障がい	34.9	29.1	11.6	23.3	2.3	22.1
	精神障がい	26.9	15.4	15.4	3.8	3.8	34.6
	難病	19.2	11.5	15.4	7.7	7.7	46.2
	発達障がい	50.0	40.5	16.7	28.6	-	14.3
	高次脳機能障がい	6.3	6.3	12.5	12.5	-	56.3

## 8 外出・移動支援について

### (1) 外出の頻度

問 40 ふだん、あなたはどのくらい外出をしますか。(○は1つ)

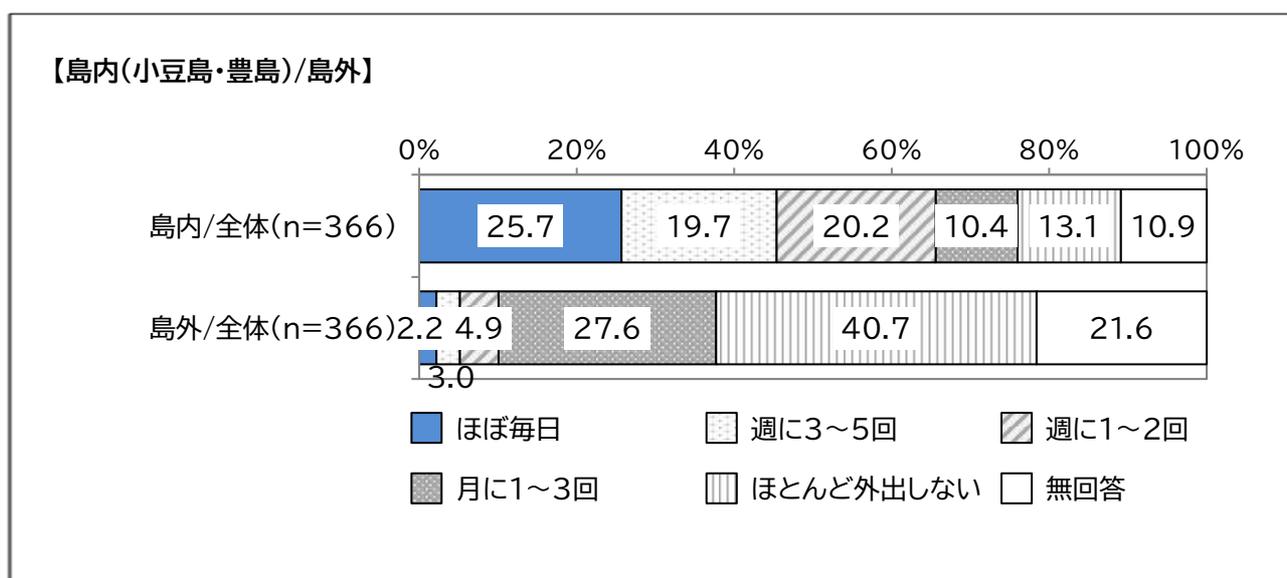
#### 【全体の傾向】

外出の頻度についてたずねたところ、

【島内(小豆島・豊島)】では、「ほぼ毎日」(25.7%)が最も高く、次いで「週に1～2回」(20.2%)、「週に3～5回」(19.7%)などとなっています。

【島外】では、「ほとんど外出しない」(40.7%)が最も高く、次いで「月に1～3回」(27.6%)、「週に1～2回」(4.9%)などとなっています。

図表 69 外出の頻度 (全体)



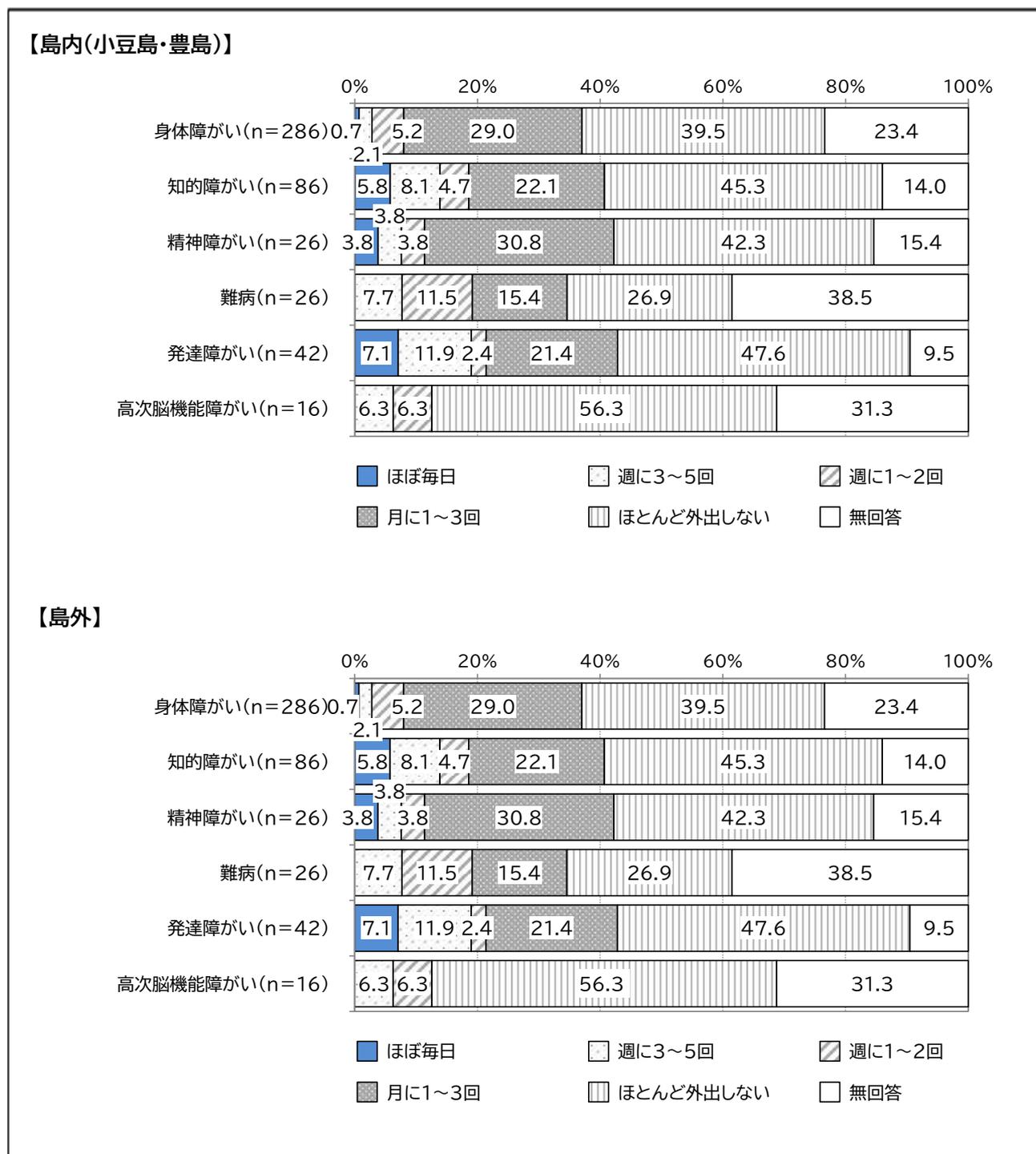
【障がい別の傾向】

障がい別にみると、

【島内（小豆島・豊島）】では、身体障がいは「ほぼ毎日」（25.7%）、精神障がいは「ほぼ毎日」、「週に1～2回」（同率26.9%）、知的障がい、発達障がい、高次脳機能障がいは「ほとんど外出しない」、難病は「週に1～2回」（34.6%）がそれぞれ最も高くなっています。

【島外】では、すべての障がいで「ほとんど外出しない」が最も高く、また、精神障がいで「月に1～3回」（30.8%）が比較的高くなっています。

図表 70 外出の頻度（障がい別）



## (2) 外出の目的

問 41 あなたはどのような目的で外出することが多いですか。(それぞれのあてはまるものすべてに○)

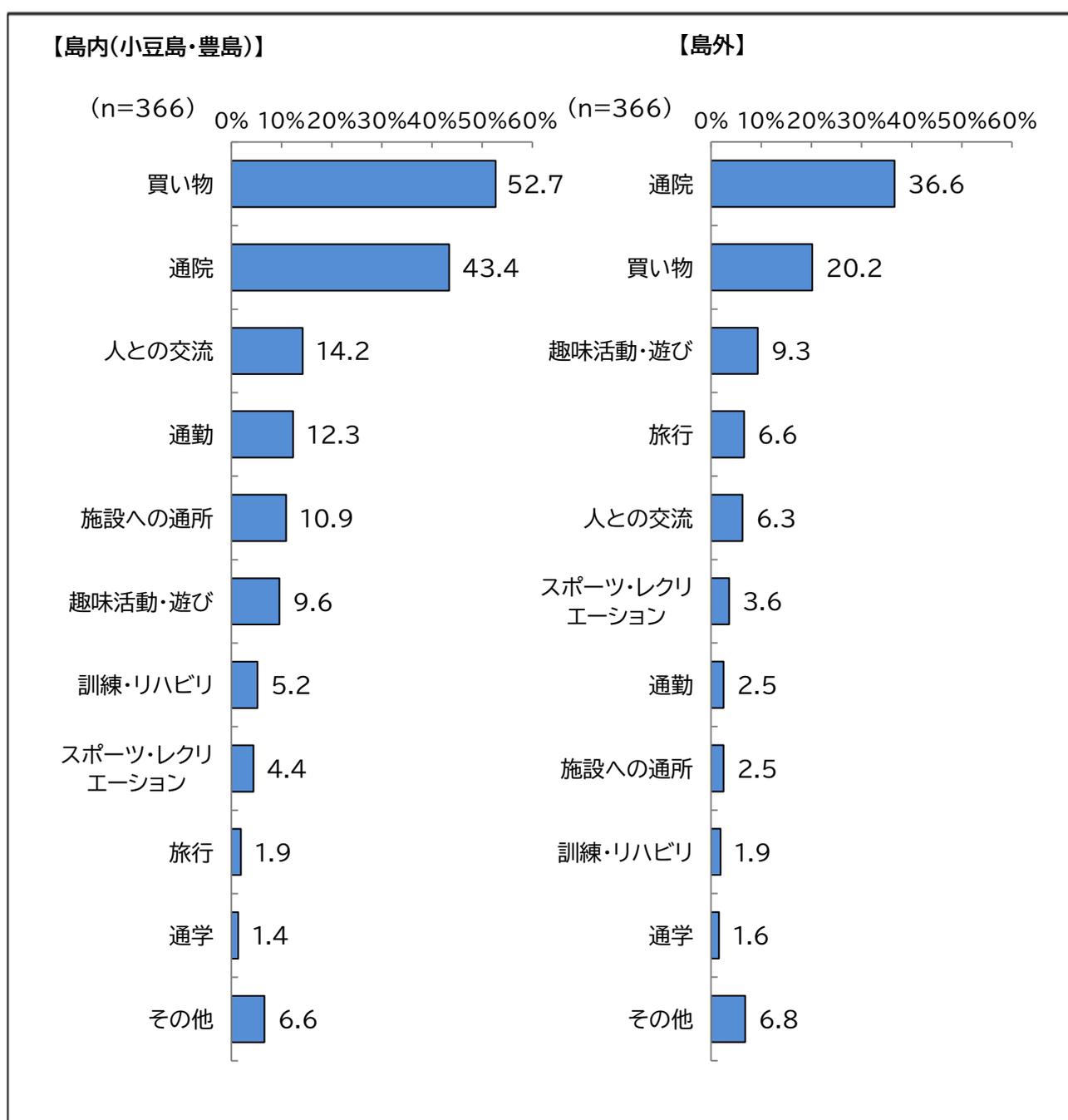
### 【全体の傾向】

外出の目的についてたずねたところ、

【島内（小豆島・豊島）】では、「買い物」（52.7%）が最も高く、次いで「通院」（43.4%）、「人との交流」（14.2%）、「通勤」（12.3%）、「施設への通所」（10.9%）などとなっています。

【島外】では、「通院」（36.6%）が最も高く、次いで「買い物」（20.2%）、「趣味活動・遊び」（9.3%）、「旅行」（6.6%）などとなっています。

図表 71 外出の目的（全体／複数回答）



Ⅱ 調査の結果

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、

【島内（小豆島・豊島）】では、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいでは「買い物」が最も高く、難病、高次脳機能障がいでは「通院」が最も高くなっています。

【島外】では、すべての障がいで「通院」が最も高く、発達障がいでは「買い物」、高次脳機能障がいでは「その他」も同率となっています。

図表 72 外出の目的（障がい別／複数回答）

【島内(小豆島・豊島)】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		買い物	通院	人との交流	通勤	施設への通所	趣味活動・遊び	訓練・リハビリ	スポーツ・レクリエーション	旅行	通学	その他		
1位 2位														
	全体(R5)	366	52.7	43.4	14.2	12.3	10.9	9.6	5.2	4.4	1.9	1.4	6.6	13.9
障がい別	身体障がい	286	52.8	47.9	15.4	12.6	8.7	8.7	4.2	4.2	1.0	0.3	6.3	14.3
	知的障がい	86	47.7	27.9	7.0	11.6	20.9	10.5	5.8	5.8	4.7	4.7	9.3	12.8
	精神障がい	26	53.8	38.5	11.5	11.5	7.7	7.7	7.7	3.8	-	3.8	3.8	11.5
	難病	26	38.5	42.3	15.4	-	3.8	7.7	11.5	3.8	3.8	-	15.4	11.5
	発達障がい	42	47.6	16.7	4.8	11.9	16.7	16.7	2.4	7.1	9.5	9.5	11.9	11.9
	高次脳機能障がい	16	12.5	25.0	-	-	6.3	6.3	-	-	-	-	18.8	50.0

【島外】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	無回答	
		通院	買い物	趣味活動・遊び	旅行	人との交流	スポーツ・レクリエーション	通勤	施設への通所	訓練・リハビリ	通学	その他		
1位 2位														
	全体(R5)	366	36.6	20.2	9.3	6.6	6.3	3.6	2.5	2.5	1.9	1.6	6.8	36.9
障がい別	身体障がい	286	39.2	18.5	7.7	5.9	6.6	2.8	1.7	1.7	2.1	0.3	6.6	39.2
	知的障がい	86	29.1	25.6	12.8	9.3	4.7	8.1	4.7	5.8	5.8	7.0	5.8	32.6
	精神障がい	26	38.5	19.2	3.8	3.8	-	-	-	-	-	-	-	46.2
	難病	26	53.8	3.8	3.8	3.8	3.8	-	-	-	-	3.8	3.8	46.2
	発達障がい	42	31.0	31.0	23.8	11.9	2.4	11.9	7.1	4.8	-	7.1	11.9	21.4
	高次脳機能障がい	16	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.8	68.8

### (3) 外出時の同伴者

問 42 外出する際の同伴者はどなたですか。(それぞれのあてはまるものすべてに○)

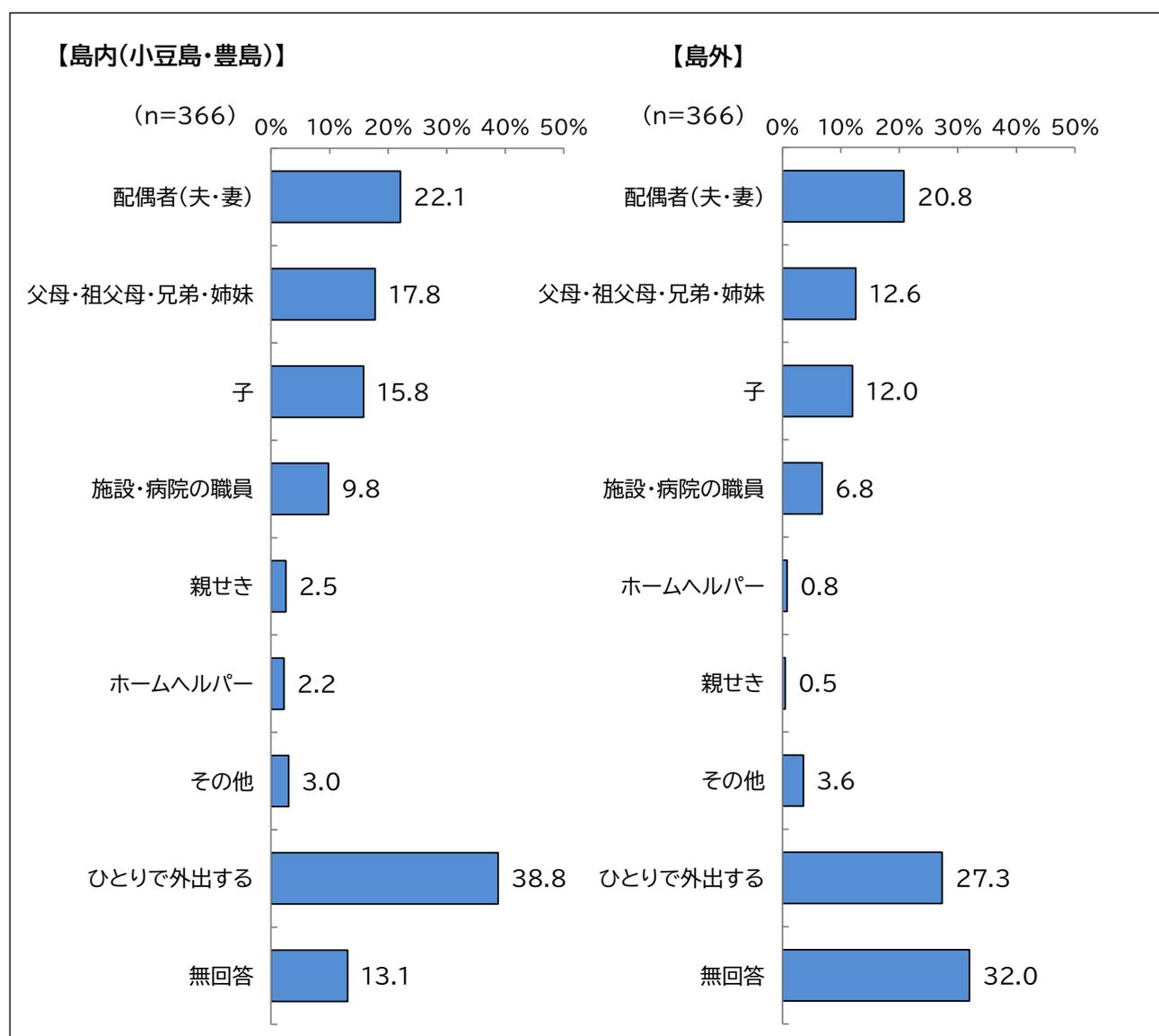
#### 【全体の傾向】

外出時の同伴者についてたずねたところ、

【島内（小豆島・豊島）】では、「配偶者（夫・妻）」（22.1%）が最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」（17.8%）、「子」（15.8%）などとなっています。一方、「ひとりで外出する」は 38.8% となっています。

【島外】では、「配偶者（夫・妻）」（20.8%）が最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」（12.6%）、「子」（12.0%）などとなっています。一方、「ひとりで外出する」（27.3%）は【島内（小豆島・豊島）】と同様に高い割合となっています。

図表 73 外出時の同伴者（全体／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、【島内（小豆島・豊島）】では、身体障がい、精神障がい、難病では「ひとりで外出する」が最も高く、知的障がい、発達障がいでは「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が最も高く、高次脳機能障がいでは「配偶者（夫・妻）」、「施設・病院の職員」（同率 25.0%）となっています。

一方、【島外】では、身体障がい、精神障がいでは「ひとりで外出する」が最も高く、知的障がい、発達障がいでは「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が最も高く、難病では「配偶者（夫・妻）」（34.6%）が最も高く、高次脳機能障がいでは「施設・病院の職員」が最も高くなっており、ひとりで外出する割合が低くなっています。

図表 74 外出時の同伴者（障がい別／複数回答）

【島内(小豆島・豊島)】

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
		配偶者（夫・妻）	父母・祖父母・兄弟・姉妹	子	施設・病院の職員	親せき	ホームヘルパー	その他	ひとりで外出する	無回答	
【表の見方】	調査数（人）										
	比率(%) 網掛け＝										
		1位	2位								
全体(R5)		366	22.1	17.8	15.8	9.8	2.5	2.2	3.0	38.8	13.1
障がい別	身体障がい	286	26.2	11.5	19.9	8.4	2.1	1.7	3.1	40.9	12.2
	知的障がい	86	4.7	41.9	5.8	26.7	1.2	2.3	2.3	18.6	10.5
	精神障がい	26	19.2	34.6	-	7.7	7.7	3.8	3.8	42.3	7.7
	難病	26	26.9	15.4	19.2	-	-	3.8	-	30.8	11.5
	発達障がい	42	7.1	42.9	2.4	38.1	2.4	2.4	-	19.0	7.1
	高次脳機能障がい	16	25.0	18.8	-	25.0	-	-	-	-	43.8

【島外】

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
		配偶者（夫・妻）	父母・祖父母・兄弟・姉妹	子	施設・病院の職員	ホームヘルパー	親せき	その他	ひとりで外出する	無回答	
【表の見方】	調査数（人）										
	比率(%) 網掛け＝										
		1位	2位								
全体(R5)		366	20.8	12.6	12.0	6.8	0.8	0.5	3.6	27.3	32.0
障がい別	身体障がい	286	24.8	7.7	15.4	4.5	0.3	0.3	2.8	28.0	33.2
	知的障がい	86	2.3	33.7	3.5	26.7	1.2	-	3.5	12.8	25.6
	精神障がい	26	11.5	19.2	-	-	-	3.8	7.7	34.6	38.5
	難病	26	34.6	7.7	15.4	3.8	-	-	3.8	15.4	38.5
	発達障がい	42	4.8	38.1	2.4	35.7	-	-	4.8	16.7	14.3
	高次脳機能障がい	16	-	12.5	-	25.0	-	-	6.3	-	62.5

### (4) 外出時の交通手段

問 43 外出する際の交通手段は何ですか。(それぞれのあてはまるものすべてに○)

#### 【全体の傾向】

外出時の交通手段についてたずねたところ、

【島内(小豆島・豊島)】では、「自家用車(家族運転)」(38.3%)が最も高く、次いで「自家用車(本人運転)」(30.3%)となっており、この2項目が外出時の主要な交通手段となっており、その割合は突出しています。次いで「徒歩」(20.2%)、「バス」(12.3%)などとなっています。

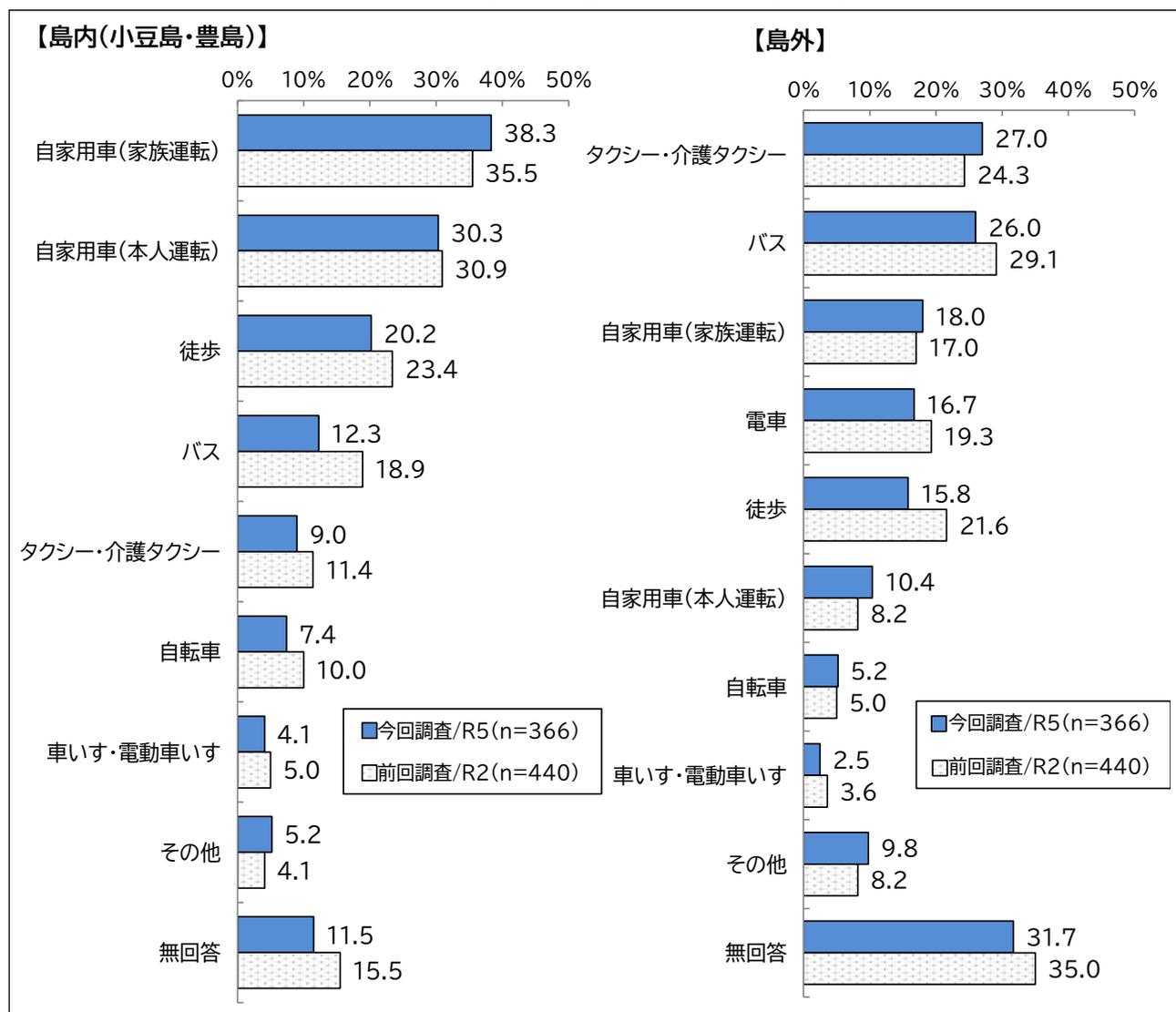
【島外】では、「タクシー・介護タクシー」(27.0%)が最も高く、次いで「バス」(26.0%)、「自家用車(家族運転)」(18.0%)、「電車」(16.7%)などとなっています。

前回調査と比較すると、

【島内(小豆島・豊島)】では、「自家用車(家族運転)」が2.2ポイント増加し、一方、「バス」は6.6ポイント減少しています。

【島外】では、「タクシー・介護タクシー」が2.7ポイント増加し、「徒歩」が5.8ポイント減少しています。

図表 75 外出時の交通手段(全体、前回との比較/複数回答)



Ⅱ 調査の結果

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、【島内(小豆島・豊島)】では、すべての障がいで「自家用車(家族運転)」が最も高く、知的障がい、発達障がいは5割以上と高くなっています。

一方、【島外】では、精神障がいを除く障がいで「自家用車(家族運転)」が最も高く、難病では「バス」が同率26.9%となっています。一方、精神障がいで「バス」、「徒歩」、「その他」(同率19.2%)などとなっており、自家用車を使用する割合が低くなっています。

図表 76 外出時の交通手段(障がい別/複数回答)

【島内(小豆島・豊島)】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	無回答	
		自家用車(家族運転)	自家用車(本人運転)	徒歩	バス	タクシー・介護タクシー	自転車	車いす・電動車いす	その他		
1位 2位											
	全体(R2)	440	35.5	30.9	23.4	18.9	11.4	10.0	5.0	4.1	15.5
	全体(R5)	366	38.3	30.3	20.2	12.3	9.0	7.4	4.1	5.2	11.5
障がい別	身体障がい	286	36.7	36.0	16.8	10.5	8.7	6.3	4.5	3.8	11.5
	知的障がい	86	53.5	5.8	29.1	12.8	10.5	10.5	2.3	9.3	7.0
	精神障がい	26	38.5	26.9	19.2	19.2	11.5	3.8	-	11.5	7.7
	難病	26	42.3	30.8	23.1	11.5	3.8	7.7	3.8	-	11.5
	発達障がい	42	50.0	11.9	38.1	9.5	14.3	11.9	-	4.8	4.8
	高次脳機能障がい	16	31.3	6.3	12.5	-	12.5	-	6.3	-	43.8

【島外】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	無回答	
		タクシー・介護タクシー	バス	自家用車(家族運転)	電車	徒歩	自家用車(本人運転)	自転車	車いす・電動車いす	その他		
1位 2位												
	全体(R2)	440	24.3	29.1	17.0	19.3	21.6	8.2	5.0	3.6	8.2	35.0
	全体(R5)	366	27.0	26.0	18.0	16.7	15.8	10.4	5.2	2.5	9.8	31.7
障がい別	身体障がい	286	27.3	24.8	18.9	16.8	13.3	11.9	5.2	2.4	5.9	33.6
	知的障がい	86	33.7	31.4	22.1	18.6	18.6	1.2	4.7	2.3	16.3	24.4
	精神障がい	26	15.4	19.2	7.7	11.5	19.2	11.5	-	-	19.2	38.5
	難病	26	26.9	26.9	23.1	3.8	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8	38.5
	発達障がい	42	47.6	40.5	16.7	19.0	21.4	2.4	7.1	-	28.6	14.3
	高次脳機能障がい	16	31.3	6.3	6.3	-	-	-	-	6.3	18.8	56.3

問 44 問 40 で「島外への外出がある」と答えた方がお答えください。  
 島外への外出の移動費用は、1 か月あたりどの程度の金額がかかりますか (○は1つ)

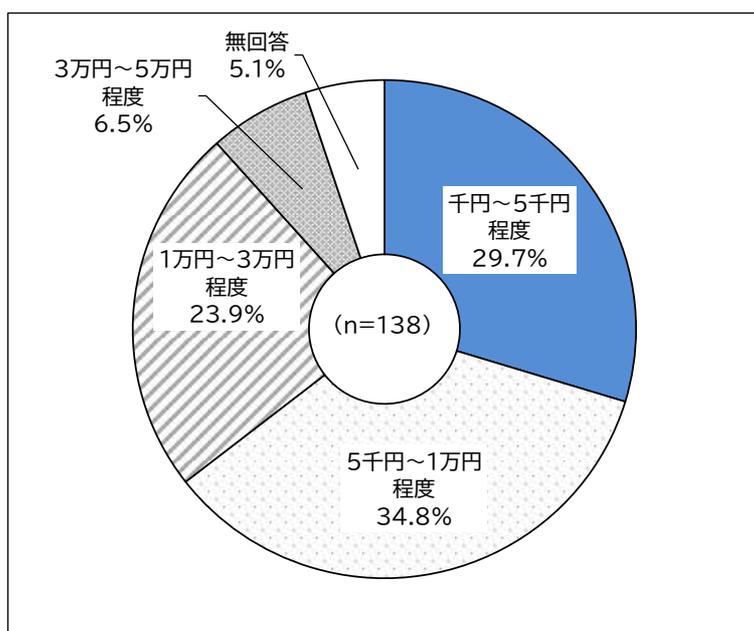
【全体の傾向】

島外への外出時の移動費用についてたずねたところ、「5 千円～1 万円程度」(34.8%) が最も高く、次いで「千円～5 千円程度」(29.7%)、「1 万円～3 万円程度」(23.9%)、「3 万円～5 万円程度」(6.5%) となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、難病では「5 千円～1 万円程度」、知的障がいでは「千円～5 千円程度」、「1 万円～3 万円程度」(同率 28.6%)、精神障がい、発達障がいでは「千円～5 千円程度」、高次脳機能障がいでは「1 万円～3 万円程度」(50.0%) がそれぞれ最も高くなっています。

図表 77 島外への外出時の移動費用 (全体、障がい別)



【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	
		千円～5千円程度	5千円～1万円程度	1万円～3万円程度	3万円～5万円程度		
全体(R5)	138	29.7	34.8	23.9	6.5	5.1	
障がい別	身体障がい	106	24.5	39.6	24.5	5.7	5.7
	知的障がい	35	28.6	22.9	28.6	17.1	2.9
	精神障がい	11	63.6	9.1	18.2	-	9.1
	難病	9	22.2	33.3	11.1	11.1	22.2
	発達障がい	18	38.9	22.2	27.8	11.1	-
	高次脳機能障がい	2	-	-	50.0	-	50.0

問 45 島外への外出の移動費用について、どの程度の負担となっていますか。(○は1つ)

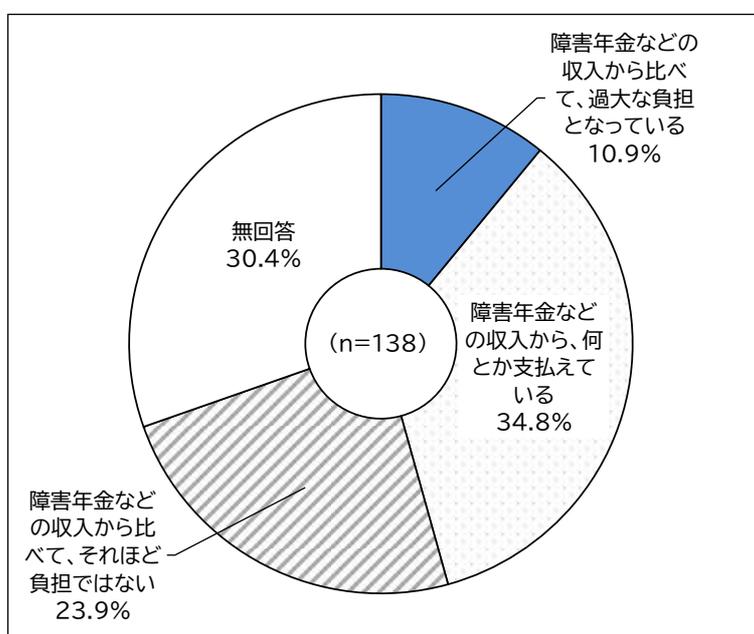
【全体の傾向】

島外への外出時の移動費用の負担の程度についてたずねたところ、「障害年金などの収入から、何とか支払えている」(34.8%)が最も高く、次いで「障害年金などの収入から比べて、それほど負担ではない」(23.9%)、「障害年金などの収入から比べて、過大な負担となっている」(10.9%)となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「障害年金などの収入から、何とか支払えている」が最も高くなっています。

図表 78 島外への外出時の移動費用の負担の程度 (全体、障がい別)



【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数(人)	(1)	(2)	(3)	無回答	
		て障、書、過大な金など負担の収入となつてらるべ	か障、書、年金などの収入から、何とか支払えている	て障、書、年金などの負担ではない		
全体(R5)	138	10.9	34.8	23.9	30.4	
障がい別	身体障がい	106	11.3	34.0	20.8	34.0
	知的障がい	35	14.3	42.9	25.7	17.1
	精神障がい	11	-	36.4	27.3	36.4
	難病	9	11.1	33.3	-	55.6
	発達障がい	18	11.1	33.3	27.8	27.8
高次脳機能障がい	2	-	-	-	100.0	

## (5) 外出時に困ること

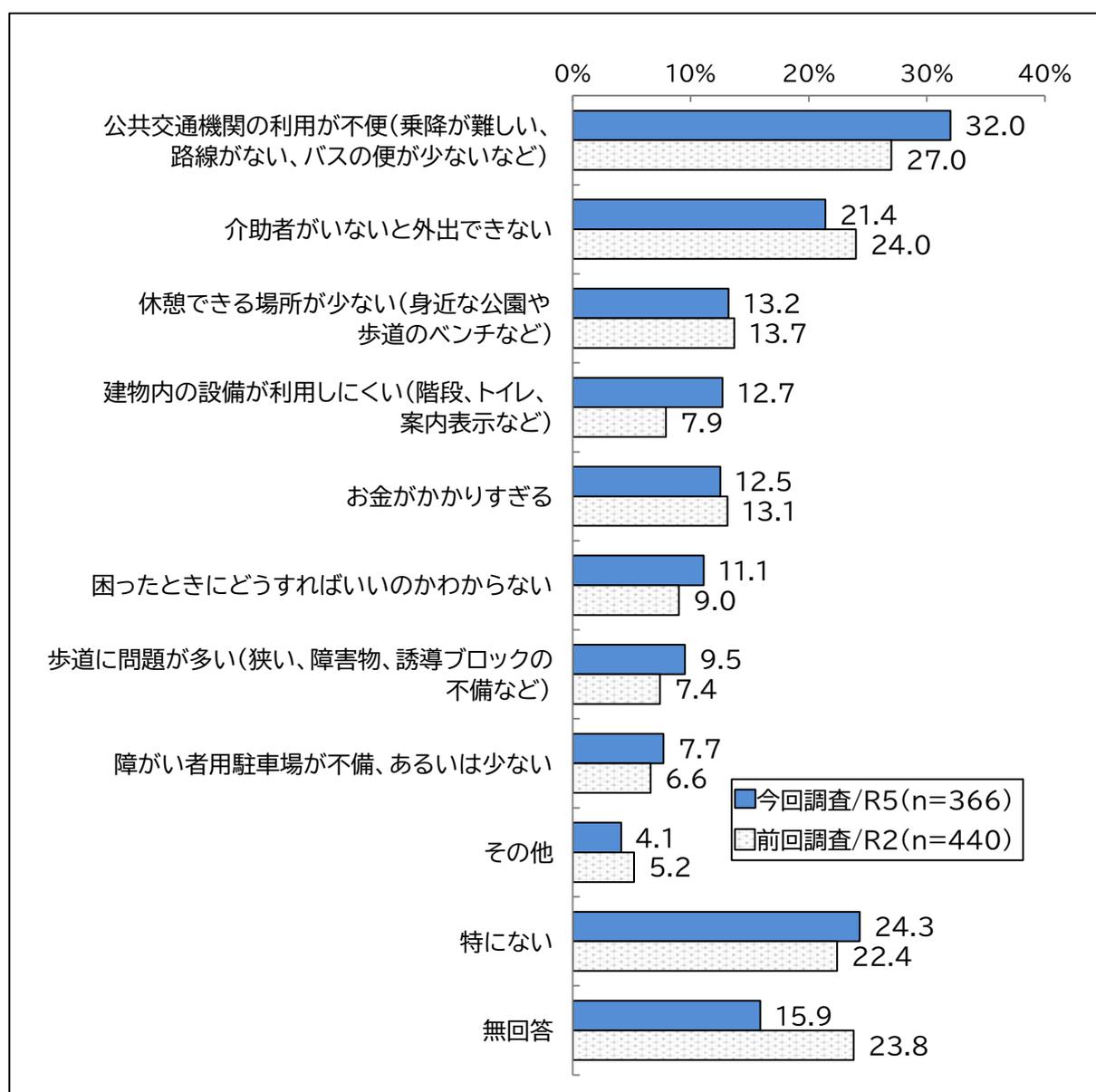
問 46 外出する際に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

外出時に困ることについてたずねたところ、「公共交通機関の利用が不便（路線がない、バスの便が少ない、乗り降りが難しいなど）」(32.0%)が最も高く、次いで「介助者がいないと外出できない」(21.4%)、「休憩できる場所が少ない（身近な公園や歩道のベンチなど）」(13.2%)、「建物内の設備が利用しにくい（階段、トイレ、案内表示など）」(12.7%) などとなっています。一方、「特にない」は 24.3% となっており、全体で第 2 位の割合となっています。

前回調査と比較すると、「公共交通機関の利用が不便（路線がない、バスの便が少ない、乗り降りが難しいなど）」が 5.0 ポイント増加し、「介助者がいないと外出できない」は 2.6 ポイント減少しています。

図表 79 外出時に困ること（全体、前回との比較／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「公共交通機関の利用が不便（乗降が難しい、路線がない、バスの便が少ないなど）」(28.0%)、知的障がい、難病、発達障がい、高次脳機能障がいでは「介助者がいないと外出できない」、精神障がいでは「特にない」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 80 外出時に困ること（障がい別／複数回答）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
		1位	2位				
	調査数（人）	の降公 便が交 少し通 ない機 な、関 い、路 線利用 がない が不便 、バス 乗	介 助者 が い な い と 外 出 で き な い	な休 公園憩 で やき 歩る 道場 の所 が 少 な い （ 身 近	お 金 が か か り す ぎ る	か困 わつ た ら と き に ど う す れ ば い い の	
	全体(R5)	366	27.0	24.0	13.7	13.1	9.0
障 が い 別	身体障がい	286	28.0	23.8	14.7	13.3	7.3
	知的障がい	86	30.2	41.9	15.1	16.3	19.8
	精神障がい	26	19.2	11.5	19.2	11.5	7.7
	難病	26	15.4	38.5	15.4	11.5	3.8
	発達障がい	42	31.0	47.6	21.4	14.3	21.4
	高次脳機能障がい	16	12.5	31.3	12.5	-	12.5

		(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
		1位	2位				
	調査数（人）	ど（建 ）階物 段内 、の ト設 イ備 レが 、利 案用 内し 表に 示く ない	物歩 、道 誘に 導問 ブ題 口が ツ多 クい の（ 不狭 備い 、障 害	い障 はが 少 い 者 用 駐 車 場 が 不 備 、 あ る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体(R5)	7.9	7.4	6.6	5.2	22.4	23.8
障 が い 別	身体障がい	8.7	8.0	5.9	3.5	21.0	24.5
	知的障がい	9.3	9.3	11.6	8.1	19.8	17.4
	精神障がい	3.8	11.5	11.5	7.7	26.9	23.1
	難病	7.7	7.7	7.7	3.8	7.7	34.6
	発達障がい	4.8	9.5	4.8	7.1	14.3	16.7
	高次脳機能障がい	18.8	18.8	6.3	-	6.3	50.0

## 9 地域防災について

### (1) 災害時の避難について

問 47 あなたは災害時（大雨、地震、津波）にひとりで避難できますか。（○は1つ）

#### 【全体の傾向】

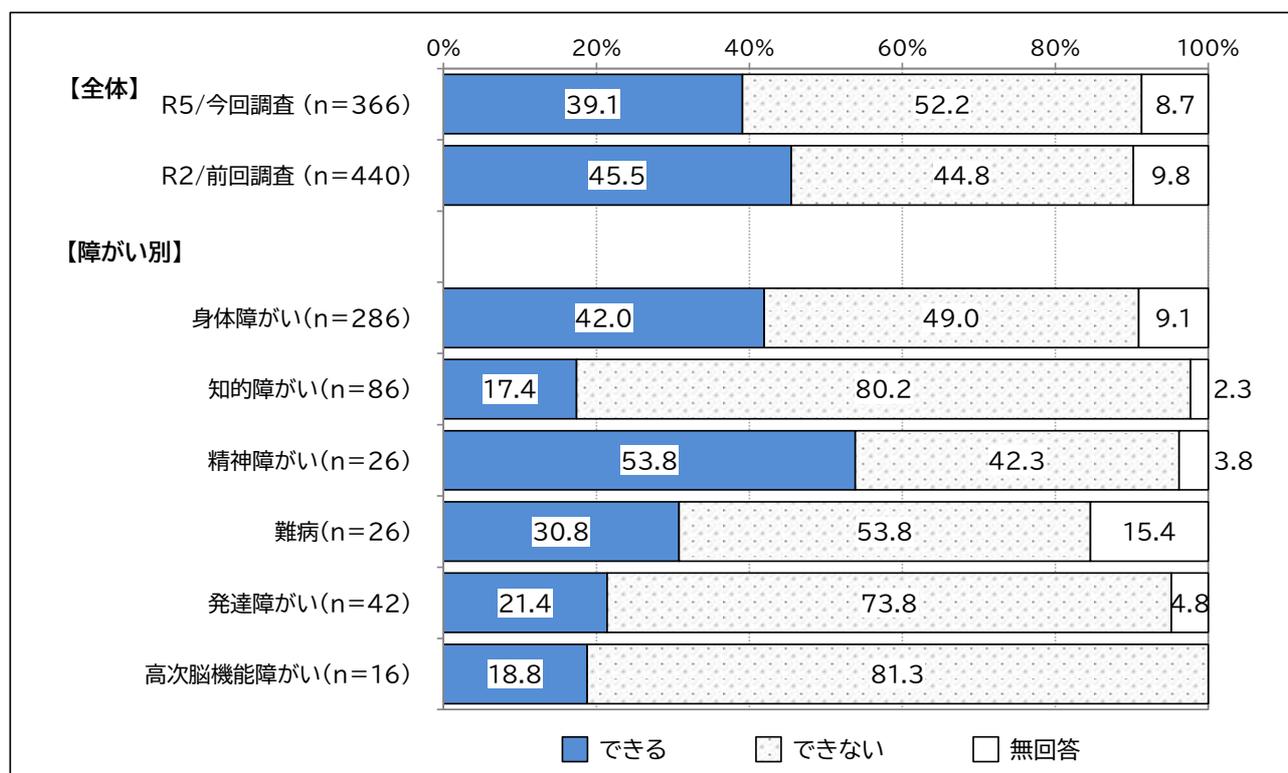
災害時にひとりで避難できるかどうかについてたずねたところ、「できる」が39.1%、「できない」は52.2%となっています。

前回の調査と比較すると、「できない」が6.4ポイント増加し、「できる」が6.4ポイント減少しています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、知的障がい、難病、発達障がい、高次脳機能障がいでは「できない」が最も高く、特に、知的障がい、高次脳機能障がいでは8割以上となっており、他の障がいに比べてひとりで避難できない割合が高くなっています。一方、精神障がいは「できる」(53.85)が5割以上となっています。

図表 81 災害時の避難について（全体、前回との比較、障がい別）



## (2) 近隣援助者の有無

問 48 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。  
(○は1つ)

### 【全体の傾向】

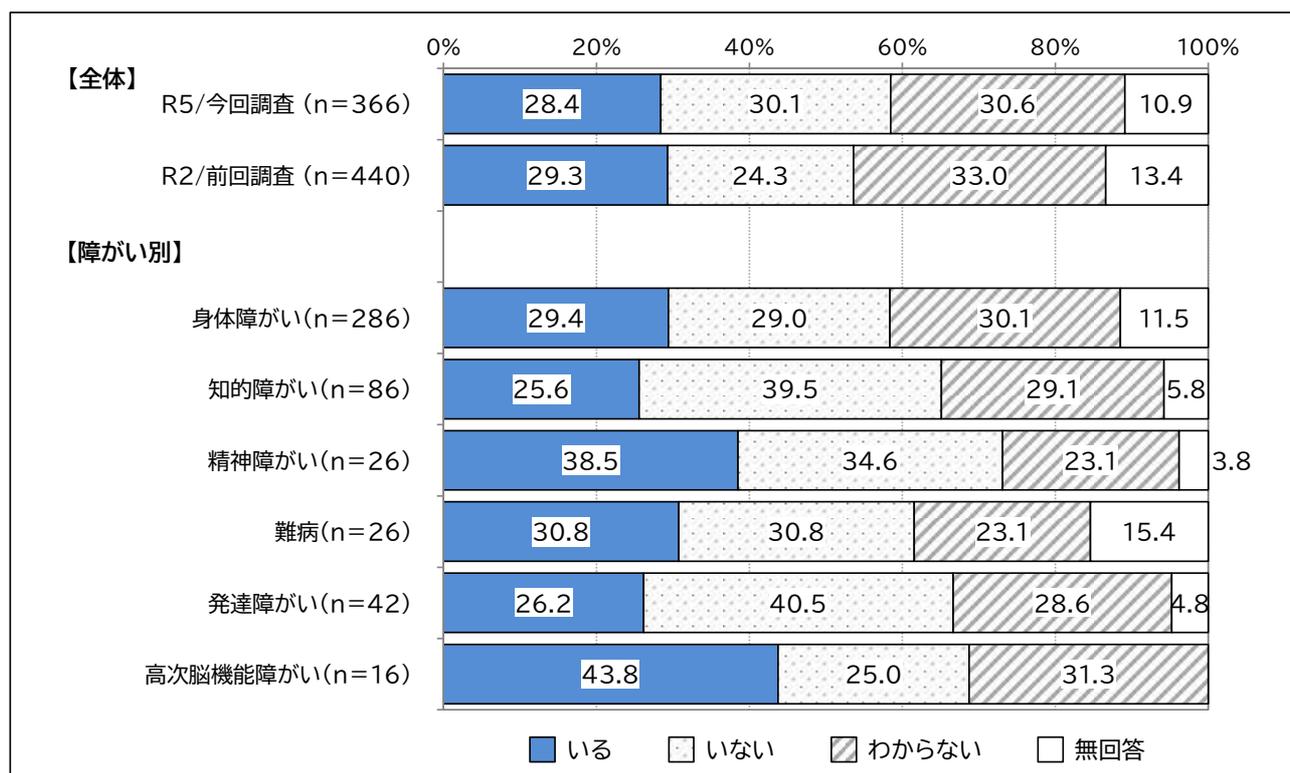
近隣援助者の有無についてたずねたところ、「いる」は 28.4%、「いない」は 30.1%、「わからない」は 30.6%となっています。

前回調査と比較すると、「いない」が 5.8 ポイント増加し、「わからない」が 2.4 ポイント減少しています。

### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「わからない」(30.1%)、精神障がい、高次脳機能障がいでは「いる」、知的障がい、発達障がいでは「いない」、難病では「いる」、「いない」(同率 30.8%) がそれぞれ最も高くなっています。

図表 82 近隣援助者の有無（全体、前回との比較、障がい別）



### (3) 災害時に不安に思うこと

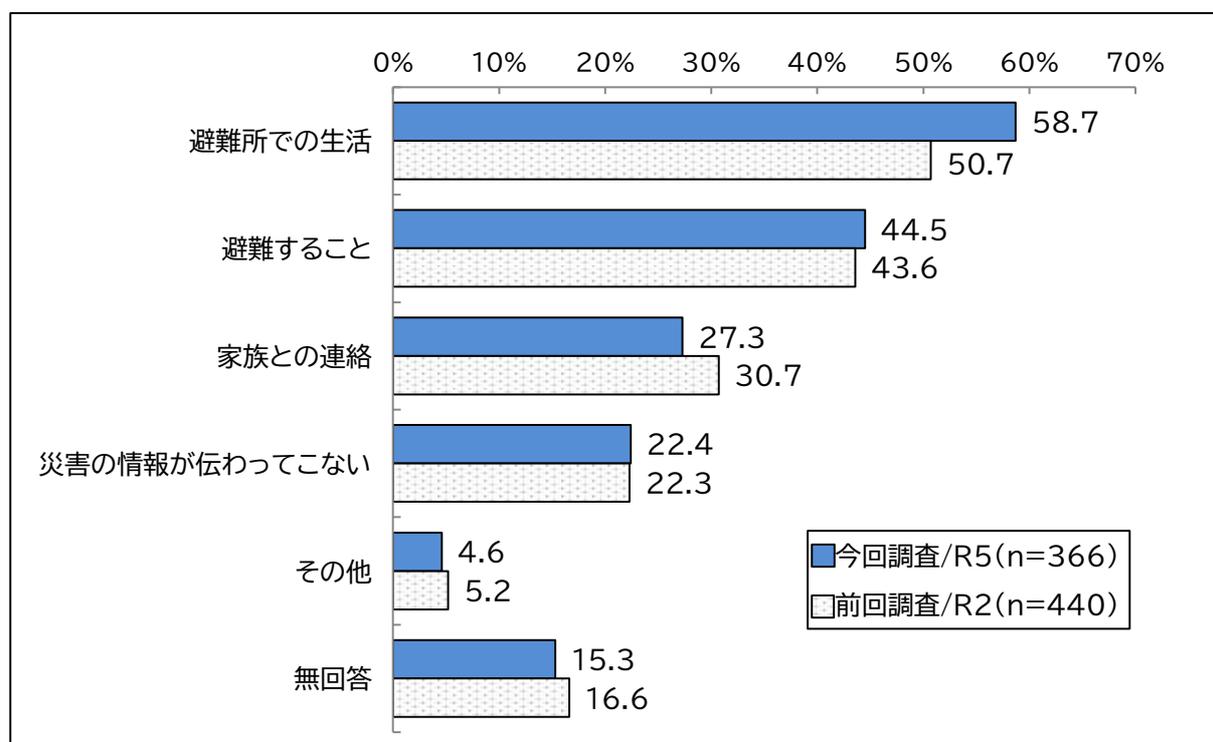
問 49 災害時に不安に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

#### 【全体の傾向】

災害時に不安に思うことについてたずねたところ、「避難所での生活」(58.7%)が最も高く、次いで「避難すること」(44.5%)、「家族との連絡」(27.3%)、「災害の情報が伝わってこない」(22.4%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「避難所での生活」が8.0ポイント増加し、「家族との連絡」が3.4ポイント減少しています。

図表 83 災害時に不安に思うこと（全体、前回との比較／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「避難所での生活」が最も高く、次いで「避難すること」となっており、精神障がいでは「家族との連絡」（同率42.3%）となっています。

図表 84 災害時に不安に思うこと（障がい別／複数回答）

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
		調査数（人）	避難所での生活	避難すること	家族との連絡	い災害の情報が伝わってこない	その他	無回答
【表の見方】								
比率(%)								
網掛け=								
			1位					
			2位					
全体(R5)		366	58.7	44.5	27.3	22.4	4.6	15.3
障がい別	身体障がい	286	58.4	42.7	27.6	21.0	4.5	15.4
	知的障がい	86	73.3	55.8	34.9	30.2	4.7	8.1
	精神障がい	26	53.8	42.3	42.3	26.9	3.8	11.5
	難病	26	50.0	42.3	26.9	11.5	7.7	23.1
	発達障がい	42	76.2	59.5	40.5	40.5	2.4	4.8
	高次脳機能障がい	16	68.8	50.0	25.0	12.5	6.3	25.0

#### (4) 避難所に行った場合に困ること

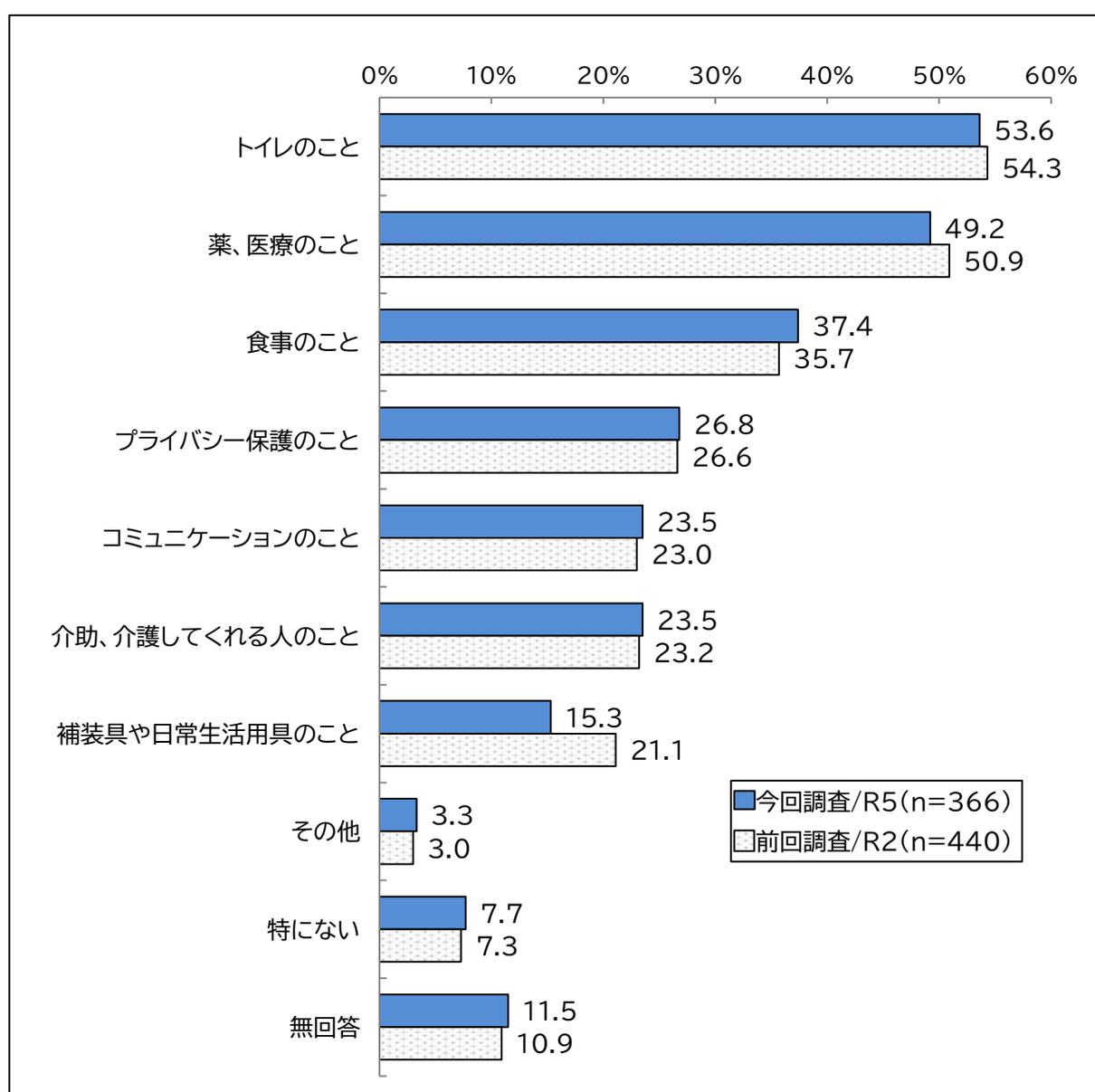
問 50 あなたがもし避難所に行った場合、困ると思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

##### 【全体の傾向】

避難所に行った場合に困ることについてたずねたところ、「トイレのこと」(53.6%)が最も高く、次いで「薬、医療のこと」(49.2%)、「食事のこと」(37.4%)、「プライバシー保護のこと」(26.8%)、「コミュニケーションのこと」(23.5%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「食事のこと」が1.7ポイント増加し、「補装具や日常生活用具のこと」が5.8ポイント減少しています。

図表 85 避難所に行った場合に困ること (全体/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がいでは「トイレのこと」(55.9%)が最も高く、次いで「薬、医療のこと」(49.2%)、「食事のこと」(34.3%)などとなっています。知的障がいでは「薬、医療のこと」(55.8%)最も高く、次いで「食事のこと」、「コミュニケーションのこと」(同率52.3%)などとなっています。

精神障がいでは「トイレのこと」(46.2%)が最も高く、次いで「薬、医療のこと」(42.3%)などとなっています。難病では「薬、医療のこと」(53.8%)が最も高く、次いで「トイレのこと」(42.3%)などとなっています。発達障がいでは「コミュニケーションのこと」(61.9%)が最も高く、次いで「薬、医療のこと」(57.1%)などとなっています。高次脳機能障がいでは「トイレのこと」(68.8%)が最も高く、次いで「薬、医療のこと」(62.5%)などとなっています。

図表 86 避難所に行った場合に困ること（障がい別／複数回答）

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		調査数(人)	トイレのこと	薬、医療のこと	食事のこと	プライバシー保護のこと	コミュニケーションのこと
【表の見方】							
比率(%)							
網掛け=							
			1位	2位			
全体(R5)		366	53.6	49.2	37.4	26.8	23.5
障がい別	身体障がい	286	55.9	49.0	34.3	26.6	16.8
	知的障がい	86	47.7	55.8	52.3	31.4	52.3
	精神障がい	26	46.2	42.3	38.5	26.9	30.8
	難病	26	42.3	53.8	19.2	23.1	3.8
	発達障がい	42	52.4	57.1	54.8	33.3	61.9
	高次脳機能障がい	16	68.8	62.5	50.0	12.5	18.8

		(6)	(7)	(8)	(9)	
		介助、介護してくれる人のこと	補装具や日常生活用具のこと	その他	特にない	無回答
【表の見方】						
比率(%)						
網掛け=						
			1位	2位		
全体(R5)		23.5	15.3	3.3	7.7	11.5
障がい別	身体障がい	24.1	17.5	3.1	7.3	11.9
	知的障がい	38.4	10.5	4.7	5.8	5.8
	精神障がい	19.2	3.8	3.8	15.4	7.7
	難病	11.5	19.2	7.7	15.4	19.2
	発達障がい	50.0	7.1	2.4	7.1	4.8
	高次脳機能障がい	50.0	25.0	-	-	12.5

問 51 あなたは地域で防災訓練や避難訓練があれば参加したいと思いますか。(○は1つ)

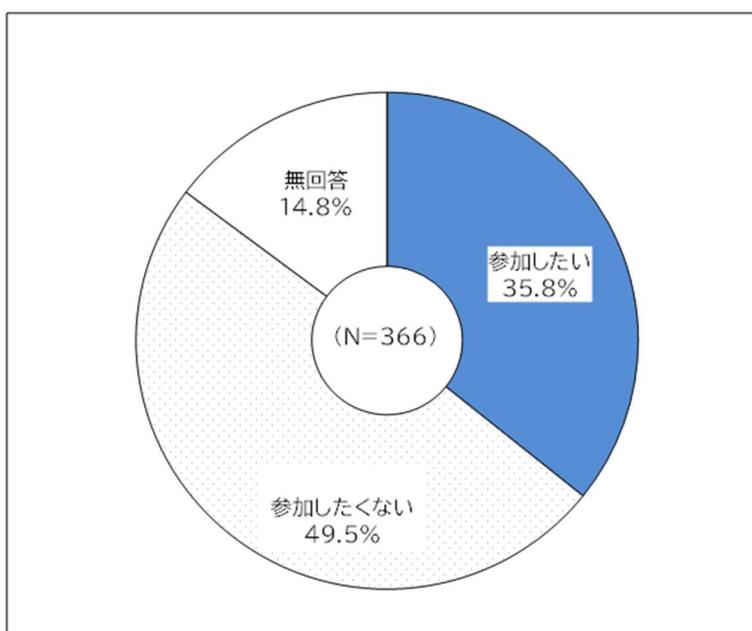
【全体の傾向】

地域の防災訓練や避難訓練の参加意向についてたずねたところ、「参加したい」は 35.8%、「参加したくない」は 49.5%となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、すべての障がいで「参加したくない」が最も高く、一方、知的障がい、発達障がいでは「参加したい」が4割以上と比較的高くなっています。

図表 87 地域の防災訓練や避難訓練の参加意向（全体、障がい別）



【表の見方】	調査数（人）	(1)	(2)	無回答	
		参加したい	参加したくない		
比率(%) 網掛け=					
1位					
2位					
全体(R5)	366	35.8	49.5	14.8	
障がい別	身体障がい	286	35.0	49.0	16.1
	知的障がい	86	45.3	46.5	8.1
	精神障がい	26	30.8	65.4	3.8
	難病	26	30.8	46.2	23.1
	発達障がい	42	45.2	50.0	4.8
	高次脳機能障がい	16	18.8	56.3	25.0

## 10 あなたの権利について

### (1) 障がい者差別について

問 52 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがここ5年以内でありますか。（○は1つ）

#### 【全体の傾向】

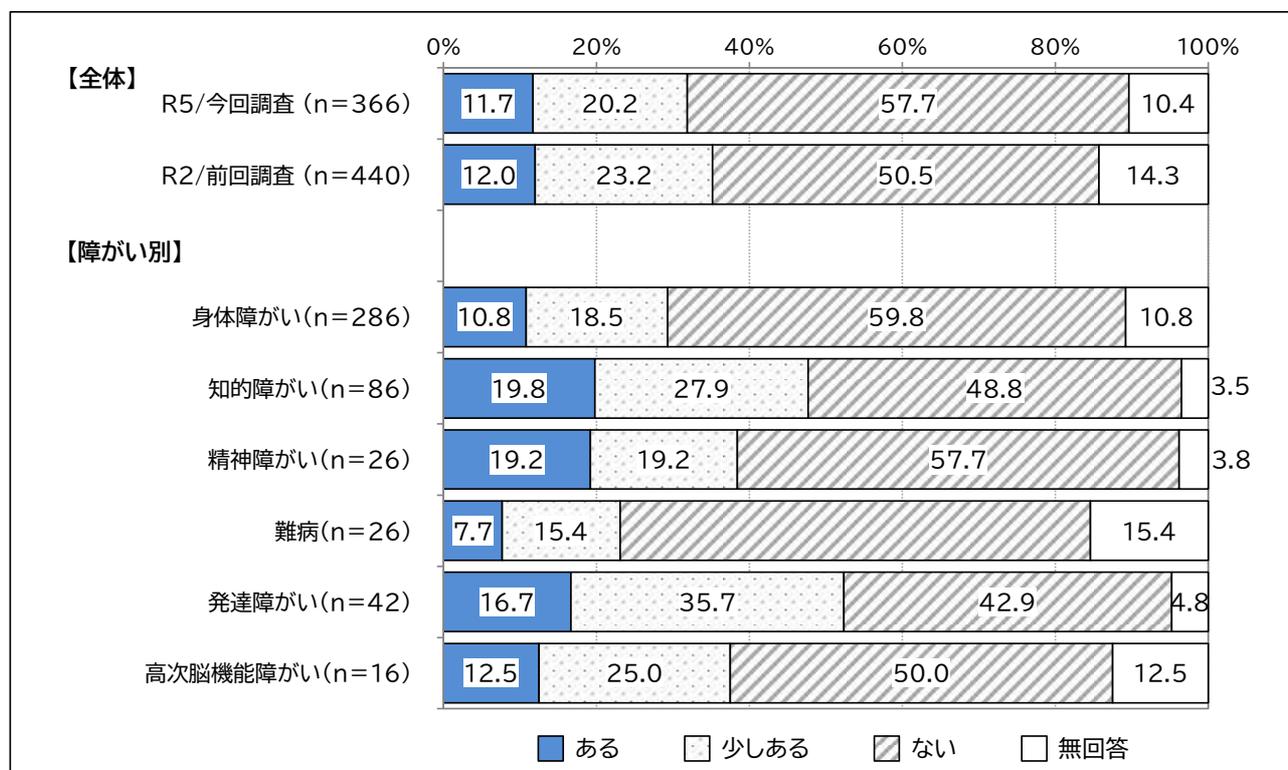
障がい等を理由に差別や嫌な思いをした経験の有無についてたずねたところ、「ない」が57.7%となっており、「ある」（20.2%）と「少しある」（11.7%）を合計した『ある』の割合は31.9%となり、約3割の人が差別や嫌な思いをしたことがあると回答しています。

前回調査と比較すると、「ない」が7.2ポイント増加し、「少しある」が3.0ポイント減少しています。

#### 【障がい別の傾向】

障がい別にみると、『ある』の割合は、身体障がいでは29.3%、知的障がいでは47.7%、精神障がいでは38.4%、難病では23.1%、発達障がいでは52.4%、高次脳機能障がいでは37.5%となっており、発達障がいでは5割以上と最も高くなっています。

図表 88 差別や嫌な思いをした経験の有無（全体、前回との比較、障がい別）



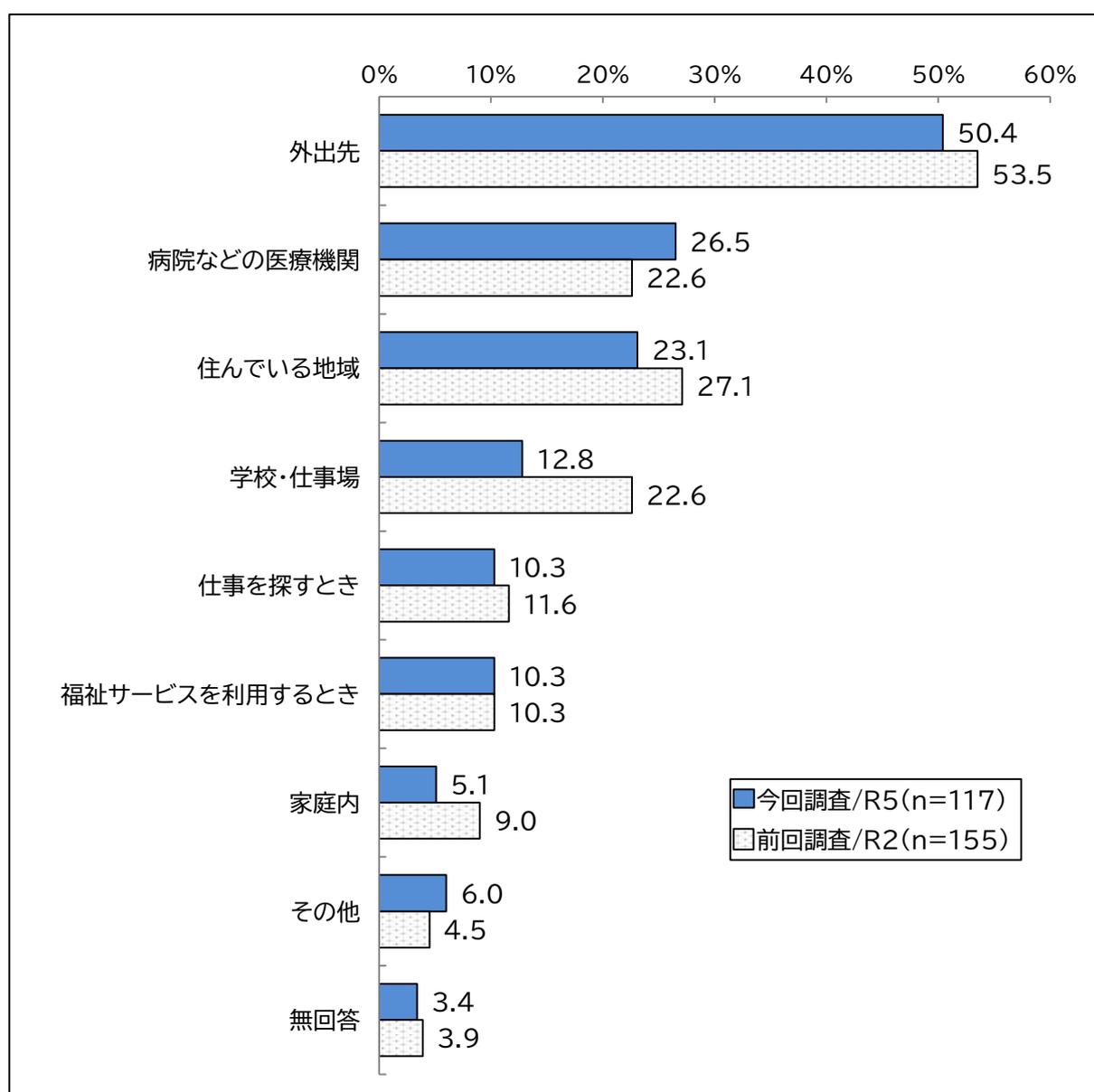
問 52-1 問 52 で「1. ある」または「2. 少しある」とお答えした方におうかがいします。  
 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

【全体の傾向】

どのような場所で差別や嫌な思いをしたかについてたずねたところ、「外出先」(53.5%)が最も高く、次いで「病院などの医療機関」(26.5%)、「住んでいる地域」(23.1%)、「学校・仕事場」(12.8%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「病院などの医療機関」が3.9ポイント増加し、「学校・仕事場」が9.8ポイント減少しています。

図表 89 差別や嫌な思いをした場所（全体、前回との比較／複数回答）



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、精神障がいを除くすべての障がいでは「外出先」が最も高く、難病では「病院などの医療機関」、「住んでいる地域」が同率 33.3%、高次脳機能障がいでは「病院などの医療機関」が同率 33.3%となっており、精神障がいでは「住んでいる地域」(50.0%)が最も高くなっています。

図表 90 差別や嫌な思いをした場所（障がい別／複数回答）

			(1) 外出先	(2) 病院などの医療機関	(3) 住んでいる地域	(4) 学校・仕事場	(5) 仕事を探すとき
【表の見方】							
比率(%) 網掛け＝							
		1位					
		2位					
全体(R5)		117	50.4	26.5	23.1	12.8	10.3
障がい別	身体障がい	84	46.4	27.4	28.6	11.9	8.3
	知的障がい	41	61.0	19.5	14.6	12.2	-
	精神障がい	10	30.0	40.0	50.0	30.0	40.0
	難病	6	33.3	33.3	33.3	-	-
	発達障がい	22	54.5	13.6	18.2	13.6	4.5
	高次脳機能障がい	6	33.3	33.3	-	-	-

			(6) 福祉サービスを利用するとき	(7) 家庭内	(8) その他	無回答
【表の見方】						
比率(%) 網掛け＝						
		1位				
		2位				
全体(R5)		10.3	5.1	6.0	3.4	
障がい別	身体障がい	10.7	6.0	6.0	2.4	
	知的障がい	14.6	-	7.3	4.9	
	精神障がい	10.0	10.0	-	-	
	難病	-	-	-	16.7	
	発達障がい	13.6	4.5	4.5	4.5	
	高次脳機能障がい	16.7	-	16.7	-	

問 53 日常生活の中で障がいがある人に対し、周りの人の理解が進んでいると思いますか。(1つに○)

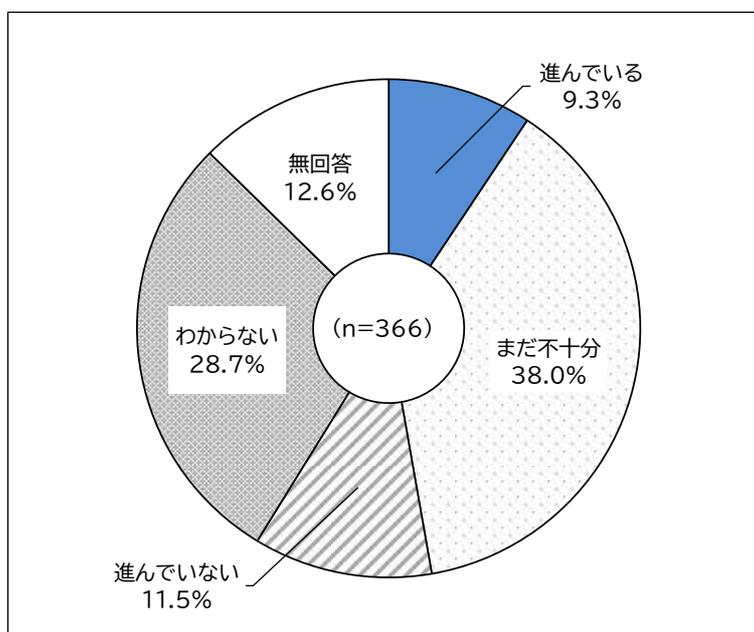
【全体の傾向】

障がいに対する周囲の理解についてたずねたところ、「まだ不十分」(38.0%)が最も高く、次いで「わからない」(28.7%)、「進んでいない」(11.5%)となっています。

【障がい別の傾向】

障がい別にみると、精神障がいを除くすべての障がいで「まだ不十分」が最も高く、難病、高次脳機能障がいでは「わからない」が同率となっています。一方、精神障がいでは「わからない」(38.5%)が最も高くなっています。

図表 91 障がいに対する周囲の理解 (全体、障がい別)



【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調 査 数 ( 人 )	(1)	(2)	(3)	(4)	無 回 答
			進 ん で い る	ま だ 不 十 分	進 ん で い な い	わ か ら な い	
全 体(R5)		366	9.3	38.0	11.5	28.7	12.6
障 が い 別	身体障がい	286	10.5	38.1	9.4	29.0	12.9
	知的障がい	86	7.0	45.3	14.0	30.2	3.5
	精神障がい	26	7.7	34.6	15.4	38.5	3.8
	難病	26	15.4	26.9	7.7	26.9	23.1
	発達障がい	42	4.8	45.2	19.0	26.2	4.8
	高次脳機能障がい	16	18.8	25.0	18.8	25.0	12.5

## （２）現在利用している事業や制度と今後利用したい事業や制度

問 54 あなたは次の事業や制度を利用していますか。また今後利用したいと考えますか。  
 （○はそれぞれ1つ）

### 【全体の傾向】

現在利用している事業や制度についてたずねたところ、

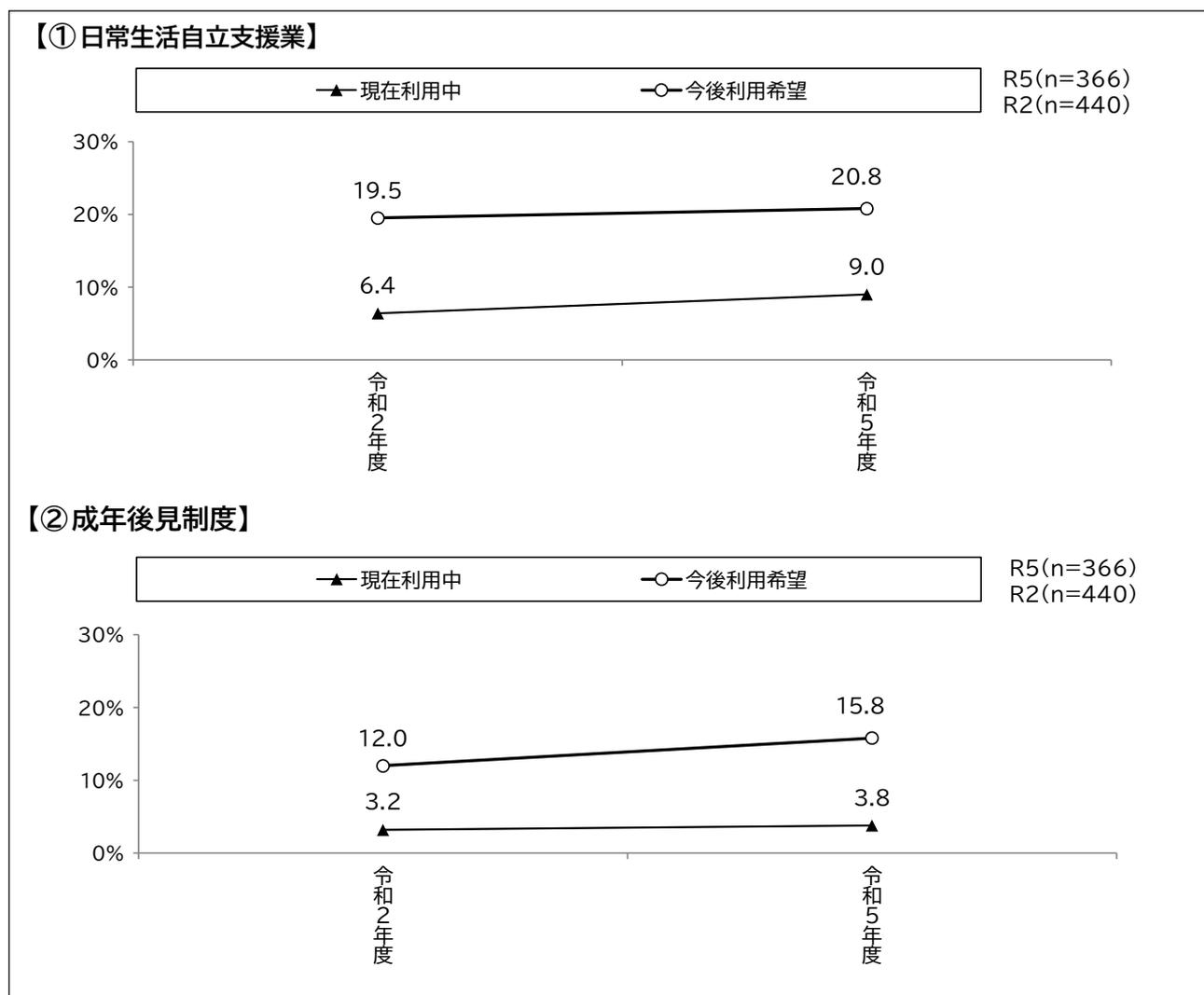
①日常生活支援事業では「現在利用中」が9.0%、「今後利用希望」が20.8%となっています。

前回調査と比較すると、「現在利用中」が2.6ポイント増加し、「今後利用希望」も1.3ポイント増加しています。

②成年後見制度では「現在利用中」が3.8%、「今後利用希望」が15.8%となっています。

前回調査と比較すると、「現在利用中」が0.6ポイント増加し、「今後利用希望」も3.8ポイント増加しています。

図表 92 現在利用している事業や制度と今後利用したい事業や制度（全体）



【障がい別の傾向】

・現在の利用状況

障がい別にみると、「日常生活自立支援事業」では、高次脳機能障がいを除くすべての障がいで利用率が低く、高次脳機能障がいでは利用率が高くなっています。

「成年後見制度」では、すべての障がいで利用率が低くなっています。

・今後の利用希望

障がい別にみると、「日常生活自立支援事業」では、知的障がい、発達障がい在今后利用したい割合が高くなっています。

「成年後見制度」では、知的障がい、発達障がい在今后利用したい割合が高くなっています。

図表 93 現在利用している事業や制度（障がい別）

【① 日常生活自立支援業】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数 (人)	現在利用している			今後利用したい		
			(1) はい	(2) いいえ	無回答	(1) はい	(2) いいえ	無回答
1位 2位								
全体(R5)		366	9.0	54.4	36.6	20.8	39.3	39.9
障がい別	身体障がい	286	8.0	52.8	39.2	17.5	40.9	41.6
	知的障がい	86	22.1	61.6	16.3	39.5	29.1	31.4
	精神障がい	26	11.5	61.5	26.9	26.9	42.3	30.8
	難病	26	11.5	34.6	53.8	11.5	30.8	57.7
	発達障がい	42	23.8	59.5	16.7	40.5	31.0	28.6
	高次脳機能障がい	16	31.3	25.0	43.8	18.8	25.0	56.3

【② 成年後見制度】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=		調査数 (人)	現在利用している			今後利用したい		
			(1) はい	(2) いいえ	無回答	(1) はい	(2) いいえ	無回答
1位 2位								
全体(R5)		366	3.8	53.8	42.3	15.8	43.2	41.0
障がい別	身体障がい	286	3.5	51.4	45.1	11.2	44.1	44.8
	知的障がい	86	12.8	67.4	19.8	40.7	32.6	26.7
	精神障がい	26	3.8	61.5	34.6	15.4	53.8	30.8
	難病	26	-	38.5	61.5	11.5	30.8	57.7
	発達障がい	42	14.3	66.7	19.0	35.7	35.7	28.6
	高次脳機能障がい	16	12.5	43.8	43.8	12.5	31.3	56.3

# 11 町への期待について

## (1) 今後、町が力をいれるべき障がい者福祉の取組み

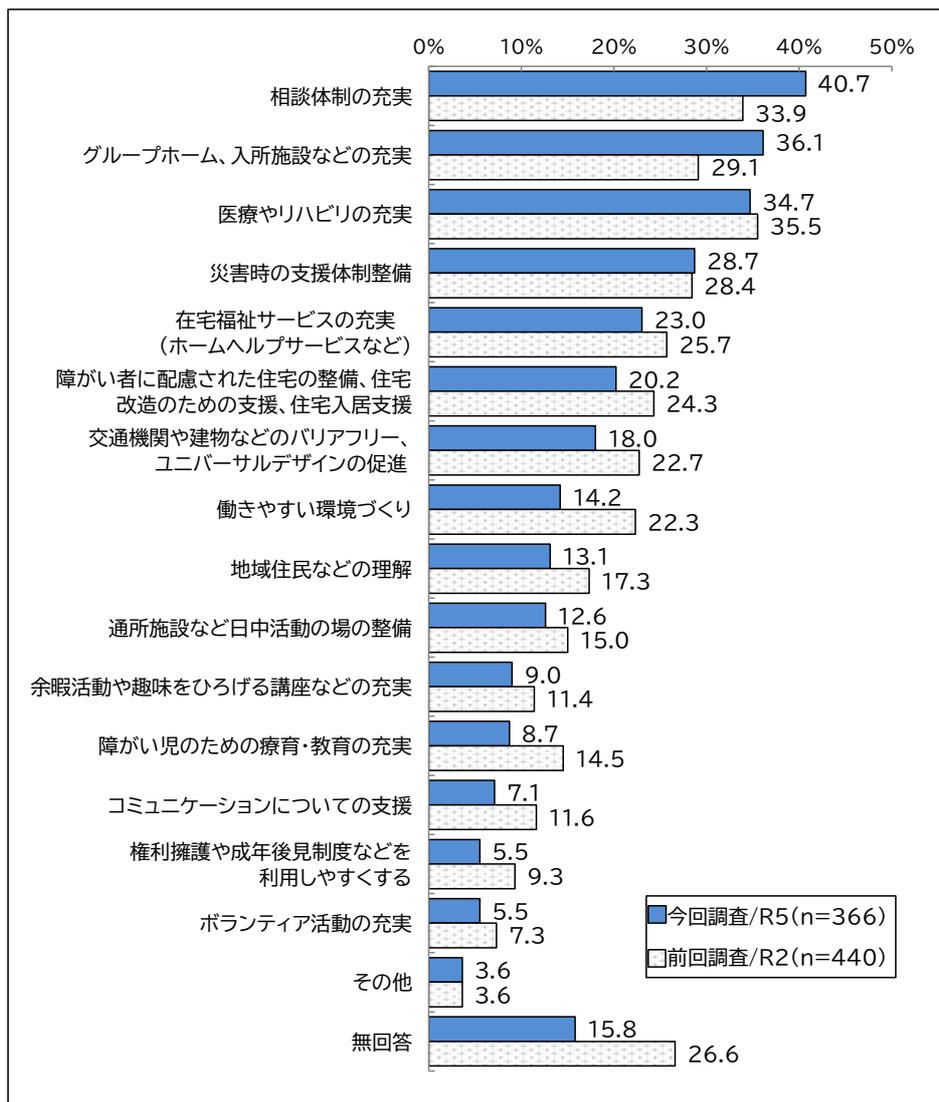
問 55 今後町が障がい者福祉の取組みを進めていくにあたって、力をいれるべきだと思う取組みはどのようなことですか。(おもなもの5つまで)

### 【全体の傾向】

今後、町が力をいれるべき障がい者福祉の取組みについてたずねたところ、「相談体制の充実」(40.7%)、「グループホーム、入所施設などの充実」(36.1%)、「医療やリハビリの充実」(34.7%)、「災害時の支援体制整備」(28.7%)、「在宅福祉サービスの充実(ホームヘルプサービスなど)」(23.0%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「グループホーム、入所施設などの充実」が7.0ポイント増加し、「働きやすい環境づくり」が8.1ポイント減少しています。

図表 94 今後、町が力をいれるべき障がい者福祉の取組み(全体/複数回答)



【障がい別の傾向】

障がい別にみると、身体障がい、精神障がいでは「相談体制の充実」、知的障がい、発達障がいでは「グループホーム、入所施設などの充実」、難病では「災害時の支援体制整備」(42.3%)、高次脳機能障がいでは「グループホーム、入所施設などの充実」、「医療やリハビリの充実」(43.8%)がそれぞれ最も高くなっています。

図表 95 今後、町が力をいれるべき障がい者福祉の取組み（障がい別／複数回答）

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝											
		1位	2位								
	調査数(人)										
	(1) 相談体制の充実										
	(2) グループホーム、入所施設などの充実										
	(3) 医療やリハビリの充実										
	(4) 災害時の支援体制整備										
	(5) 在宅福祉サービスなどの充実(ホームヘルプサービスなど)										
	(6) 障害者が住居に改修された住宅の整備										
	(7) 公共交通機関や建物などのバリアフリーの促進										
	(8) 働きやすい環境づくり										
	(9) 地域住民などの理解										
全体(R5)	366	40.7	36.1	34.7	28.7	23.0	20.2	18.0	14.2	13.1	
障がい別	身体障がい	286	40.9	34.6	36.0	30.1	25.2	20.3	19.2	13.3	11.5
	知的障がい	86	47.7	55.8	33.7	33.7	16.3	17.4	9.3	17.4	23.3
	精神障がい	26	38.5	30.8	26.9	23.1	11.5	19.2	15.4	26.9	19.2
	難病	26	23.1	19.2	38.5	42.3	11.5	23.1	19.2	7.7	11.5
	発達障がい	42	38.1	54.8	28.6	42.9	4.8	23.8	11.9	19.0	28.6
	高次脳機能障がい	16	37.5	43.8	43.8	25.0	6.3	31.3	31.3	6.3	6.3
	(10) 通所施設など日中活動の場の整備										
	(11) 余暇活動や趣味をひろげる講座などの充実										
	(12) 障がい児のための療育・教育の充実										
	(13) コミュニケーションについての支援										
	(14) 権利擁護や成年後見制度などを活用しやすくする										
	(15) ボランティア活動の充実										
	(16) その他										
	無回答										
全体(R5)	12.6	9.0	8.7	7.1	5.5	5.5	3.6	15.8			
障がい別	身体障がい	9.1	7.7	8.7	5.6	3.8	5.9	3.1	16.4		
	知的障がい	29.1	15.1	16.3	14.0	14.0	11.6	2.3	9.3		
	精神障がい	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	7.7	11.5		
	難病	15.4	7.7	3.8	3.8	7.7	7.7	11.5	23.1		
	発達障がい	31.0	21.4	19.0	23.8	11.9	19.0	-	7.1		
	高次脳機能障がい	-	6.3	12.5	12.5	6.3	18.8	-	12.5		

## Ⅲ 自由意見

問 56 町の障がい者福祉の取組みについてご意見・ご要望をお聞かせください。

### 1. グループホームの整備 8件

No.	意見	障がい別
1	親が高齢になってくるため、グループホームの整備を強く望んでいます。障がいのある人たちが安心して暮らせる場所を増やしてほしいと願います。町に1つの施設である”ひまわりの家”への支援も考えていただきたいです。	知的・発達
2	町内に重度の知的障がい者が短期入所できる様な施設を作ってほしい。うちの子どもは、障がいが難しすぎて軽い人の施設は利用できないので困っています。	知的・発達
3	障がいによってそれぞれ違いはあると思いますが、大抵は、対応できない事が多いと思います。だからこそ、身近な所での医療や入所施設が必要だと思います。親が先に亡くなったら一人になります。グループホーム入所施設があると助かります。ぜひお願いします。	身体・知的・発達
4	障がい者が利用できる移動支援が島では少なく、なかなか利用できていません。島内で利用できるサービスの充実をお願いします。グループホームが土庄町にもできるようお願いします。	身体・知的
5	重い障がいをもつ人の家族の高齢化などを考えると一日も早くグループホームが必要だと思う。(これはまったなし)また、一時的に預かってもらえる(ショートステイ)施設作りは必要で、幼少のころから安心して預かってもらえる場所を作っていくことが必要。	身体
6	グループホームや入所施設が早く出来てほしいです。通所施設も利用者の方がずいぶん増え狭くなっています。今後も利用者の方は増え続けるのでなんとかして頂きたい。	知的・発達
7	土庄町に障がいもち若い人でも入れる精神科クリニック設置の福祉老人ホームなどを増やして欲しい。	精神
8	親がどうしても見られない時に安心して預けられる場所や、両親が介護ができなくなった時に生活していける場所(グループホーム)の設立を本当に考えて欲しい。	知的

2. 環境・交通整備、移動支援の充実 8件

No.	意見	障がい別
1	車いすで入れるトイレを増やしてほしい。	不明
2	バスを利用する時に困ることがある。高松や岡山などでは感じないがヘルプカードを知らない人が小豆島の人は多すぎる。特に若い世代、高校生等には学校で福祉に関して教えるべきだと思います。	身体
3	交通機関の充実（バスの便を増す等）	発達
4	フェリー料金（車両航行）の値下げ 紙おむつの無料支給。	身体
5	障がい者になって30年近くなった。家の中では手すりやすべり止めと、自分で何とかできるが、歩道の質の悪いのは30年変わらない。自分で歩ける間は自分でと思い、杖や人の手を借りて外へ出ようと思うが、歩道は、障がい者用にはほとんど機能していない。バリアフリーにもなっていない。段はたくさんある。グレーチングは歩行器のタイヤが入りこんだり、足がグーツとなる！皆さんも一度障がい者になってみればよくわかると思う。（私の家族は、足と手を使えないようにして体験し、どこに手すりが必要か必死になって自費でつけてくれ今助かっている。）	身体
6	冬にあったスポーツ（ボッチャ）に参加させてもらい、とても良かったです。その時のスタッフの方（小豆島町）が後日、話しかけて下さり嬉しかった。土庄町では、港の辺りのパーキング駐車場が少し増えるといいな。船が高いのと、高松まで通院通所になるので、その際、付き添ってくれるサービスがほしい。（日中支援、移動介護）	知的
7	必要なサービスが少なすぎる。刺激が多すぎて利用しにくい。建物のバリアフリー化やユニバーサルデザインの促進に関しては、全く進んでいない。最近高松の事業所であった職員不足によるサービス利用の停止の件で小豆島でも同様に利用できなくなったサービスがある。駐車場の優先区画は増えてるが、少ないし現状の車（スロープ車）の区画に対応されていない横側だけでなく前後にもスペースが欲しいと思う。また、優先区画を利用しようとしても通常の人が駐車してたりして利用できなかったり、1台分空いていても通常の人が2台横並びの区画に3台止めれるような駐車のしかたをしていて利用しにくい（オーブタウン、マルヨシ駐車場）※マナーの啓発をもっとしてほしい。	身体・知的
8	身体障がい者の通院等による自家用車をフェリーに乗船させる為の補助金の新設をお願いしたいと思います。（半額の補助）	身体

3. 災害時の不安 2件

No.	意見	障がい別
1	いろいろな支援を利用させて頂き、とても満足しています。どの施設においても皆さん親切で家族介護する私達にはありがたい事ばかりです。最近大きな災害が多い為、緊急避難時の対応が家族だけで出来るのかが不安です。日中は高齢の母と2人だけの為、非難が難しいと思っています。アンケートの内容から人の特定がある程度出来るように思い提出するかどうか迷いましたが、災害時に不安がある事を伝えたく思い提出しました。	身体・難病
2	災害時の支援の充実に期待。家族は仕事に行っているの、独りの時に災害が起こると「ひとりで逃げれんから、このままここで（家）死ぬんやろな」と常々言っています。	身体

4. 相談窓口、施策について 2件

No.	意見	障がい別
1	障がい者の多様なニーズに目を向けた施策をしてほしいです。使えるサービスが少ないから高松に引越せと行政関係者から言われたこともありましたが、地域の学校に通い、地域の施設を利用し、生涯を終えること。それができない現実ですが、障がい者やお年寄りが安心して住めない町に未来はないと思います。	身体・知的
2	誰もが平等に生活できる環境づくりの強化。すぐに相談できる体制が整っていれば安心して生活できる。	身体

